

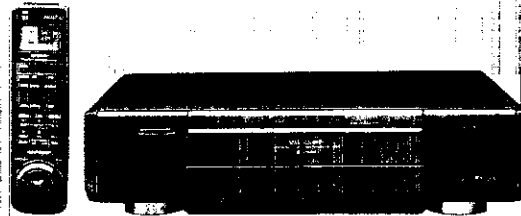
仕様

形式	VT-S1000	
方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン SVHS 方式(NTSC準拠)	
録画再生時間	3倍モード 8時間(T-160 使用時) (VHSモード) 6時間(ST-120使用時) (S-VHSモード) 標準モード 2時間40分(T-160 使用時) (VHSモード) 2時間(ST-120 使用時) (S-VHSモード)	
テープ速度	3倍モード 11.1mm/秒、標準モード 33.4mm/秒	
テープ幅	12.7mm	
使用力セット	SVHS または VHS タイプビデオカセット	
ヘッド数	7 4: 映像用 2: Hi-Fi音声用 1: フライングイレース用	
VHF出力	1, 2チャンネル切換え可能	
映像入力	S端子: 輝度信号1.0Vp-p, 75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p, 75Ω不平衡 映像端子: 1.0Vp-p, 75Ω不平衡	
映像出力	S端子: 輝度信号1.0Vp-p, 75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p, 75Ω不平衡 映像端子: 1.0Vp-p, 75Ω不平衡	
音声入力	ライン: -7.8dBs(316mVrms), ハイインピーダンス マイク: -68dBs(0.3mVrms), ハイインピーダンス	
音声出力	ライン: -7.8dBs(316mVrms), ローインピーダンス ヘッドホン: 適合インピーダンス8Ω~2KΩ	
音声トラック	3トラック (Hi-Fi VHS音声2トラック: ステレオ録音/ステレオ再生) (ノーマル音声 1トラック: モノラル録音/モノラル再生)	
Hi-Fi VHS音声特性	ダイナミックレンジ: 90dB以上 周波数特性: 20Hz~20KHz ワウ・フラッター: 0.005%	
早送り・巻戻し時間	約2分30秒(T-120使用時) ●高速巻戻し時: 約1分30秒	
許容動作温度	5℃~40℃	
許容相対湿度	80%以下	
電源	AC100V, 50/60Hz共用	
消費電力	約37W(タイマーのみ動作時 約8W)	
外形寸法	(幅)46.5×(高さ)11.8×(奥行)37.8cm	
重量	本体10kg	
付属品	ワイヤレスリモコン.....1個 分波器.....1個 (VT-PMJ22) 混合器.....1個 アンテナアダプター.....1個 映像・音声コード.....1本 同軸ケーブル.....1本 単3乾電池.....3個 Sコード.....1本 電源コード.....1本	

●本機の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

取扱説明書

日立ビデオデッキ VT-S1000形



このたびは、日立ビデオデッキをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

このビデオデッキは、SVHS方式のビデオテープ、S-VHSおよびVHSマークのスイスライスカセットテープは使用できません。

このマークのビデオテープは、VHS高画質規格が適用されておらず、従来の方式のビデオとは互換性がありません。

目次

はじめに

お使いになる前に.....	2
オートヘッドクリーニング機能について.....	3
こんなことができます.....	4
各部のなまえ.....	6

基本の使いかた

テープの出し入れ	12
リモコンの使いかた	14
時計の合わせかた	16
テレビ番組の録画	
見ている番組を録画するとき	18
録画しながら別の番組を見るとき	20
テープの再生	
録画したテープを見る	22
録画・再生時こんなときは	24
いろいろな再生	26
見たい画面のさがしかた	28
タイマー録画	
グイックタイマー録画	29
タイマー録画	32
予約の確認と取り消し	36
予約メモについて	38

便利な使いかた

画面表示	40
お好みセレクト	41
便利な画面のさがしかた	42
オフタイマー	47
AVコーディネイト	48
タイトルを録画するには	50
リモコンでテレビや2台のビデオを操作するには	52
その他の便利な機能	54
テープのダビング/アフレコ編集	58
インサート編集	60
オートアッセンブル編集	62
シンクロ編集	66
テレビ以外の機器との接続使用	70

MEMO

購入店名 後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときにお役に立ちます。

電話 (.....) 購入年月日: 年 月 日

ご使用方法のご相談は、お買い求めの販売店が承っておりますが、販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は、下記へお気軽にお問い合わせください。

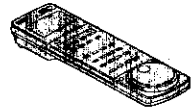
日立エコー(らし)ダイヤル—家電品のお買物相談は—
0120-312111
(フリーダイヤル・無料 年中無休9-20時 東京で受領)

日立家電販売株式会社 株式会社 日立製作所

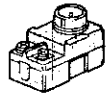
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)502-2111

お使いになる前に

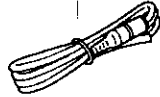
付属品がそろっているかご確認ください。



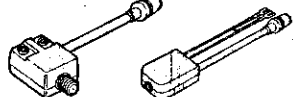
ワイヤレスリモコン……1個



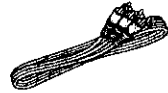
アンテナアダプター……1個



同軸ケーブル……1本



混合器……1個 分波器……1個



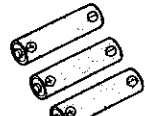
映像 音声コード……1本



SCコード……1本



電源コード……1本



単3乾電池……3個

この取扱説明書の見かた

■この取扱説明書は、次のように構成されています。

はじめに	本機でできることの概要と各部のなまえが書いてあります。
基本の使いかた	録画、再生、タイマー録画のしかたを説明してあります。
便利な使いかた	本機でできる便利な使いかたについて説明してあります。
ご自分でビデオを設置するには	アンテナ線やテレビとの接続、チャンネルの合わせかたを説明してあります。
安全にお使いになるために・他	ご注意、専門用語の解説、索引などが書いてあります。

- ご自分でビデオを設置するときは、最初に「ご自分でビデオを設置するには」(74~84ページ)をお読みください。
- 「安全にお使いになるために」(85ページ)は、必ずお読みください。

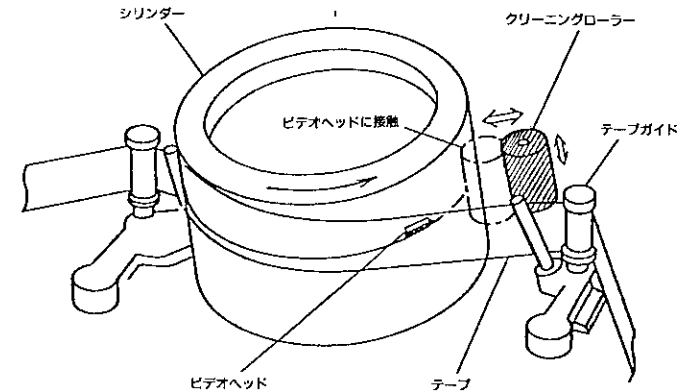
■この取扱説明書の見たいところをさがすには、次の方法が利用できます。

- 「目次」(表紙)でさがす。……対応するページの右端面にマーキングがしてあります。
- 「こんなことができます」(4, 5ページ)でさがす。
- 「各部のなまえ」(6~11ページ)でさがす。
- 「索引」(94, 95ページ)……最後のページをめくるとすぐ見ることができます。

オートヘッドクリーニング機能について

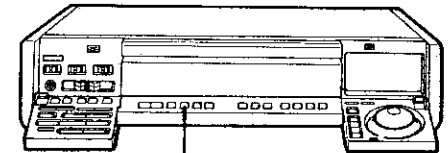
次の操作をすると、オートヘッドクリーニング機能が働きビデオヘッドの清掃をします。

- ビデオカセットを入れた直後または取出すとき。
- ビデオカセットが入っている状態で電源を「入」または「切」にしたとき。



■ヘッドクリーニングボタン

テープを再生したとき、画面が下の写真のようになるときは、ヘッドクリーニングボタンで次のようにヘッドをクリーニングできます。



- 1 ビデオカセットを入れ、停止状態にする。
- 2 ヘッドクリーニングボタンを一回押す。
 - ヘッドクリーニングが始まります。一回のクリーニング時間は約10秒間です。
 - ヘッドクリーニング中はテレビ画面に「HEAD CLEANING」が表示されます。
 - ヘッドクリーニング中は多少、音が出ますが故障ではありません。
- 3 テープを再生し、映りが良くなったか確認する。
 - 映りが良くならないときは、この②、③の操作を数回繰り返す。

ご注意:

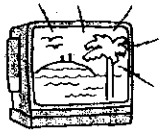
- ヘッドクリーニング操作を何回やっても、映りが良くならないときは、別売りのヘッドクリーニングテープ (T-CL01、または AV-210) をご使用ください。
- ヘッドクリーニング機能はビデオヘッドの清掃はしますが、音声ヘッドの清掃はしません。



はじめに
お使いになる前に
オートヘッドクリーニング機能について

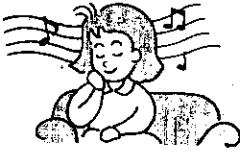
こんなことができます

S-VHS方式



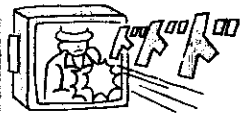
●水平解像度を大幅に向上。質感さえも忠実に再現。[93]

音声多重放送の録音



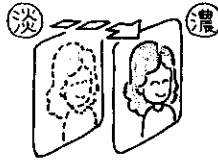
●ステレオ放送や二重音声放送を録音できます。[24]

シアターサウンド



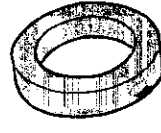
●大迫力の重低音。劇場の感動がよみがえります。[54]

AVコーディネート



●テープ再生時の画質や音量を調節できます。[48]

アマルフラスAVヘッド



●映像ヘッドに加えて、音声ヘッドにもアマルフラスヘッドを採用。

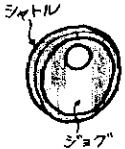
特長

オートヘッドクリーニング機能
ヘッドの汚れを防止します。



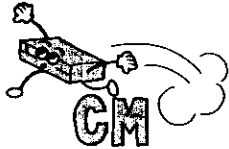
こんなことができます

ジョグ/シャトル



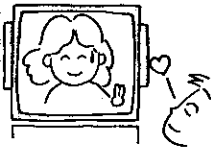
●再生スピードを変えられ、頭出しに便利。[27]

スキップ再生



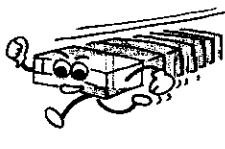
●コマーシャルをとばしてみる。[26]

リピート再生



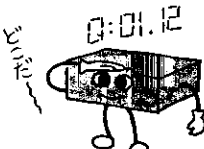
●お気に入りのシーンを何度でもくり返し見れます。[55]

ワープサーチ



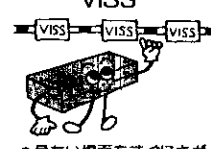
●早送り/巻戻しのままで内容のチェックが可能。[28]

ワンターGO-TO機能



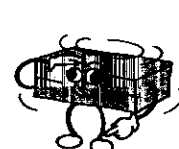
●目的の場所を分単位でさがせます。[43]

ビスVISS



●見たい場面をすぐにさがすことができる頭出し番号。[44]

ブランクサーチ



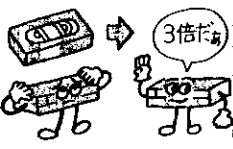
●ボタンひとつでテープの未録音部分がさがせます。[55]

クイックタイマー録画



●24時間以内の番組を簡単操作でタイマー録画。[30]

オート録画



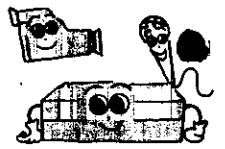
●予約した番組をピッタリとテープに収録します。[35]

予約メモ



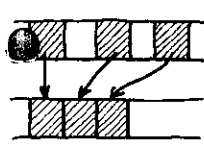
●番組予約のプログラムをリモコンが記憶します。[38]

アフレコ/インサート編集



●録画済みのテープに音声や映像を加えられます。[59]

アッセンブル編集



●必要な部分だけ、つなぎ合わせて編集できます。[62]

タイトル録画



●ジョグ/シャトルで簡単にタイトルが作れます。[50]

お好みセレクト



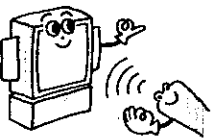
●ビデオの機能をお好みに合わせて変えられます。[41]

チャイルドロック



●お子様などのイタズラ防止。[53]

リモコンでテレビを操作



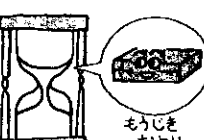
●当社以外のテレビもリモコンで操作できます。[52]

テレビモニター再生



●ビデオを再生したままテレビ番組を見れます。[25]

オフタイマー



●一定時間後に電源を切る。[47]

操作音の消音



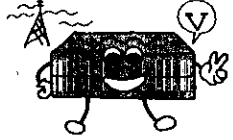
●「ピツ」と言う音を消音できます。[55]

AVコントロール/AV BUS



●テレビ、BSチューナー、ビデオプリンターなどをビデオでコントロール。[79]

CATV対応



●CATVを受信できるチューナーを内蔵しています。[84]

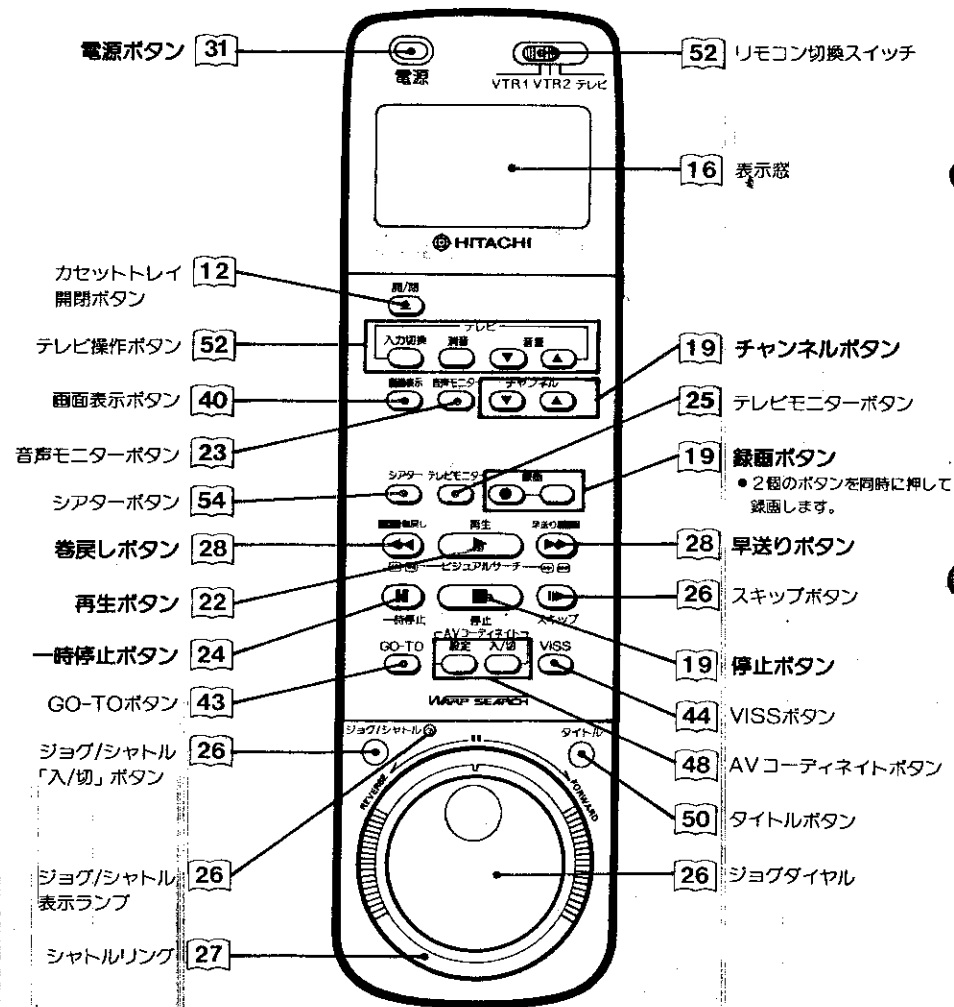
各部のなまえ

□内の数字は詳しい説明のあるページです。

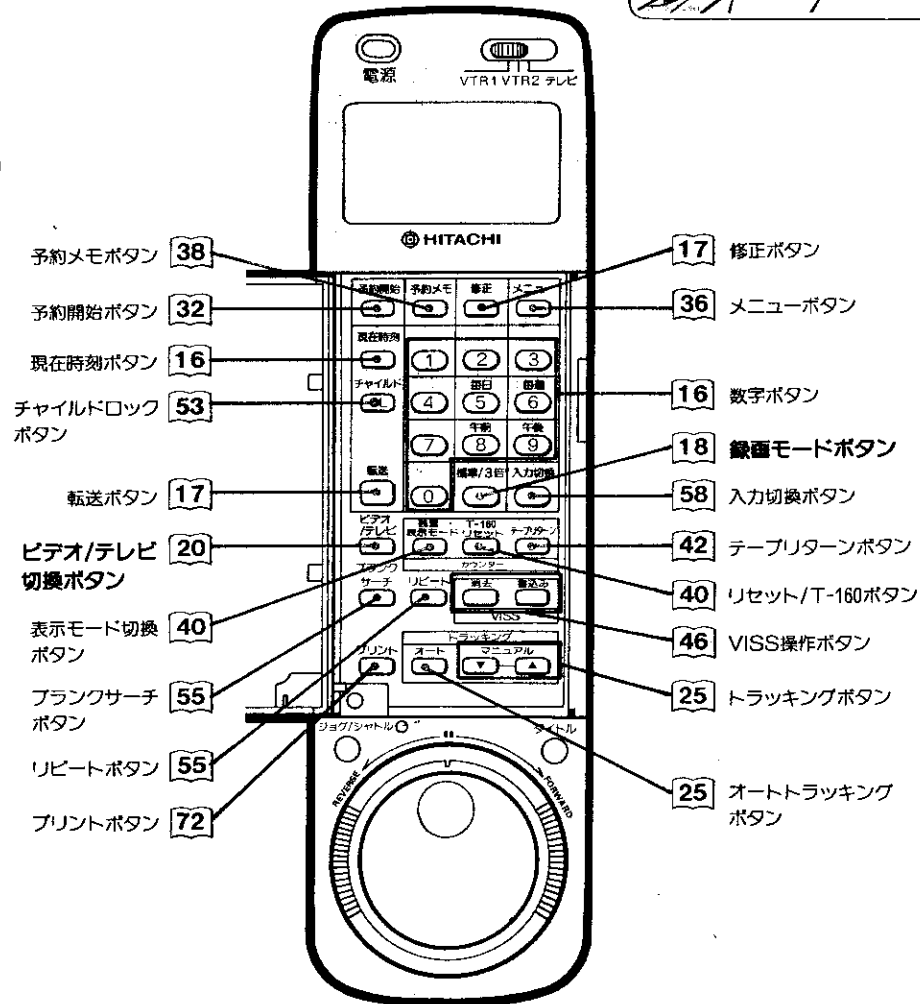
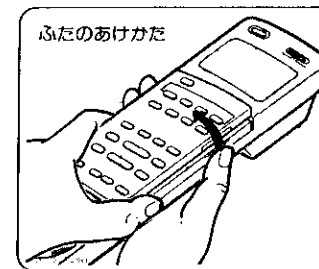
(この説明書はリモコンでの操作を
主体に説明しています。)

リモコン □のボタンはリモコンだけにあるボタンです。(本体にはありません)

■リモコンのふたを閉じたとき



■リモコンのふたを開けたとき

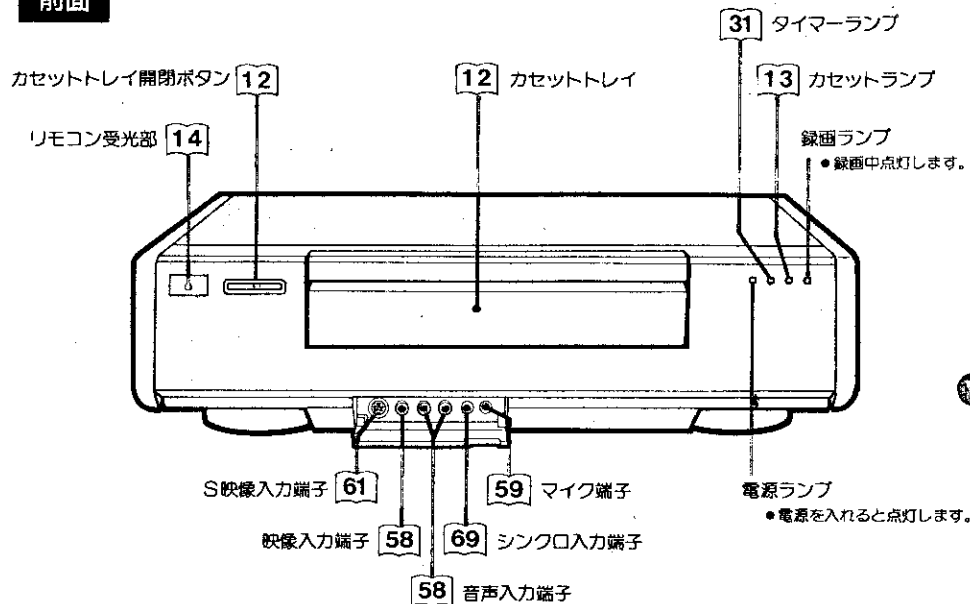


各部のなまえ(つづき)

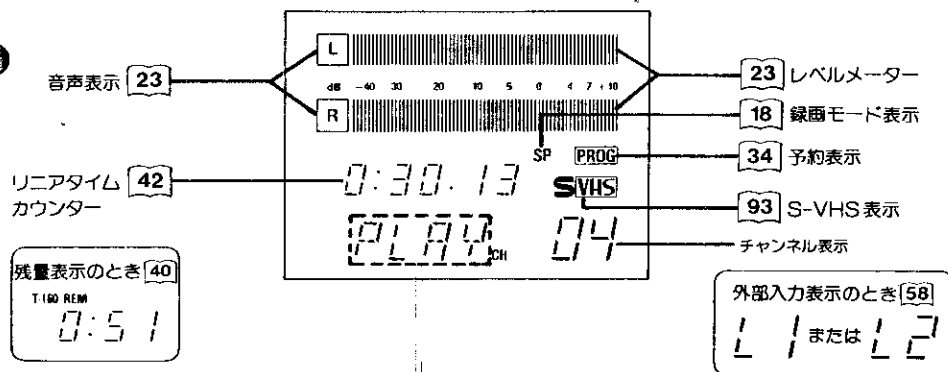
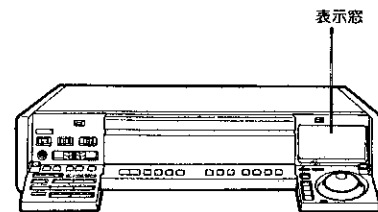
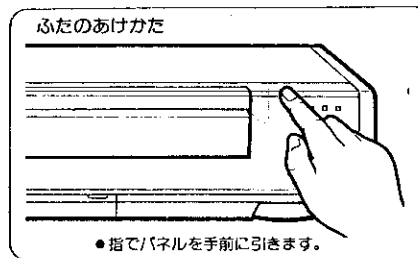
☞ 内の数字は詳しい説明のあるページです。

(この説明書はリモコンでの操作を主体に説明しています。)

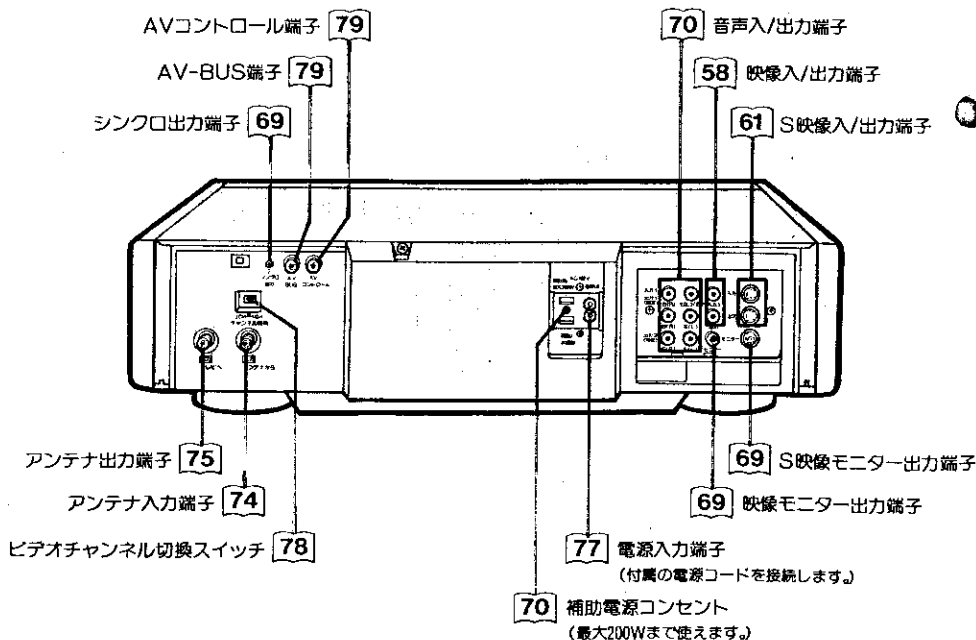
前面



表示窓の主な表示例



後面



ビデオの操作に応じて表示が次のようになります。

表示の一例です。

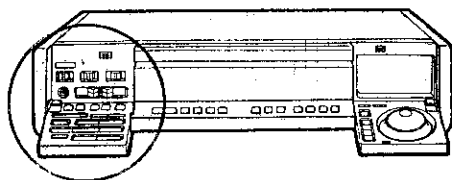
表示	ビデオの操作または状態	表示	ビデオの操作または状態
HELLO	電源を入れたとき	BILNG	二重音声放送を受信中
BYE	電源を切ったとき	STREO	ステレオ放送を受信中
PLAY	再生中	VTR	ビデオモードを選んだとき
REC	録画中	TV	TVモードを選んだとき
FF	早送り中	TRACK	オートトラック動作中
REW	巻戻し中	TUNE	受信チャンネル調節時
CUE	早送り再生中	SLEEP	オフタイマー操作時
REV	巻戻し再生中	GO-TO	カウンターGO-TO操作時
SLOW	スロー再生中	* VISS	VISS番号記録時
STOP	停止したとき	A-DUB	アフレコ中
TIMER	タイマー(クイックタイマー)録画待機中	V-DUB	インサート中
T-REC	タイマー(クイックタイマー)録画中	--MON--	テレビモニター中

各部のなまえ(つづき)

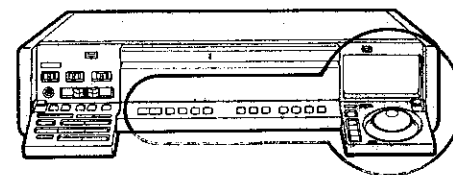
□内の数字は詳しい説明のあるページです。

ふたの中

□のボタンは本体だけにあるボタンです。(リモコンにはありません)



- ハイファイミックススイッチ **59**
- リモコン受光部 **14**
- ACアウト切換スイッチ **70**
- ヘッドホン端子 **55**
- AVコーディネイトボタン **48**
- チャンネルボタン **19**
- 高速巻戻しボタン **21**
- 巻戻しボタン **28**
- 停止ボタン **19**
- 再生ボタン **22**
- 54** 映像切換スイッチ
- 18** 録音レベルつまみ
- 59** アフレコボタン
- 61** インサートボタン
- 58** 入力切換ボタン
- 30** 開始時刻ボタン
- 19** 録画ボタン
- 24** 一時停止ボタン
- 28** 早送りボタン
- 31** 電源ボタン
- 12** カセットトレイ開閉ボタン



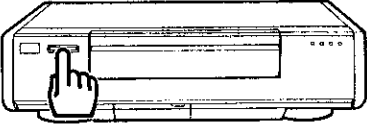
- DCNRボタン **54**
- S-VHSボタン **93**
- 18** 録画モードボタン
- チャンネル調節部 **80**
- 表示モード切換(残量/時計) **40**
- リセットボタン **40**
- クリーニングボタン **3**
- オートクリーニングボタン **25**
- トラッキングボタン **25**

- 表示窓 **9**
- GO-TOボタン **43**
- ジョグダイヤル **26**
- シャトルリング **27**
- アッセンブル編集ボタン **62**
- タイトルボタン **50**
- DCNRランプ **54**
- カセットランプ **13**

テープの出し入れ

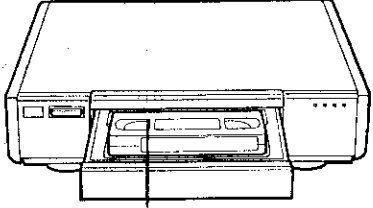
入れかた

1 カセットトレイ開閉ボタンを押す



- カセットトレイが出てきます。
- 電源の入/切に関係なく操作できます。

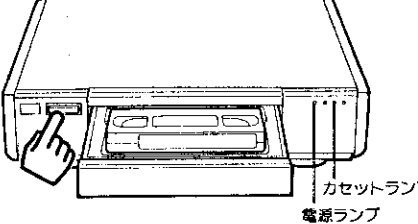
2 テープを入れる



テープ窓

- テープを図のようにカセットトレイに入れます。
- テープの前後や裏表をまちがえないでください。
- カセットトレイにはVHSテープ以外は入れないでください。

3 カセットトレイ開閉ボタンを押す

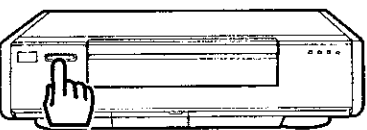


カセットランプ
電源ランプ

- カセットトレイが自動的に引き込まれ、電源が入ります。
- 電源ランプとカセットランプが点灯します。
- 「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めてみます。

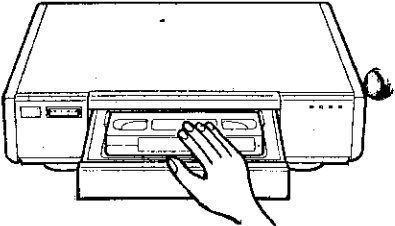
出しかた

1 カセットトレイ開閉ボタンを押す

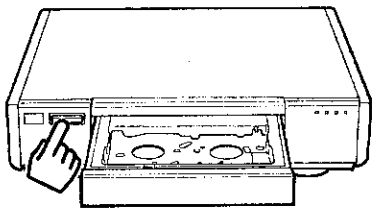


- カセットトレイが出てきます。
- 電源の入/切に関係なく操作できます。

2 テープを取り出す

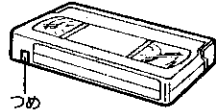


3 カセットトレイ開閉ボタンを押す

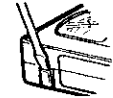


- カセットトレイが自動的に引き込まれます。
- カセットトレイが引き込まれた後、自動的に電源が切れるようにしたいときは、カセットトレイ開閉ボタンの代わりに電源ボタンを押します。

テープの「つめ」について (誤消去防止)

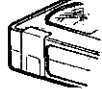


大切な録画を誤って消さないために



- 「つめ」を折る。

ふたたび録画するときは

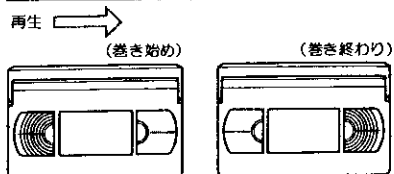


- セロハンテープを二重にはる。

ご注意

- カセットトレイにはVHSビデオテープ以外は入れないでください。
- 小さなお子さまの手や指などが挟み込まれないようご注意ください。(もし、挟み込まれたときは、しばらくすると自動的にトレイが出てきます。)
- カセットトレイの開閉はボタンで行ってください。
- カセットトレイにのせたテープを上から押しつけないでください。

テープの走行方向について



●ビデオテープは裏返しては使えません。

テープの録画時間について

テープの種類と録画時間

テープの種類	SP(標準モード)	EP(3倍モード)
T-160	2時間40分	8時間
T-140	2時間20分	7時間
T-120	2時間	6時間
T-90	1時間30分	4時間30分
T-60	1時間	3時間
T-30	30分	1時間30分

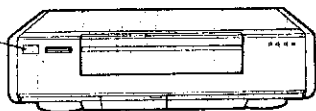
リモコンの使いかた

ビデオを操作するとき

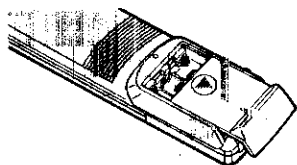
- リモコン切換スイッチを“VTR1”にした後、ビデオにまっすぐ向けて操作します。

お使いになる前に
付属の乾電池を入れて下さい。

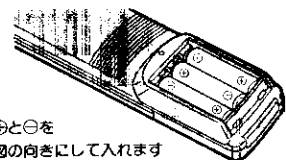
リモコン受光部



1 ふたを開ける

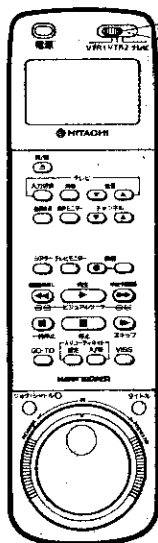
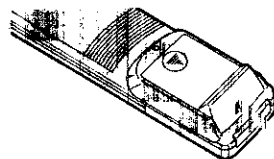


2 乾電池を入れる



⊕と⊖を
図の向きに入れて下さい

3 ふたを閉じる



リモコン切換スイッチを
“VTR1”にしてから操
作します。



- 操作ボタンはふたの中にもあります。

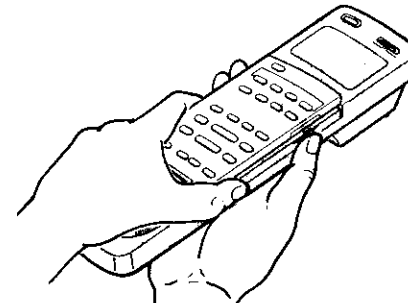
ふたの上のボタンを使うときは

- ふたを確実に閉じる。
ふたが閉じていないと、
ボタンを押しても、操作
できません。




ふたの中のボタンを使うときは

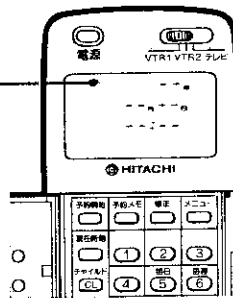
- 図のようにふたを開ける。



■リモコンで操作をすると……

表示窓に送信マーク「」が点滅してお知らせします。

送信マーク



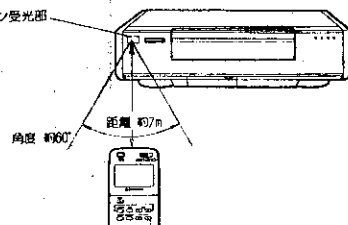
- このリモコンでテレビやもう1台の
ビデオを、操作することもできます。
詳しくは **52**

乾電池についてのご注意

- 乾電池の寿命は通常のご使用で約1年です。リモコンの到達距離が短くなったり、表示窓の文字が薄くなったときは電池を交換してください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わないでください。また種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- ショートさせたり、分解、加熱、また火に投入したりしないでください。

リモコンの使用範囲

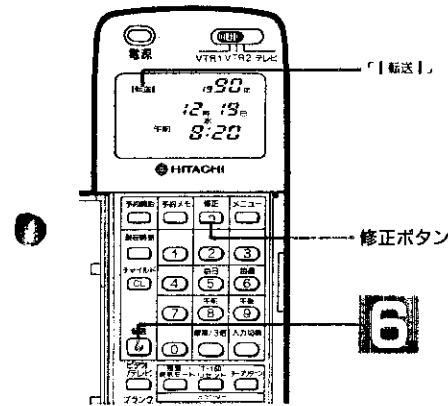
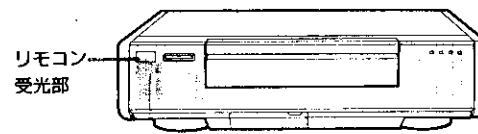
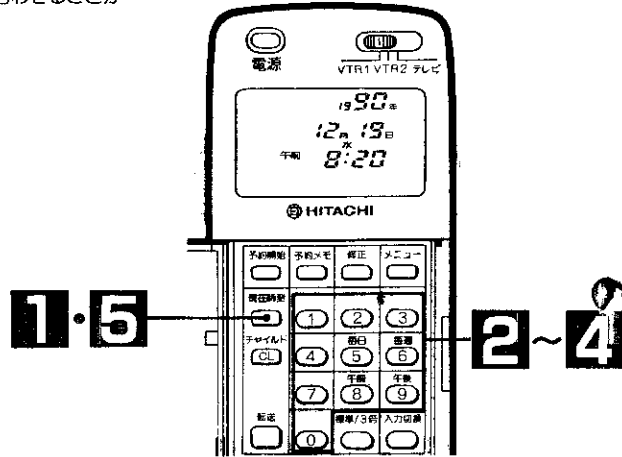
リモコン受光部



時計の合わせかた

- 時計を合わせるときは、最初にリモコンの時計を合わせ、その後、ビデオの時計を合わせます。
- ビデオの時計を合わせておかないと、クイックタイマー録画やタイマー録画ができません。
- ビデオの電源の入/切に関係なく時計を合わせることができます。

たとえば……
午前8時20分
西暦1990年12月19日
に合わせるとき



こんなときは……

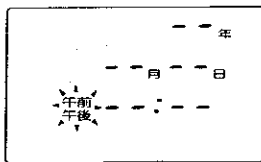
- 合わせている途中で間違えたとき
 - 修正ボタンを押して、点滅を間違えたところまで戻してから修正します。
- 合わせている途中で表示が消えたとき
 - 操作が約1分以上中断すると、それまで合わせた内容が消えてしまいます。もう1度合わせ直してください。
- 合わせたあと、間違いに気がついたとき
 - 現在時刻ボタンを押して、リモコンの表示窓に「転送」の文字を表示させた後、修正ボタンを押して、点滅を間違えたところまで進めて修正します。
- ビデオの時計を合わせ直すとき
 - リモコンの時計を上の手順で修正した後、ビデオに転送します。
- 動作停止があると
 - 約30分以上停電すると、ビデオの時計は「---」となります。このときは、現在時刻ボタンを押した後、転送ボタンを押してビデオに転送します。

1 現在時刻ボタンを押す

現在時刻



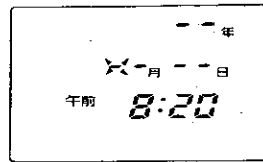
(リモコンの表示窓)



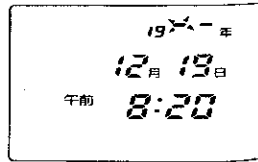
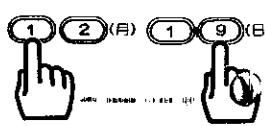
2 時刻を合わせる



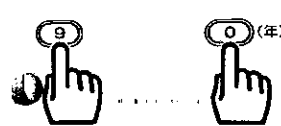
- 「午前」に合わせるときは⑧を押す。
- 「午後」に合わせるときは⑨を押す。



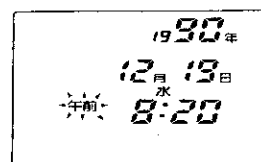
3 月・日を合わせる



4 年を合わせる



- 「年」は西暦の下2けたを合わせる。(1990年は90に合わせます)

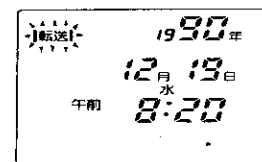


5 時報などに合わせて現在時刻ボタンを押す

現在時刻



- これでリモコンの時計を合わせることができました。ビデオの時計を合わせるときは⑥の操作をします。



6 転送ボタンを押す

転送



- リモコンをビデオのリモコン受光部に向けて転送ボタンを押す。
- 「ビツ」と音がしてビデオの表示窓に時刻が表示されます。

(ビデオの表示窓)



●ひとけたの数字を合わせるときは、初めに⑩を押します。

●曜日自動的に表示されます。

●リモコンの時計はこのときから時計動作を始めます。

●ビデオの時計はこのときから時計動作を始めます。

テレビ番組の録画

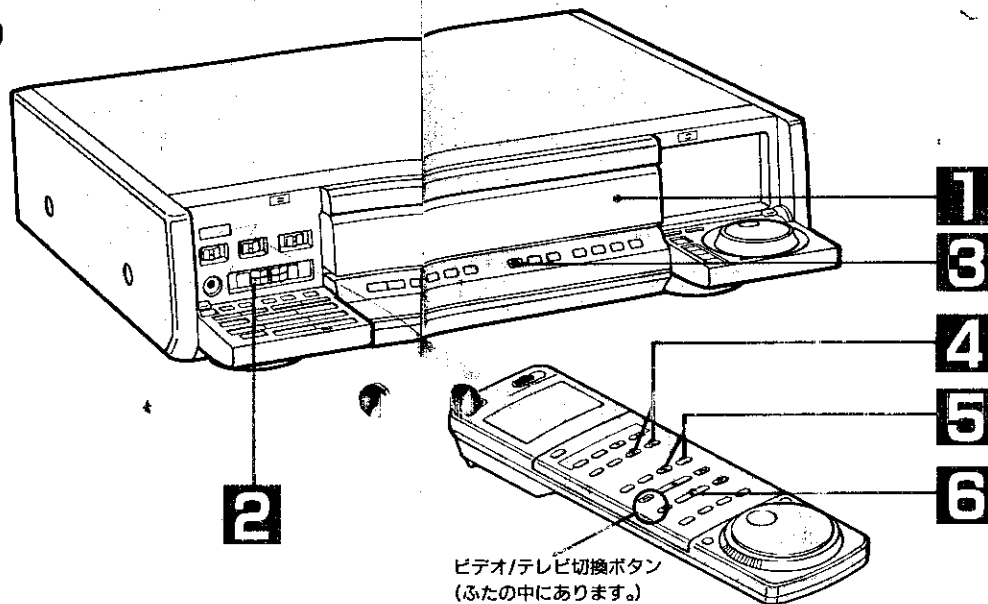
見ている番組を録画するとき(同時録画)

テレビの準備

1. テレビの電源を入れる。
2. テレビの入力切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。



入力切換ボタン

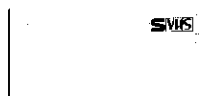


ビデオ/テレビ切換ボタン
(ふたの中にあります。)

録画をやめるときは

<p>1 「つめ」の折れていないテープを入れる</p> <p>「つめ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●テープの入れかた 12 	<p>2 録音レベルを合わせる</p> <p>録音レベル 0 10</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手ごたえのある中央に合わせておくと、ほぼ適正レベルで録音されます。 	<p>3 録画モードを選ぶ</p> <p>標準(SP)/3倍(EP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボタンを押すたびに「SP」(標準)と「EP」(3倍)に切りかわり、ビデオの表示窓に表示されます。 	<p>4 録画したいチャンネルを選ぶ</p> <p>チャンネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの④~⑩のボタンでもチャンネルを選ぶことができます。 	<p>5 録画ボタンを押す</p> <p>録画</p> <ul style="list-style-type: none"> ●録画が始まります。 	<p>6 停止ボタンを押す</p> <p>停止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●録画が終了します。
--	---	---	--	---	---

●S-VHS方式で録画するときには、ビデオの表示窓に「S-VHS」表示がついていることを確認します。



●画質や音質を重視するときには「SP」(標準)を選びます。

●テレビに選んだ番組が現れないときは、ビデオ/テレビ切換ボタンを押す。

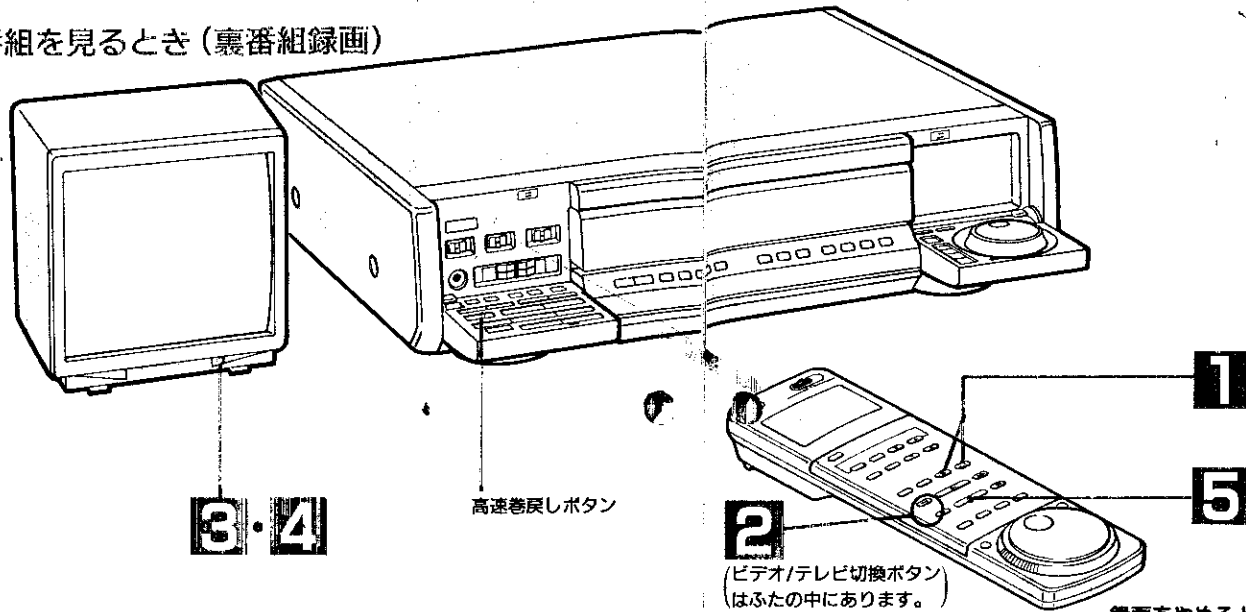


●「つめ」の折れたテープが入っていると、テープが出てきます。
●テレビを見ないときは、テレビの電源を切っても録画されます。

●テープの最後まで録画すると自動的に巻戻します。(オートリwind)
●録画したテープを見たいときは、巻戻しボタンを押して、テープを巻戻した後、再生します。

テレビ番組の録画(つづき)

録画しながら別の番組を見るとき(裏番組録画)



録画をやめるときは

テープを早く巻戻したいときは

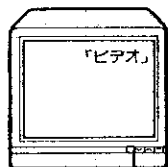
<p>1 録画を始める</p> <p>録画</p> <p>●前ページの1～4の操作をして、録画を始めます。</p>	<p>2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押す</p> <p>ビデオ/テレビ</p> <p>●表示窓に「TV」の表示が約5秒間現われます。</p>	<p>3 テレビの入力切換ボタンで「テレビ」を選ぶ</p> <p>「テレビ」</p>	<p>4 テレビを見たいチャンネルに合わせる</p> <p>●テレビで選んだチャンネルが画面に現われます。 ●ビデオで録画している番組は変わりません。</p>	<p>5 停止ボタンを押す</p> <p>停止</p>	<p>高速巻戻しボタンを押す</p> <p>高速巻戻し</p> <p>●通常の巻戻しに比べ、約1.7倍(T-120使用時)で巻戻すことができます。 ●高速巻戻し中はビデオの表示窓に「S-REW」が表示されます。 ●オートリワインド時は高速巻戻しをしません。</p>
--	---	---	--	------------------------------------	--

- テープの最後まで録画すると、自動的に巻戻します。(オートリワインド)
- 録画したテープを見たいときは、巻戻しボタンを押して、テープを巻戻した後、再生します。

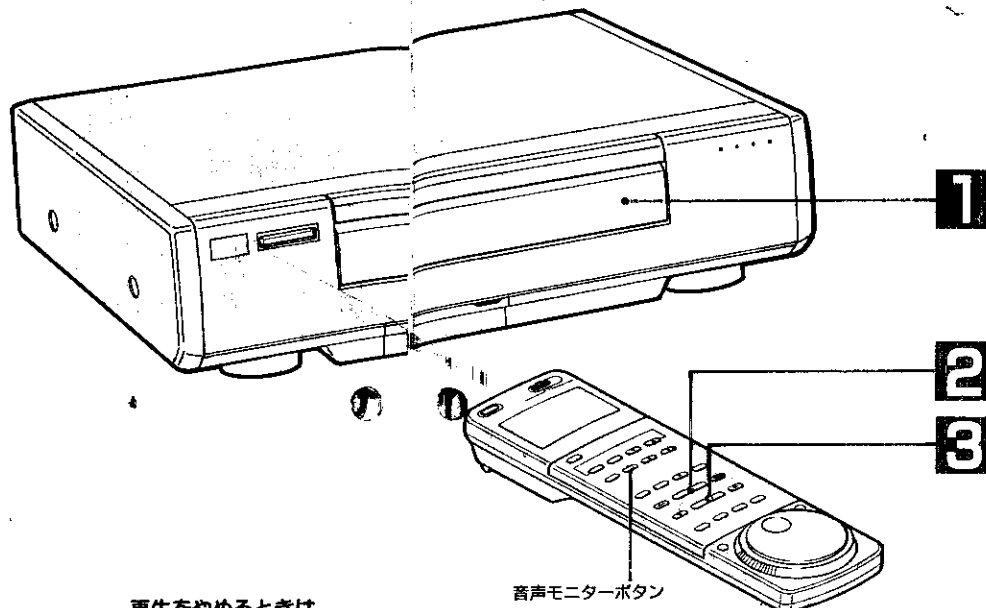
録画したテープを見る

テレビの準備

1. テレビの電源を入れる。
2. テレビの入力切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。



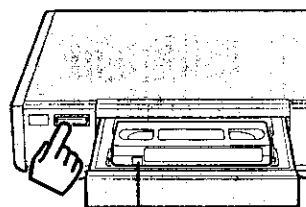
入力切換ボタン



音声モニターボタン

再生をやめるときは

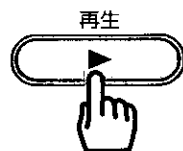
1 録画したテープを入れる



「つめ」

- テープの入れかた **12**
- カセットトレイにテープを入れたあと、再生ボタンを押すだけで自動的にカセットトレイが引き込まれ再生を始めることもできます。

2 再生ボタンを押す



- 再生が始まります。

3 停止ボタンを押す



- テープを最後まで再生すると、自動的に巻戻します。(オートリワインド)

こんなときは……

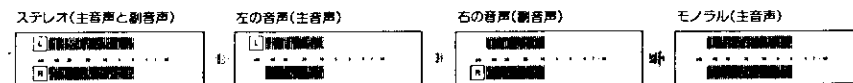
■音声多重放送を録画したテープを見るとき

- 音声モニターボタンで聞きたい音を選びます。

音声モニター



- ボタンを押すたびに、図のようにレベルメーターの表示と音が切り替わります。



- ビデオで選んだチャンネルを見ているときも、音声モニターボタンを押すと、上のように聞こえる音を選べます。

- 「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始めます。

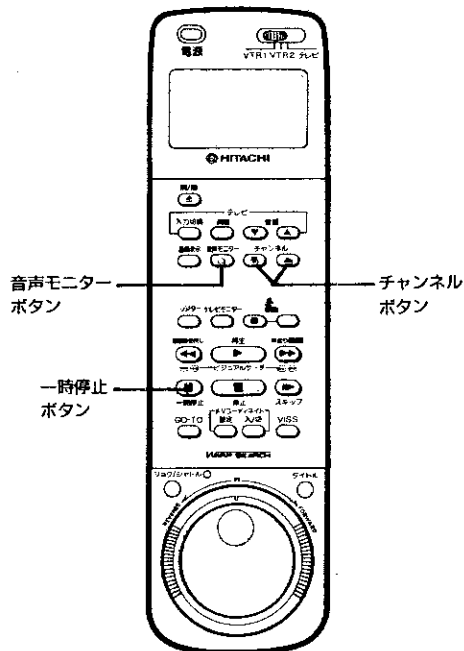
- テープを早送りまたは巻戻したいときは、停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押します。

- テープを巻戻し中に電源を切るとテープを最初まで巻戻した後、自動的に電源が切れます。(オートリワインドシャットオフ)ただし、高速巻戻し中はこの機能は働きません。

録画時

■ 二重音声放送を録画したいとき

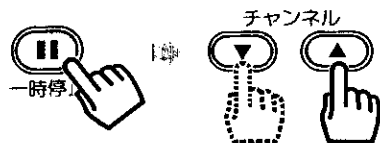
- 特別な操作はいりません。
ステレオ放送はステレオで二重音声放送は主音声(日本語)と副音声(英語)が同時に記録されます。
- 録画中は音声モニターボタンで聞きたい音を選ぶことができます。(録音される音声には影響がありません。)



- 工場出荷時は、二重音声放送を受信すると、自動的に主音声(日本語)だけが聞こえるように合わせております。

■ 録画中に別の番組に切替えて録画したいとき

- 一時停止ボタンを押した後、チャンネルを切替える。



- チャンネルを切替えした後、一時停止ボタンをもう一度押すと、録画が始まります。

■ 録画中に不要な場面(コマーシャルなど)を飛ばして録画したいとき

- 一時停止ボタンを押す。



- テープ走行が一時止まります。
- もう一度ボタンを押すと、再び録画できます。
- 録画一時停止を約5分続けると、テープとヘッド保護のため、自動的に停止します。

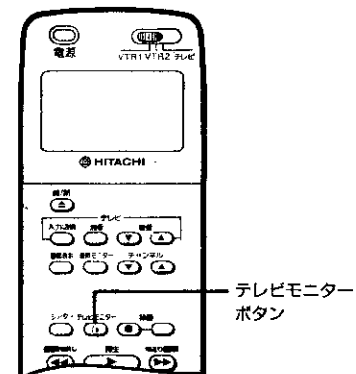
再生時

■ 再生中にテレビ番組を見たいとき

- テレビモニターボタンを押す。

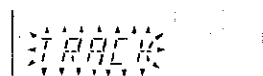


- 再生はそのまま続きますが、画面はテレビ番組に切りかわり、ビデオの表示窓に「-MON-」が表示されます。ビデオのチャンネルボタンで番組を変えることもできます。
- 再び再生画面を見たいときは、もう一度テレビモニターボタンを押す。

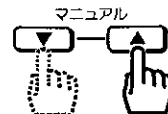


■ 再生したときの絵がおかしいとき(デジタルオートトラッキング機能)

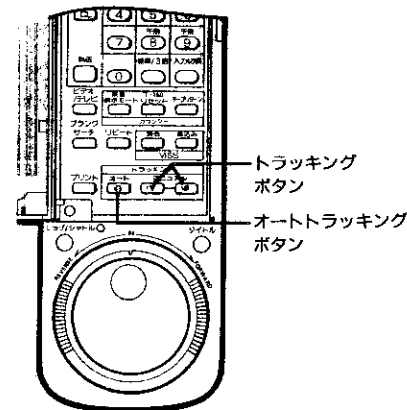
- テープの再生を始めると、オートトラッキング機能が働き、自動的に最も画面がきれいになるように調節します。このときビデオの表示窓に「TRACK」が数秒間点滅します。



- テープに傷がついていたり、あるいは録画状態の悪いテープはオートトラッキング機能が正常に動かないことがあります。この場合、トラッキングボタンを押して、最も画面がきれいになるように調節します。

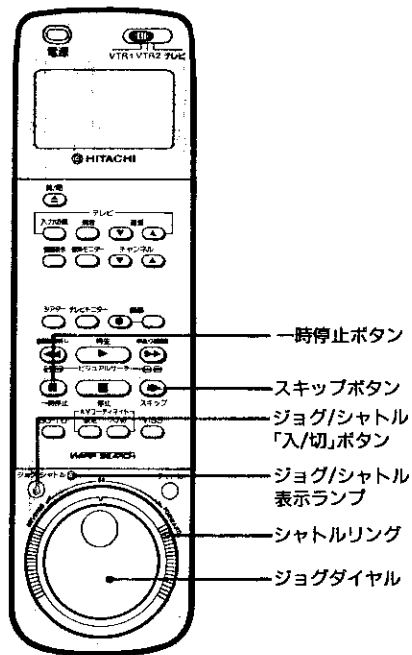
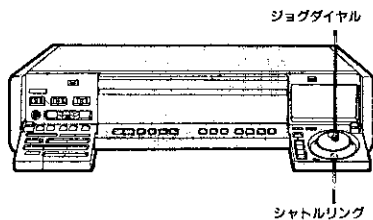


- トラッキングボタンを押した後、オートトラッキングボタンを押すと、再びオートトラッキング機能が働きます。



いろいろな再生

- 再生中に下記操作をするといろいろな再生ができます。
- いろいろな再生中は音は出ません。



ご注意

- リモコンのジョグ/シャトルを使うときは、ジョグ/シャトル「入/切」ボタンを押してジョグ/シャトル表示ランプを点灯させてください。ランプがついていないと、リモコンのジョグ/シャトルでは操作できません。

静止画再生

静止した画像を見る

一時停止ボタンを押す



- もう一度ボタンを押すと再生に戻ります。

スキップ再生

不要な場면을飛ばして見る

スキップボタンを押す



- 約30秒間の画面を早送り再生したあと、再生に戻ります。
- 2回以上押したときは、最後に押したところから、約30秒間の画面を早送り再生したあと、再生に戻ります。

コマ送り再生

静止画像を1コマずつ見る

ジョグダイヤルを回す



- 手ごたえのある位置まで回すたびに1コマずつコマ送りされます。
- 指を離すと静止画再生に戻ります。

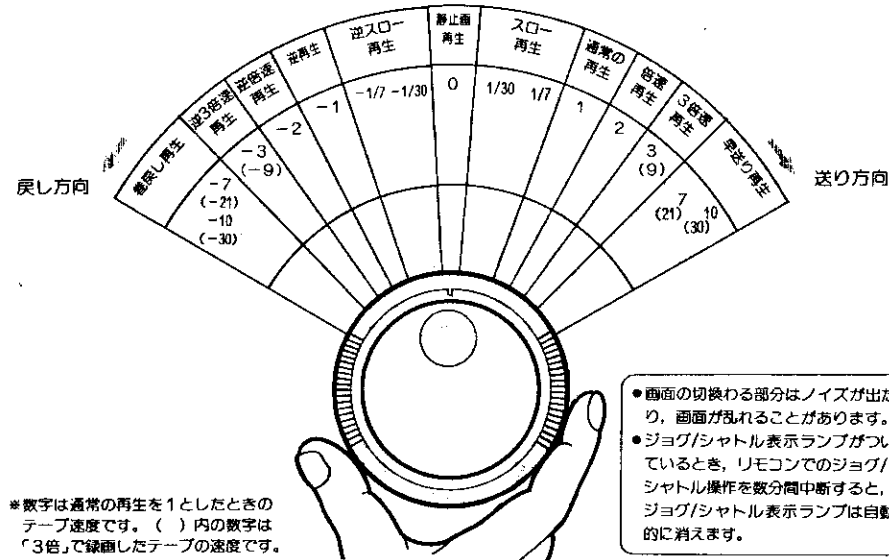
静止画再生～早送り(巻戻し)再生



静止画再生から早送り(巻戻し)再生までスピードを変えて見る

シャトルリングを回す……回す角度に応じて再生速度が次のように変わります。

(指を離すと静止画再生に戻ります。)



*数字は通常の再生を1としたときのテープ速度です。()内の数字は「3倍」で録画したテープの速度です。

- 画面の切替わる部分はノイズが出たり、画面が乱れることがあります。
- ジョグ/シャトル表示ランプがついているとき、リモコンでのジョグ/シャトル操作を数分間中断すると、ジョグ/シャトル表示ランプは自動的に消えます。

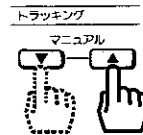
こんなときは……

■静止画再生/スロー再生/逆再生/逆スロー再生を数分間続けたとき

- テープとヘッド保護のため、自動的に停止します。

■静止画再生の画面が上下に揺れたとき

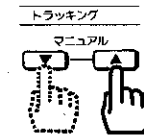
- トラッキングボタンで画像を見ながら調節します。



- 「EP」3倍で録画したテープと「SP」標準で録画したテープは別々に調節することができます。
- テレビとの組み合わせによっては、ゆれを抑えることができないことがあります。

■スロー再生/逆スロー再生/静止画再生中に画面にノイズが出たとき

- 最初にリモコンのシャトルリングでスロー再生にしたまま、トラッキングボタンでノイズを少なくするように調節します。次に逆スロー再生にしたまま同様に調節します。
- スロー再生時のノイズを少なくすると、静止画再生時のノイズも自動的に少なくなります。

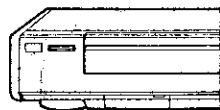


- 「EP」3倍で録画したテープと「SP」標準で録画したテープは別々に調節することができます。
- ビデオのトラッキングボタンではこの調節はできません。

見たい画面のさがしかた(サーチ)

次の3つの方法でサーチできます。

ビジュアルサーチ



1 再生中に巻戻しまたは早送りボタンを「ボン」と押す

巻戻し または 早送り

2 見たい画面になったら再生ボタンを押す

再生

高速サーチ

1 再生中に巻戻しまたは早送りボタンを押し続ける

巻戻し または 早送り

2 見たい画面になったらボタンから指を離す

●テレビによっては瞬間的に画面が乱れることがあります。

ワープサーチ

1 早送りまたは巻戻し中にもう一度早送りまたは巻戻しボタンを押し続ける

巻戻し または 早送り

2 見たい画面になったらボタンから指を離した後、再生ボタンを押す

再生

- サーチの画面には数本のノイズが出ます。
- サーチ以外にリニアタイムカウンターやVISSを使って見たい画面をさがすこともできます。詳しくは [42]

●サーチ時のスピードは次のようになります。(再生時との比較)

録画モード	「SP」標準	「EP」3倍
サーチの種類		
ビジュアルサーチ	約5倍	約15倍
高速サーチ	約7倍	約21倍
ワープサーチ	約12~15倍	約36~45倍

クイックタイマー録画

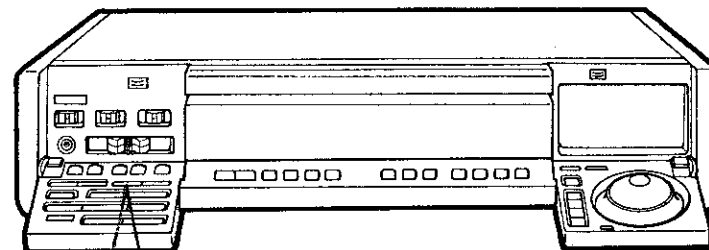
本機のボタンで
操作します。

次のようなとき、便利です。

- 録画が終わったら、自動的に電源が切れるようにしたいとき
- 今から24時間以内の番組を簡単操作でタイマー録画したいとき [30]

録画が終わったら、自動的に電源が切れるようにしたいとき

ご注意：ビデオの時計を合わせておかないと、クイックタイマー録画はできません。



録画を始めた後、もう一度録画ボタンを押す (リモコンの録画ボタンでは操作できません。)



- ボタンを押すたびに、図のように表示窓の録画時間が変わります。

8:00 REC. 00	0:30 T-REC. 00	1:00 T-REC. 00	1:30 T-REC. 00
	4:00 T-REC. 00	3:00 T-REC. 00	2:00 T-REC. 00

- 表示された時間だけ録画された後、自動的に電源が切れます。
- クイックタイマー録画中は、ビデオの表示窓に、録画の残り時間が表示されます。

- クイックタイマー録画中に録画をやめたいときは、電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押します。

クイックタイマー録画(つつき)

リモコンのボタンで
操作します。

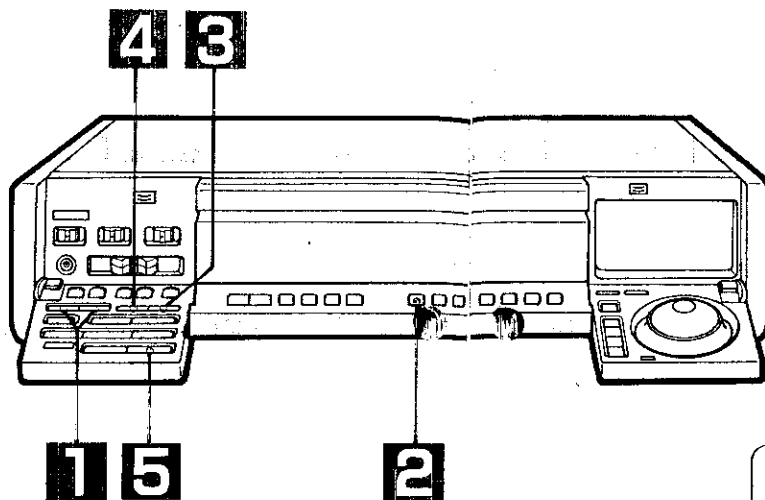
今から24時間以内の番組を簡単操作でタイマー録画したいとき

こんなときは……

- クイックタイマー録画中に録画をやめたいとき
 - 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押します。
- クイックタイマー録画とタイマー録画が重なったとき
 - クイックタイマー録画が優先します。
- クイックタイマーの予約を取消するとき
 - 開始時刻ボタンを押した後、録画ボタンをくり返し押して表示を「0:00」に合わせます。約8秒後に予約が消えます。
- クイックタイマー録画中に録画時間を変えたいとき
 - 録画ボタンを押すと、録画時間を変えることができます。
- クイックタイマー録画中は
 - 一時停止などのボタン操作はできません。

準備

1. 「つめ」の折れていないテープを入れる。
2. 録音レベルつまみを手ごたえのある中央に合わせておく。



電源を切り忘れる
と録画されません!

<h3>1 録画したいチャンネルを選ぶ</h3> <p>チャンネル</p> <p>(ピアスの表示窓)</p>	<h3>2 録画モードを選ぶ</h3> <p>標準(SP)/3倍(EP)</p>	<h3>3 開始時刻を選ぶ</h3> <p>クイックタイマー</p> <p>開始時刻</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボタンを押すたびに、開始時刻が30分単位で変わります。 ●24時間以内のご希望の開始時刻に合わせます。 	<h3>4 録画時間を選ぶ</h3> <p>録画</p> <p>録画時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●録画ボタンを押すたびに録画時間が次のように入ります。 <p>0:30→1:00→1:30→2:00 ←0:00←4:00←3:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ご希望の録画時間を選びます。 	<h3>5 電源を切る</h3> <p>電源</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開始時刻になると自動的に録画が始まり、希望の録画時間だけ録画した後、ピアスの電源が切れます。
--	--	--	---	--

- ボタンを押し続けると連続的に変わります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、開始時刻を合わせることはできません。

- リモコンの録画ボタンでは、録画時間を選ぶことができません。

- 「つめ」の折れたテープが入っていたり、またはテープが入っていないと表示窓の「TAPE」とフロントパネルのタイマーランプが点滅してお知らせします。「つめ」の折れていないテープを入れてください。

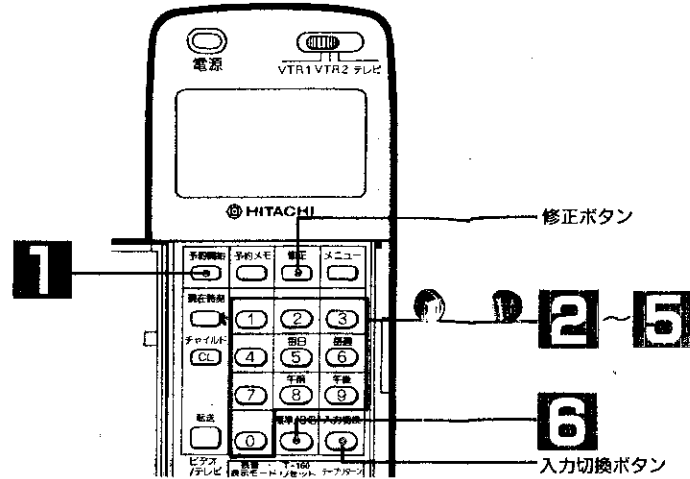
タイマー録画

- タイマーを合わせておくと、自動的にテレビ番組の録画ができます。
- 今日から一年先まで、全部で8つの番組を予約することができます。
- 毎日の連続ドラマや毎週一回の映画も予約できます。

たとえば
4チャンネルを
午後8時30分から午後10時54分まで
12月20日に録画したいとき
 (1回録画)

ビデオの準備

- 1.「つめ」の折れていないテープを入れる。
- 2.録音レベルつまみを手ごたえのある中央に合わせる。



こんなときは……

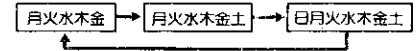
■途中で間違えたとき

修正ボタンを押して、点滅を間違えたところまで戻してから修正してください。

■毎日同じ時間の番組を予約するとき

録の操作のあと 修正 ボタンを押します。

- ボタンを押すたびに月～金、月～土、日～土の予約が選べます。

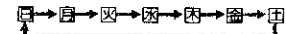


- このあと、録 録 の操作をします。

■毎週同じ時間の番組を予約するとき

録の操作のあと 修正 ボタンを押す。

- ボタンを押すたびに曜日が選べます。



- このあと、録 録 の操作をします。

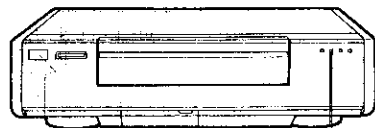
次ページへ続く

<h3>1 予約開始ボタンを押す</h3> <p>(リモコンの表示窓)</p>	<h3>2 録画したいチャンネルを合わせる</h3> <p>●ひとけたの数字を合わせるときは初めに 0 を押してください。</p>	<h3>3 開始時刻を合わせる</h3> <p>●午前は 0 を押します。 ●午後は 9 を押します。</p>	<h3>4 終了時刻を合わせる</h3> <p>●午前/午後は自動的に切り替わります。</p>	<h3>5 録画する日にちを合わせる</h3> <p>●曜日 は自動的に表示されます。 ●録画する日が24時間以内のときは、自動的に合うので合わせる必要はありません。</p>	<h3>6 録画モードを合わせる</h3> <p>●ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。 「3倍」▶「標準」▶「オート」▶「表示は一度消える」</p>
---	---	---	---	---	--

●外部機器からタイマー録画するとき、リモコンの入力切換ボタンで「L1」または「L2」を選びます。

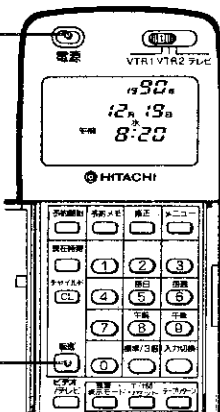
●「オート」を選ぶとテープの残量に応じて録画モードが自動的に切り替わります。
●録画モードは録～録のときも合わせることができます。

タイマー録画(つづき)



タイマーランプ

8



転送ボタンを押すときは、リモコンをビデオのリモコン受光部に向けて押しします。

7

電源を切り忘れると録画されません!

7 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



●ビデオに予約が転送され「PROG」が点滅します。

(ビデオの表示窓)

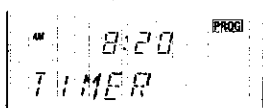


8 ビデオの電源を切る



●表示窓に「TIMER」が現われます。またタイマーランプが点灯します。
●開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

(ビデオの表示窓)



これは便利

電源を切り忘れた場合でも、タイマー録画開始5分前になると警告音を出し、自動的にビデオの電源を切る機能があります。詳しくは 41

こんなときは……

■録画モードで「オート」を選んだとき

- テープの残量に応じて自動的に録画モードが切り替わります。最初は「標準」で録画を始め、途中でテープがなくなりそうになると、録画モードを自動的に「3倍」に切換えます。
- 録画モードの切換わった部分を再生すると映像/音声がかかります。

■予約した内容の確認や取消しをするとき

- 次ページをご覧ください。

■タイマー録画中に録画をやめたいとき

- 電源ボタンを押した後、10秒以内に停止ボタンを押します。

■停電があると

- 約30分以上停電すると「---:---」となり、時計と予約内容が消えてしまいます。もう一度時計と予約を合わせ直してください。

■テープが入っていないとき

- ビデオの表示窓の「TAPE」とフロントパネルのタイマーランプが点滅してお知らせします。「つめ」の折れていないテープを入れてください。

■予約内容が重なったとき

- 先に始まった番組が最後まで録画された後、もう一つの番組が途中から録画されます。

■ビデオに予約を転送したとき、「ERROR」や「FULL」が出たとき

- 「ERROR」: ●ビデオの時計が「---:---」になっています。時計を合わせてから転送します。
●間違ったチャンネルを予約しています。チャンネルを確認します。
●リモコンをビデオに向けて転送しています。ビデオに向けて転送します。
- 「FULL」: ●すでに8つの番組が予約されており、予約はできません。

■タイマー録画予約したあと、ビデオをふつうに使いたいとき

- ビデオの電源を入れると、ふつうに使えます。使い終わった後は必ずビデオの電源を切ってください。ビデオの電源を切り忘れるとタイマー録画できません。

■タイマー録画中は

- 一時停止などのボタン操作はできません。

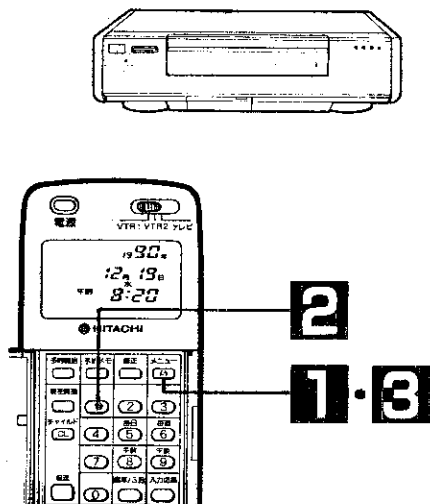
●「つめ」の折れたテープが入っていたり、またはテープが入っていないと表示窓の「TAPE」とフロントパネルのタイマーランプが点滅してお知らせします。「つめ」の折れていないテープを入れてください。

予約の確認と取り消し

(テレビ画面を見ながら操作します。)

予約内容を確認するには

確認が終わったら

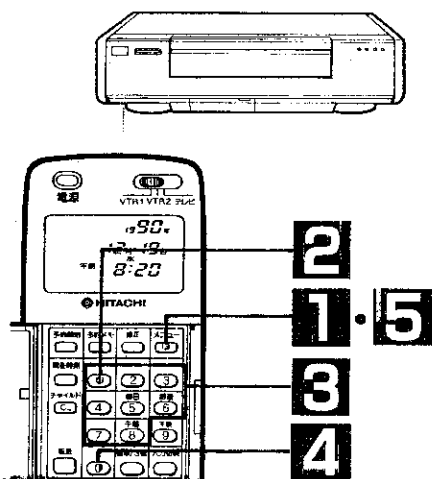


<p>1 メニューボタンを押す</p> <p>(テレビ画面)</p>	<p>2 ①を押す</p> <p>●予約内容が確認できます。</p>	<p>3 もう一度メニューボタンを押す</p> <p>●元の画面に戻ります。</p>
---	---	---

予約内容を取り消すには

続けて別の予約を取り消すとき

取り消しが終わったら

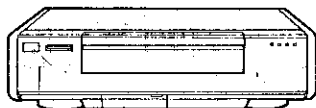


<p>1 メニューボタンを押す</p> <p>(テレビ画面)</p>	<p>2 ①を押す</p> <p>●予約内容を表示します。</p>	<p>3 取り消したい予約番号①～⑧を押す</p> <p>●例えば予約番号3の内容を取り消すには</p>	<p>4 ①を押して表示した予約を取り消す</p>	<p>5 もう一度メニューボタンを押す</p> <p>●元の画面に戻ります。</p>
---	--	---	----------------------------------	---

●メニュー画面および予約内容を表示した画面は約1分だと、自動的に元の画面に戻ります。

予約メモについて

- 予約内容をビデオに転送すると、ビデオがこの予約内容を記憶します。
- リモコンでも予約内容を8つまで記憶(予約メモ)できます。
- 必要に応じて予約メモの内容をビデオに転送するだけで、タイマー予約ができます。

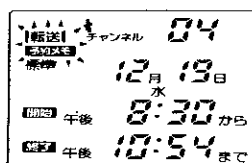


■予約メモするには

タイマー録画の予約中に**予約メモボタン**を押す



- **予約メモ** が点滅しているとき、予約メモボタンを押します。予約内容がリモコンに記憶されます。



■予約メモの内容を使うには

1 予約メモボタンを押す

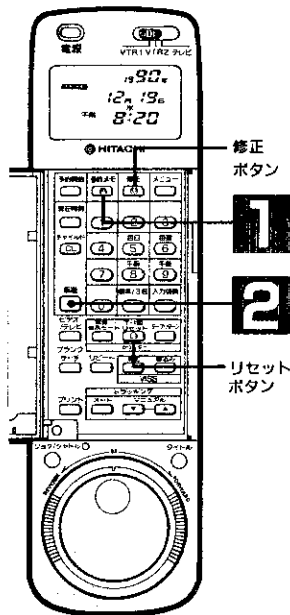


- 使いたい予約内容が表示されるまでボタンを1回ずつ押します。

2 転送ボタンを押す



- ビデオに向けて転送ボタンを押します。これでビデオに予約が転送できます。



予約メモするとき

すでに8つ予約メモしているときは、タイマー録画の予約中に **予約メモ** は点滅しません。また予約メモボタンを押しても「FUL」が表示されてお知らせします。

取り消したいとき

予約メモボタンを押して予約メモの内容を表示したあと、「リセットボタン」を押します。

確認と変更のしかた

予約メモボタンを押すたびに予約メモの内容がリモコンに表示されます。予約メモの内容を変更したいときは修正ボタンを押して合わせ直します。

録画予約時間が終わると

予約メモの日付は自動的に更新されます。例えば当日一回がぎりの番組予約でも、録画予約時間が経過した後は自動的に次の週の同一番組の予約に更新されます。

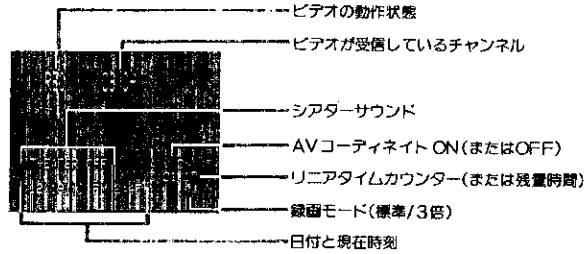
便利な使いかた

この章では、本機でできる便利な使いかたを説明してあります。マスターされると大変便利に、本機をお使いいただけます。

- 画面表示 **40**
(テレビの画面に受信チャンネルやリニアタイムカウンターなどの表示が出ます。)
- お好みセレクト (ビデオの動作機能をお好みに合わせて選べます。) **41**
- 便利な画面のさがしかた
 - リニアタイムカウンター/テープリターン機能 **42**
 - カウンターGO-TO機能 **43**
 - VISS (頭出し信号を使って番組の頭をさがします。) **44**
- 便利な機能
 - オフタイマー (自動的にビデオの電源を切ります。) **47**
 - AVコーディネート (テープ再生時の音量や画質をお好みに合わせて調節できます。) **48**
 - タイトル録画 (オリジナルタイトルを入れて録画できます。) **50**
- 便利なリモコンの使いかた
 - リモコンでテレビを操作するには (当社以外のテレビも操作できます。) **52**
 - リモコンで2台のビデオを操作するには **53**
 - チャイルドロック **53**
- その他の便利な機能
 - シアターボタン/映像切換スイッチ/DCNRボタン **54**
 - リピート再生/操作音について/ブランクサーチ/音声出力端子2とヘッドホン端子の音量について **55**
- テープの編集
 - テープのダビング **58**
 - アフレコ編集 **59**
 - インサート編集 **60**
 - オートアッセンブル編集 **62**
 - シンクロ編集 **66**
- テレビ以外の機器との接続使用
 - オーディオ録音するには **70**
 - 衛星放送を録画するには **71**
 - ビデオプリンターを使うには **72**

画面表示 (テレビ画面を見ながら) 操作します。

ビデオを操作すると、その都度テレビ画面に下図の表示が自動的に約5秒間出ます。



●画面表示ボタンまたは表示モード切換ボタンでも画面表示を切替えることができます。

■画面表示ボタンで画面表示を切替える

●ボタンを押すたびに、次のように表示が切替わります。



●③の状態を選ぶとビデオを操作しても何も表示が出ません。テープ編集時、本機を再生側ビデオに使うとき便利です。……モード表示 OFF

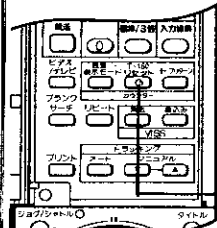
■表示モード切換ボタンで画面表示を切替える

●ボタンを押すたびに、次のように切替わります。



●ビデオの表示窓も一緒に切替わります。

■テープ残量時間表示について

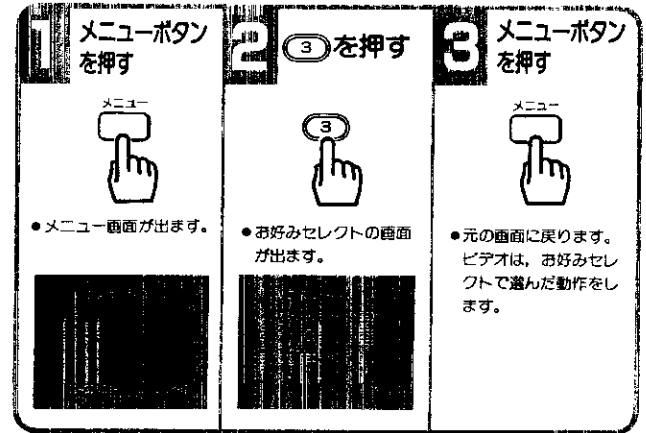
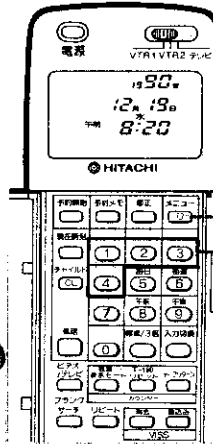


- 残量時間はテープを入れ、録画または再生を始める約30秒後に表示されます。
- 上の③の例では録画モードが「標準」で、テープの残量時間は1時間11分です。
- T-160やT-140テープを使うときは、残量時間表示のときリセット/T-160ボタンを押して、ビデオの表示窓に「T-160」を表示させてください。
- T-30/60/90/120/140/160テープは、残量時間を正しく表示しますが、これら以外のテープは、テープの構造の違いにより正しく表示しないことがあります。

リセット/T-160ボタン

お好みセレクト (テレビ画面を見ながら) 操作します。

ビデオの動作機能を好みに合わせて選ぶことができます。



●メニュー画面が出ます。

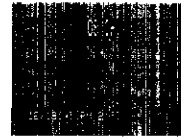
●お好みセレクトの画面が出ます。

●元の画面に戻ります。ビデオは、お好みセレクトで選んだ動作をします。

1. オートテートメモ (YES) または (NO)

●①を押して切替えます。

(YES) : 録画やタイマー録画時など、次の画面を自動的に録画します。



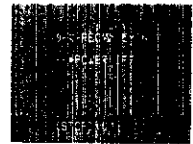
(NO) : 上の画面は録画されません。

2. オートPLAY (YES) または (NO)

●②を押して切替えます。

(YES) : 「つめ」の折れているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。

(NO) : 自動的に再生を始めません。



3. オートBLUE (YES) または (NO)

●③を押して切替えます。

(YES) : ビデオのチャンネルボタンでテレビ放送のない空きチャンネルを選んだときや、音声のみを記録したテープを再生すると、画面がブルーになります。

●電波の強い地域での空きチャンネルや未録画テープまたは録画状態の悪いテープを再生したときは、この機能が働かないことがあります。

(NO) : 上の機能は働きます。

4. POWER ON (VTR) または (TV)

●④を押して切替えます。

(VTR) : ビデオの電源を入れたとき、ビデオ/テレビ切換ボタンを「ビデオ」にします。

(TV) : ビデオの電源を入れたとき、ビデオ/テレビ切換ボタンを「テレビ」にします。

5. オートタイマーREC開始(YES)または(NO)

●⑤を押して切替えます。

(YES) : タイマー録画の開始5分前に、ビデオの電源が「入」になっていると、警告音を発します。このとき、ビデオが停止状態の場合、自動的にビデオの電源を切ります。

(NO) : 上の機能は働きます。

6. CATV入力 (YES) または (NO)

●⑥を押して切替えます。

(YES) : CATV(ケーブルテレビ)を利用しているとき。

(NO) : CATVを利用していないとき。詳しくは84ページをご覧ください。

便利な使いかた

お好みセレクト
画面表示

便利な画面のさがしかた (リニアタイムカウンター/テープリターン機能/カウンターGO-TO機能)

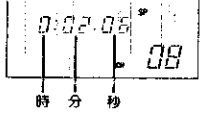
リニアタイムカウンターを使うとテープリターン機能やカウンターGO-TO機能で見た画面を簡単にさがすことができます。

■リニアタイムカウンターについて
テープを入れてテープが走行すると「0:00.00」からスタートし、経過時間を「時・分・秒」で表示します。

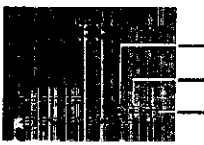
■リニアタイムカウンターを選ぶには表示モード切換ボタンを押します。 **[40]**

- ビデオの表示窓とテレビ画面の両方にリニアタイムカウンターは表示されます。

(ビデオの表示窓)



(テレビ画面)



●高速巻戻し中やテープを取り出したときは、自動的に「0:00.00」にリセットされます。

ご注意：リニアタイムカウンターはテープに何も録画されていないときは動作しません。

テープリターン機能

リニアタイムカウンターを「0:00.00」に合わせた位置の頭出しができます。

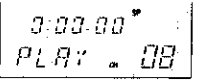
1 録画または再生中に、もう一度見たい画面でリセットボタンを押す

2 録画や再生が終わったら、停止ボタンを押した後、テープリターンボタンを押す

●リニアタイムカウンターが表示されていないときは、表示モード切換ボタンを押してリニアタイムカウンター表示を選びます。

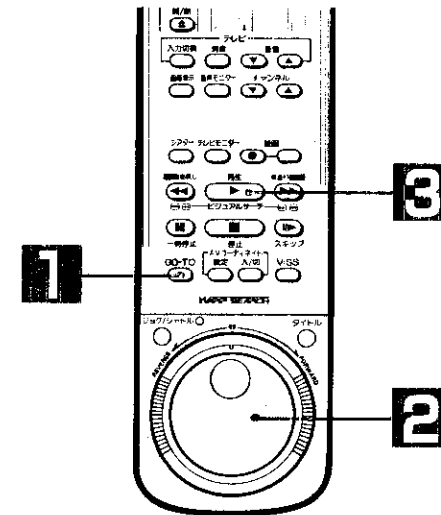
●ビデオの表示窓に「REW」または「FF」が表示され、「0:00.00」の位置まで自動的に巻戻し(早送り)されます。

(ビデオの表示窓)



カウンターGO-TO機能 (テレビ画面を見ながら操作します。)

テープの今の位置から何分前または何分後の位置をさがすことができます。



1 ビデオが停止しているときGO-TOボタンを押す

●「COUNTER GO-TO 0:00」が現れます。またジョグ/シャトル表示ランプが点灯し、リモコンのジョグ/シャトルを使うことができます。

●ビデオのGO-TOボタンを押しても、ジョグ/シャトル表示ランプは点灯しません。

2 ジョグダイヤルで何分前または何分後かを合わせる

●ジョグダイヤルを回すと、1分単位で増減できます。最大8時間59分まで合わせることができます。

●GO-TOボタンをもう一度押すとGO-TO機能は解除します。

1時間23分後の位置に合わせた例

3 再生ボタンを押す

●画面のカウンター表示が「0:00.00」になるまで早送り、または巻戻された後、再生を始めます。

●ジョグ/シャトル表示ランプがついているとき、リモコンでのジョグ/シャトル操作を数分間中断すると、ジョグ/シャトル表示ランプは自動的に消えます。

便利な画面のさがしかた(つづき)

VISSのオートスキャナブレイ機能 (見たい番組がテープの何番目に録画してあるかが分からないとき、さがすのに便利です。)

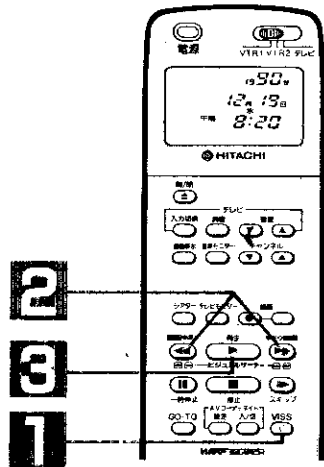
本機またはVISS機能付きビデオで録画すると録画ボタンを押すたびにVISS信号が自動的に番組の頭の部分に記録されます。このVISS信号を検知して見たい番組を素早くさがすことができます。

(VISS (VHS Index Search System) を使って)

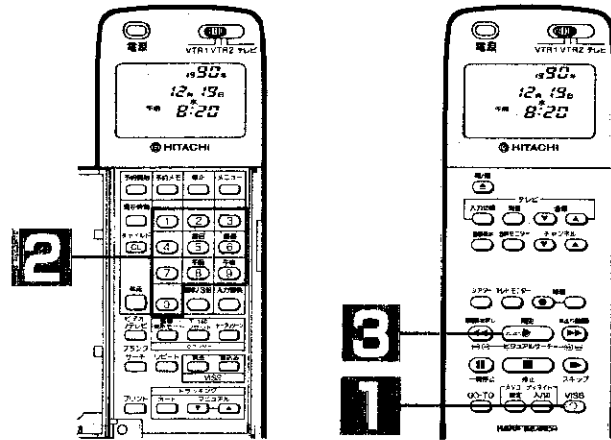
VISSのDRPS (Direct Play Spanner) 機能 (見たい番組がテープの何番目に録画してあるか分かっていると、さがすのに便利です。)

オートスキャナブレイと同じくVISS信号を検知して番組の頭をさがします。オートスキャナブレイと操作および動作が少し違います。

VISSボタンを押すと、テレビ画面にVISSモードメニューが現われます。



VISSボタンを押すと、テレビ画面にVISSモードメニューが現われます。



<p>1 停止状態でVISSボタンを押す</p> <p>●表示窓に「VISS」が表示されます。</p>	<p>2 早送りまたは、巻戻しボタンを押す</p> <p>●番組の頭(VISS番号の部分)まで早送りまたは巻戻された後、自動的に15秒間再生をくり返します。</p>	<p>3 見たい番組が現われたら再生ボタンを押す</p> <p>●再生になります。</p>
--	---	--

<p>1 停止状態でVISSボタンを押す</p> <p>●表示窓に「VISS」が表示されます。</p>	<p>2 0~9のボタンで見たい番組を選ぶ</p> <p>●見たい番組が7番目のときは0と7と押す。</p>	<p>3 再生ボタンを押す</p> <p>●テープは一度、始めまで巻戻されたあと、早送りされます。 ●希望の番組で自動的に再生します。</p>
--	---	--

VISS番号は

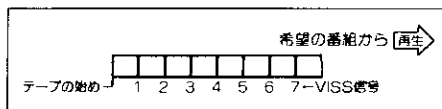
録画ボタンを押すと、自動的に記録されますが、録画一時停止から録画に戻しても記録されません。ただし音声だけ録音するときは、録画一時停止から録画に戻したときでも記録されます。

VISS信号を検知しないとき

- 次のような場合、オートスキャナブレイとDRPS機能を操作したときVISS信号を検知しないことがあります。
- テープの巻始めから録画を始めたとき。
 - 他のビデオで録画したテープにVISS信号を書き込んだとき。
 - 録画時にテープスピードを切替えた部分にVISS信号を書き込んだとき。
 - 録画してある時間が10分以内の番組。
 - VISS番号が記録されている付近で巻戻し(または早送り)ボタンを押したとき。

DRPS機能について

- テープの始めからの番号で指定した番組を再生します。



DRPS操作時のVISS番号について

- 一度DRPS操作するとカセットをビデオから取り出すまで再生している番組がテープの最初から何番目に録画されているかを記憶しています。従って次にDRPSをするときには直接選んだ番組まで早送りまたは巻戻した後、再生になります。

便利な画面のさがしかた(つづき)

VISS信号の記録と取り消しかた

- VISS信号は録画ボタンを押すと、自動的に記録されます。
- 録画ボタンを押さなくても、好きな位置でVISS信号を記録したり、消去したりすることができます。

■自分の好きな位置でVISS信号を記録するには

再生または録画中に、VISS信号を記録したいところでVISS書き込みボタンを押す



- VISS信号の記録中は「VISS」表示が点滅します。記録が終わると「VISS」表示は消えます。

■VISS信号を消去するには

1 消去したいVISS信号の
頭出しをしたあと、再生する



- 前ページのオートスキャナプレイ、又はDRPS機能でさがして再生します。

2 VISS消去ボタンを
押す



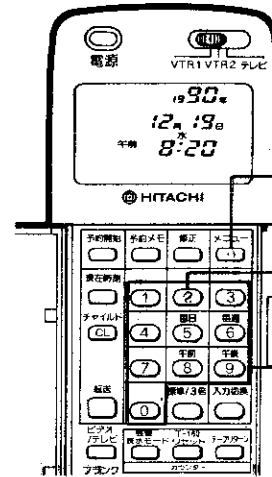
- テープを番組の頭 (VISS信号のところ) まで自動的に巻戻し再生をしたあと、VISS信号を消去します。
- VISS信号の消去中は表示窓に「ERASE」が点灯します。消去が終わると「ERASE」は消えます。

VISSの書き込みと消去のとき

- 「つめ」の折れたテープはVISS信号の書き込みおよび消去はできません。
- 再生中に書き込みまたは消去をしているとき、音声はできません。
- 他のビデオで録画したテープにVISS信号を書込んだり、消去したときは、その部分で画像が乱れることがあります。また録画時に録画モードを切替えた部分にVISS信号を書込んだり、消去したときも、その部分で画像が乱れることがあります。
- VISS信号の書き込みまたは消去中は、他のボタン操作をしないでください。

オフタイマー (テレビ画面を見ながら) 操作します。

ビデオの電源を自動的に切ることができます。今から最大99分以内の時刻を合わせておくと自動的に合わせた時刻になると電源が切れます。録画しているときなどに便利です。



1・4
2
3

1 メニューボタンを押す

●メニュー画面が現われます。

2 ②を押す

●OFFタイマーが表示されます。

3 ⑤～⑧のボタンで合わせる

例えば、50分後にビデオの電源を切りたいときは、

4 メニューボタンを押す

●ビデオの表示窓に「SLEEP」が表示され、50分後にビデオの電源が切れます。

(ビデオの表示窓)

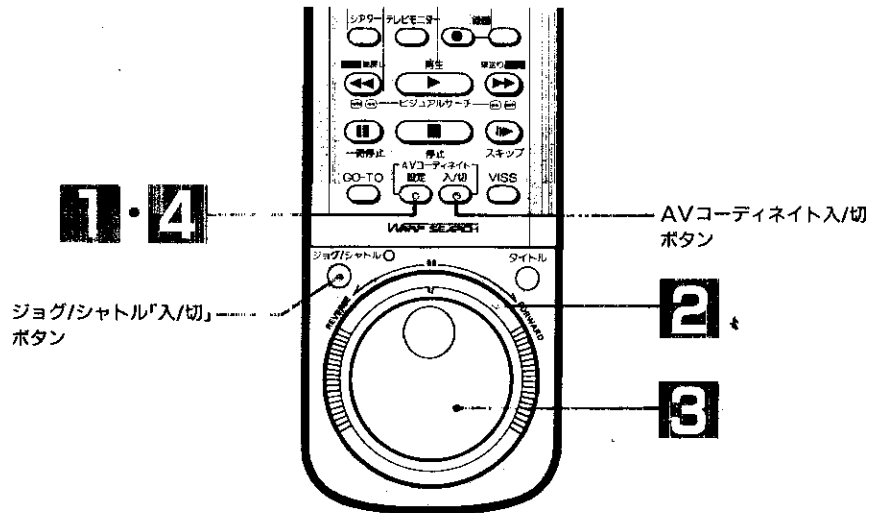
AVコーディネイト (テレビ画面を見ながら操作します。)

テープ再生時の音量や画質などをお好みに合わせて調節することができます。

便利な使いかた

こんなときは……

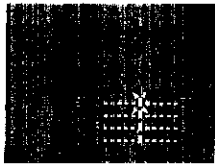
- AVコーディネイトした内容を楽しむとき
 - 音量は「A/V ON.」、「A/V OFF」に関係なく音声出力端子2とヘッドホン端子からの出力がAVコーディネイトで調節した音量になります。
 - 「ピクチャー」、「肌色」、「色の濃さ」については「A/V ON.」を表示したときだけ、アンテナ出力端子及び後面の出力端子からAVコーディネイトされた内容が出力されます。



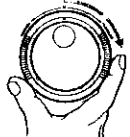
1 再生中にAVコーディネイト設定ボタンを押す



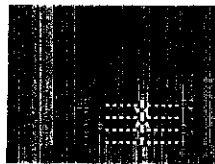
- AVコーディネイトの画面が現われます。
- 音量を調節したいときは、停止中もできます。



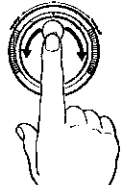
2 シャトルリングを回す



- リモコンのジョグ/シャトルで操作するときは、ジョグ/シャトル「入/切」ボタンを押して、ジョグ/シャトル表示ランプを点灯させてください。
- 矢印方向に少し回した後、元に戻ると点滅マークが下に移動します。
- 合わせたい位置に点滅を移します。
- シャトルリングを矢印とは反対方向に回すと、点滅マークは上に移動します。



3 ジョグダイヤルで調節する



- 時計方向に回すと、数字が大きくなり、反対方向に回すと数字が小さくなります。
- この図、図の操作をくり返し、お好み音量、画質を調節します。



- 数字が大きくなるほど、音が大きくなります。
- 「+」側になるほど、輪かきがつきりします。
- 「G」側になるほど緑っぽくなり、「R」側になるほど赤っぽくなります。
- 「+」側になるほど、色が濃くなります。

終わったら

4 AVコーディネイト設定ボタンを押す



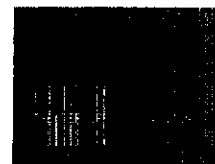
- AVコーディネイトの画面は消えます。
- 再生はそのまま続きます。
- 再生を止めるときは、停止ボタンを押します。

AVコーディネイトした内容をお楽しみになるには

AVコーディネイト入/切ボタンを押す



- 「A/V ON.」をテレビ画面に表示した後、再生を始めます。AVコーディネイトした画面をお楽しみいただけます。
- AVコーディネイト入/切ボタンを押すたびに「A/V ON.」、「A/V OFF」をくり返します。

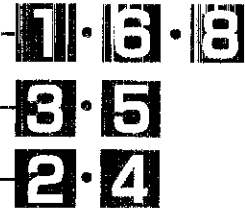
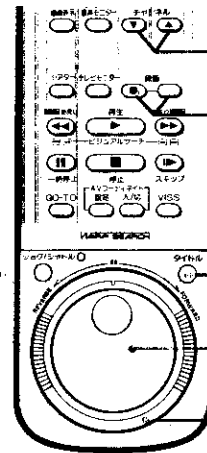
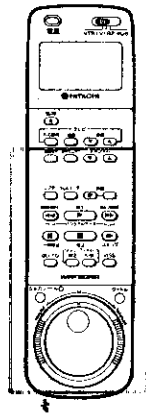


AVコーディネイト

タイトルを録画するには (テレビ画面を見ながら) 操作します。

便利な使いかた

テレビ番組を録画するときや、外部機器からの映像にオリジナルタイトルを入れて録画することができます。



<p>1 タイトルボタンを押す</p> <p>● テレビ画面に記憶されていた文字が現われます。 ● ビデオの表示窓に「TITLE」の文字が現われます。</p>	<p>2 シャトルリングを矢印方向に回す</p> <p>● 記憶されている文字が消え、タイトル作成モードになります。</p>	<p>3 ジョグダイヤルで文字の大きさを選ぶ</p> <p>● ジョグダイヤルはどちら側に回しても、文字の大きさを3段階に調節できます。 ● 最大12文字5行のタイトル画面が作成できます。</p>	<p>4 シャトルリングを矢印方向に回す</p> <p>● シャトルリングを一杯にするとカーソルが次々と移動します。少し回した後、中央に戻すと1つずつカーソルが移動します。</p>	<p>5 ジョグダイヤルで文字を選ぶ</p> <p>● ジョグダイヤルを回すと前ページの下部の順序で文字が変わります。 ● 罫、罫の操作を繰り返して、タイトルを作成します。</p>	<p>6 タイトルボタンを押す</p> <p>● 文字が間違っていないか確認した後、タイトルボタンを押す。 ● タイトルは画面から消えますが、ビデオに記憶されています。</p>	<p>7 タイトルを入れたい画面を選ぶ</p> <p>● テレビ番組にタイトルを入れたいときは、チャンネルボタンで番組を選びます。</p> <p>● 外部機器からの映像にタイトルを入れたいときは、入力切換ボタンで外部機器からの映像をテレビに出します。</p>	<p>8 タイトルを録画する</p> <p>● タイトルボタンを押して、タイトルを画面に表示した後、録画ボタンを押す。タイトルが録画されます。</p> <p>● もう一度タイトルボタンを押すとタイトルは消えますが、録画はそのまま続きます。</p>
--	---	---	---	---	---	--	--

タイトルを録画するには

タイトル録画について

- ジョグダイヤルを回すと次の文字を選ぶことができます。
▶ A B C... X Y Z AM PM 0 1... 8 9 ■ NO : /
年 土 金... 月 日 罫 + 罫 罫 ▶ ◀ (~ ~ ◀
- ジョグダイヤルを時計方向に回すと上の順序で、反時計方向に回すと逆の順序で変わります。

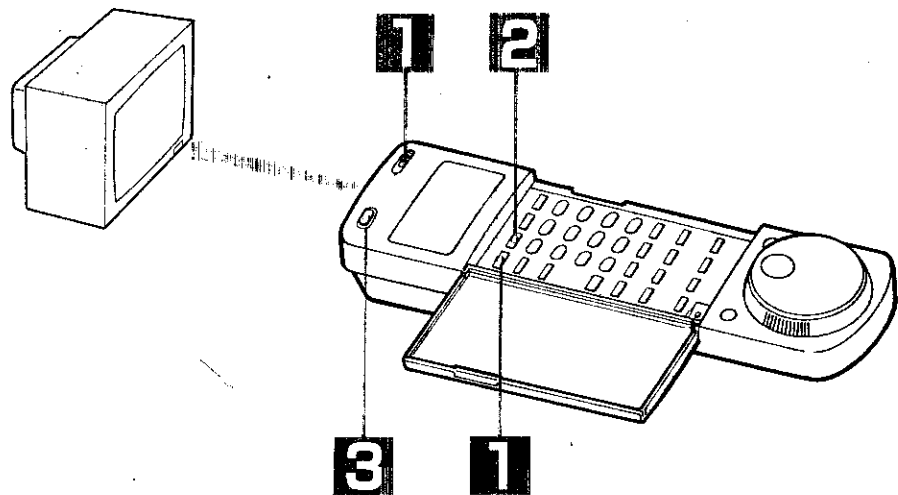
- ジョグ/シャトルでいろいろな再生をしているときは、タイトルの作成ができません。
- 一度作成したタイトルは電源を切ってもビデオに記憶されており、これを消すときは、上の罫、罫の操作をします。
- 文字を入力したあとから、文字の大きさを要えることはできません。

- 画面がブルーバックのときは、タイトルは表示できませんが、録画はできません。
- 背景の絵柄または使用するテレビによっては、文字がゆがむことがあります。

リモコンでテレビを操作するには

付属のリモコンは当社以外のテレビも操作できます。

- テレビの種類によっては、すべての操作ができないものや特定のボタンだけ操作できないものがありますので、お手持ちのテレビがこのリモコンで操作できるかどうか次の手順で確認してください。



1 リモコン切換スイッチを「テレビ」にした後、予約開始ボタンを押す

- リモコンの表示窓に「テレビコード01」が表示されます。

2 予約メモボタンを押してテレビコードを選ぶ

- ボタンを押すたびに、テレビコード「01」～「11」を選ぶことができます。
- ご使用になるテレビにより下欄のようにテレビコードを合わせます。

3 テレビに向けて電源ボタンを押す

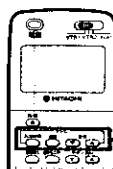
- テレビの電源の「入」「切」ができたら予約開始ボタンを押す。これでお手持ちのテレビをこのリモコンで操作できます。
- テレビを操作するときは、リモコン切換スイッチを「テレビ」にします。

■テレビコードとメーカー名

テレビコード	01	02	03	04	05	06	07	08*	09*	10	11
メーカー名	日立	松下電器	ビクター	ソニー	東芝	三菱電機	三洋	シャープ	シャープ	富士通ゼネラル	NEC

*テレビがシャープ製の場合、テレビコードが「08」と「09」の2つありますので、電源の「入」「切」ができる方を選びます。

- リモコン切換スイッチを「テレビ」にすると、テレビ操作ボタン以外に ○ のボタンもテレビの操作ができます。
- テレビ操作ボタンはリモコン切換スイッチの位置に関係なくテレビの操作ができます。



テレビ操作ボタン

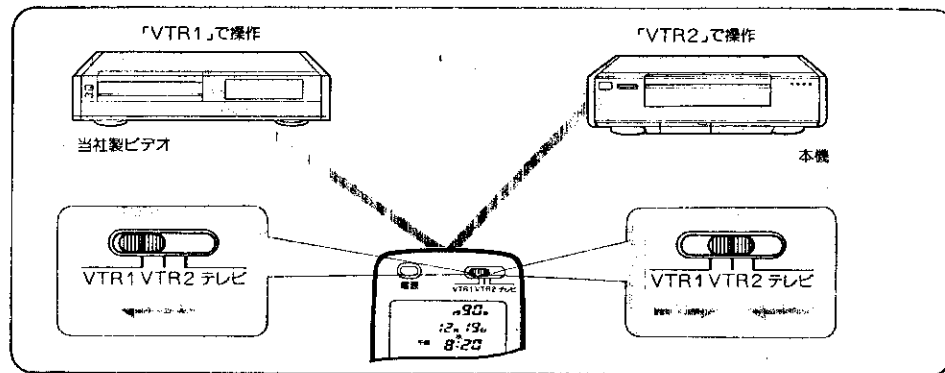
ご注意:

- テレビによっては、電源の「入」「切」はできるが、特定のボタンが操作できないものがあります。
- リモコンの電池を交換したときは、上の手順でテレビコードを合わせ直してください。

リモコンで2台のビデオを操作するには

付属のリモコンは本機以外の当社製ビデオの操作もできます。

- リモコン切換スイッチを「VTR2」に合わせると、2台のビデオを別々に操作することができます。(当社製ビデオは通常「VTR1」でリモコンを受信できるようになっております)



■本機のリモコンコードを「VTR2」に切換えるには（本体で操作します）

1 ビデオの電源を切る

2 オート設定ボタンを押す

- 表示窓に「VTR-1」が表示されます。

3 取消しボタンを押す

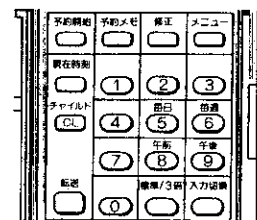
- 「VTR-2」に変わります。

- リモコンコードを「VTR1」に戻すには、④の操作のとき記憶ボタンを押します。
- 当社製ビデオVT-8800/VT-9700/VT-17以外のワイヤレスリモコン対応のビデオの操作ができます。ただし、リモコンでのタイマー予約のできない機種があります。

■チャイルドロック

一時的に本体での操作ができないようにします。お子様のイタズラ防止に便利です。

(リモコンでのみ操作できます)



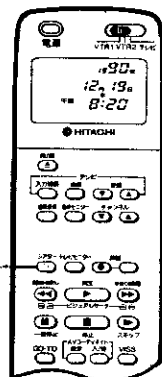
- リモコンが現在時刻を表示しているときに、**CL** と **6** を同時に押します
- これで本体での操作ができなくなります。本体の操作ボタンを押すとビデオの表示窓に「LOCK」が表示されてお知らせします。

- チャイルドロックの解除方法
リモコンの電源ボタンまたはカセットトレイ開閉ボタンを押すか、または **CL** と **6** を同時に押すとチャイルドロックは解除されます。再びロックするときは、もう一度 **CL** と **6** を同時に押します。

その他の便利な機能

再生時に便利な機能

シアターボタン

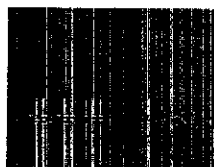


シアターボタン

ソフトテープ(特に映画など)を再生するときや、テレビ番組を見ているとき、「入」にすると低音を強調し迫力あるサウンドが楽しめます。



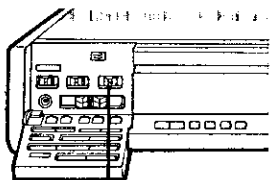
シアター



- ボタンを押すたびに「THEATER OFF」→「MUSIC」→「THEATER」が順番に表示されます。
- THEATER: ソフトテープ(特に映画など)を再生するとき、低音が強調され、迫力あるサウンドが楽しめます。
- MUSIC: テレビの音楽番組などを見るとき、効果的です。「THEATER」に比べて、低音の強調が少し小さくなります。
- THEATER OFF: シアターサウンドを選ばないとき、この「THEATER OFF」を選びます。
- 音声モニターボタンでノーマル音声を選んだときは、低音は強調されません。
- 音を大きくしたり、ソフトテープの音楽によっては音が歪むことがあります。このような時は「THEATER OFF」にしてください。

映像切替スイッチ

テープ再生時の画像を調節するスイッチです。お好みに合わせ、次のように調節します。



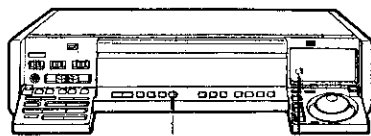
映像切替スイッチ



映像切替

- 本機を再生機にして、テープをダビングするとき、この位置にすると画像の劣化が少なくなります。
- 通常はこの位置にします。
- ザラついた感じの画面のとき、この位置にするとノイズが少なくなり見やすい画面になります。

DCNR (Digital Color Noise Reduction) ボタン



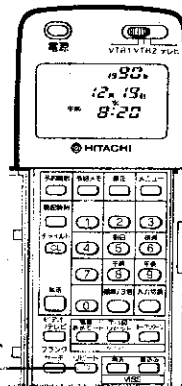
DCNRボタン

DCNRランプ

レンタルテープなど、くり返し何度も再生したテープはカラーノイズ(色がモヤモヤした感じ)が出ます。これを低減し見やすくするのが、このボタンです。

- 再生中にDCNRランプがついているときDCNR回路が働きます。通常はこの「ON」の状態が使えます。
- DCNRボタンを押すたびにDCNR「ON」、「OFF」を繰り返します。

リピート再生 (見たい部分をくり返し再生することができます。)

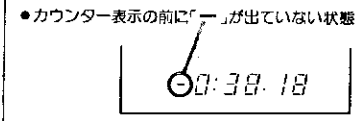


リピートボタン

再生中にリニアタイムカウンターがプラス側の状態で、リピートボタンを押す。



リピート



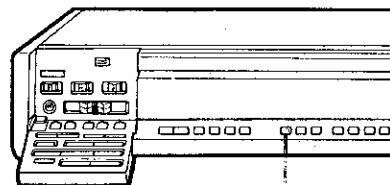
- カウンター表示の前に「-」が出ていない状態

- カウンターが「0:00:00」の位置までテープを巻戻した後、リピートボタンを押した位置まで再生します。停止や再生など、ほかのボタンを押さない限り、上の動作をくり返します。
- リピートボタンを押した所とカウンター「0:00:00」の間に約5秒間以上の無記録部分があると、リピート再生は「0:00:00」と無記録部分の間でくり返されます。

操作音について

ビデオの操作をすると、「ピツ」という音が出ます。この音が出ないようにすることもできます。

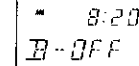
- 音を消したいとき………ビデオの電源が「切」のとき、録画モードボタンを押す。表示窓に「B-OFF」が出ます。



録画モードボタン

録画(SP/3倍(EP))

(ビデオの表示窓)



- 音を再び出したいとき………上と同じ操作をすると、今度は音が出ます。

ブランクサーチ

テープの無録画部分をさがすのに便利です。

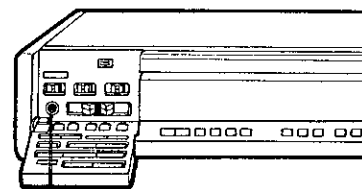
- 再生または停止しているときブランクサーチボタンを押す。



ブランクサーチ

- テープは無録画部分まで早送りされた後、無録画の始まる直前で自動的に静止画再生になります。この位置から録画を始めると便利です。

音声出力端子2とヘッドホン端子の音量について



ヘッドホン端子

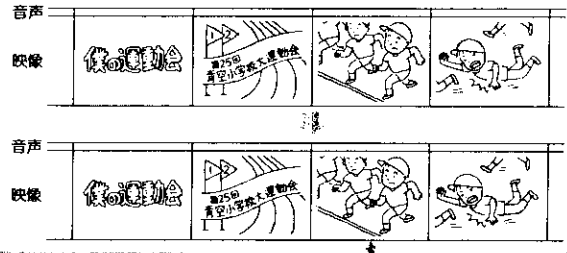
- どちらの端子も「AVコーティネイト」[48]で調節した音量で出力されます。

テープの編集

編集のしかたは次の方法があります。

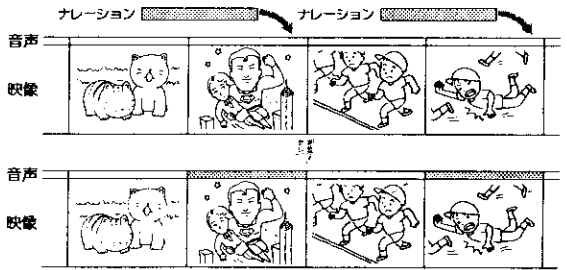
1 ダビング編集 (編集のしかたは 58 をご覧ください。)

- 録画済みのテープの映像、音声を別のテープに再録画(音)します。



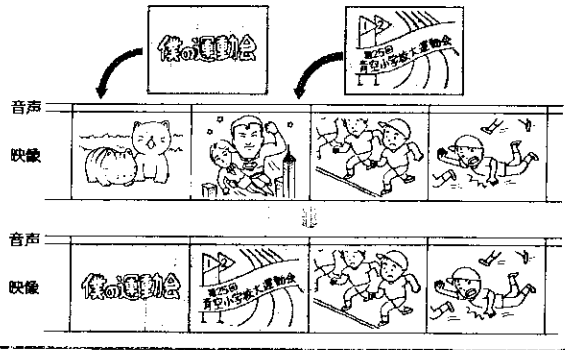
2 アフレコ編集 (編集のしかたは 59 をご覧ください。)

- 録画済みテープに音声のみをあとかから録音します。アフレコした部分の前の音声は消えます。(Hi-Fiサウンドは消えません。) そのまま残ります。



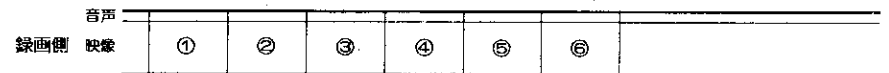
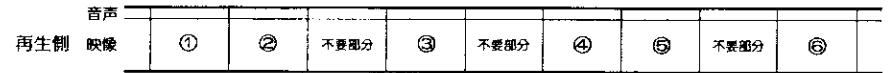
3 インサート編集 (編集のしかたは 60 をご覧ください。)

- ノーマルサウンドはそのまま、映像およびHi-Fiサウンドを入れかえます。



4 オートアッセンブル編集 (編集のしかたは 62 をご覧ください。)

- 録画済みテープを別のテープに編集するとき、あらかじめ必要な部分だけを指定しておくことにより自動的につなぎ合わせて編集することができます。
- 1回の操作で最大8つの必要部分を指定することができます。
- 再生側ビデオの操作で録画側ビデオの録画スタート/ストップを自動的にコントロールします。

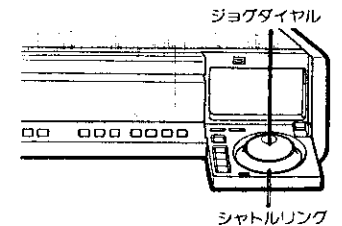


5 シンクロ編集 (編集のしかたは 66 をご覧ください。)

- この編集方法は4オートアッセンブル編集と違い、編集するテープの必要部分だけをあらかじめ指定できないことです。テープの再生画面を見ながら、必要な部分が現われたらそれを録画側で録画します。
- 再生側ビデオで録画側ビデオの録画スタート/ストップを自動的にコントロールできます。

6 クイックエディット

- 本機を録画機としてテープ編集するとき便利な機能です。
- 録画一時停止のとき、ジョグ/シャトルを使うといろいろな再生状態に入ります。つなぎ録画をしたい部分を1コマ単位で頭出しをした後、録画ボタンを押すと録画一時停止になりますので、その位置からつなぎ撮りができます。

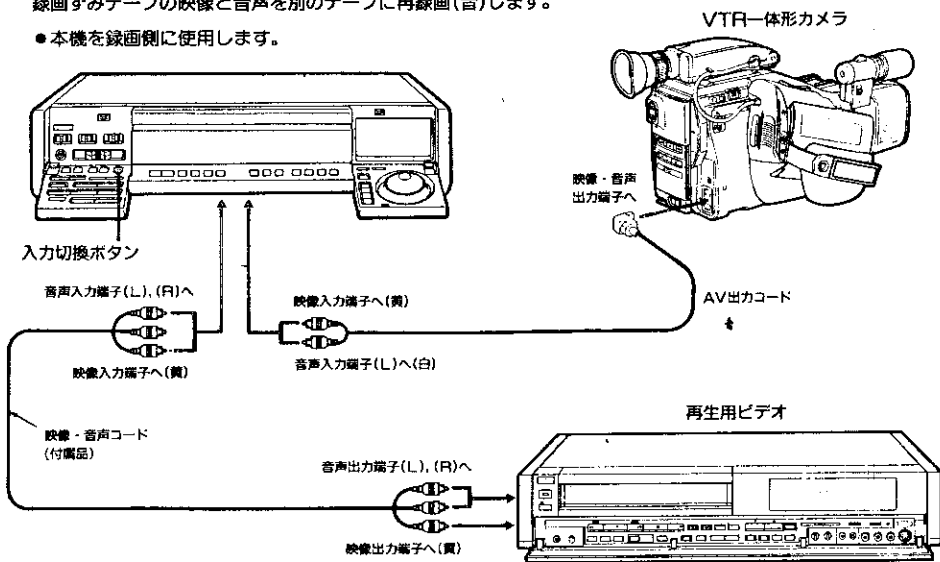


テープの編集(つづき)

テープのダビング (VTR一体形カメラまたは他のビデオからダビングするとき)

録画済みテープの映像と音声を別のテープに再録画(音)します。

- 本機を録画側に使用します。

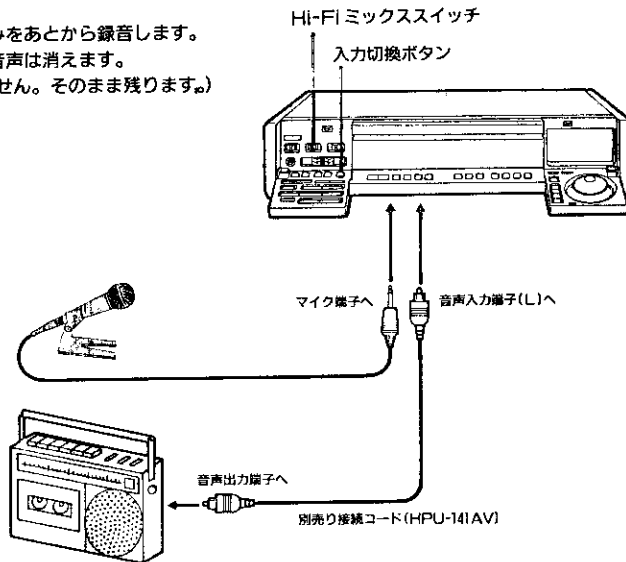


アフレコ編集 (本体で操作します。)

録画済みテープに音声のみをあとから録音します。アフレコした部分の前の音声は消えます。(Hi-Fiサウンドは消えません。そのまま残ります。)

準備

- アフレコしたい音を本機に接続する。
- 前面入力端子に接続したときは、入力切替ボタンで「L2」(外部入力2)を後面入力端子のときは「L1」(外部入力1)を選ぶ。
- リモコンの音声モニターボタンを押して「モノラル」を選ぶ。 [23]



準備

- VTR一体形カメラまたはもう1台のビデオを逆のように接続する。
- 本機の前面入力端子に接続したときは入力切替ボタンで「L2」(外部入力2)を、後面入力端子のときは「L1」(外部入力1)を選ぶ。
- 本機の録画モードは「SP」にしてください。「EP」で録画すると画質が劣化します。
- テレビを録画用ビデオに接続すると、編集のとき画質を確認できます。

1	VTR一体形カメラまたは再生用ビデオで再生を始める	2	録画側ビデオの録画ボタンを押す

1	録画済みテープを入れ、再生を始める	2	アフレコしたいところで一時停止ボタンを押す	3	アフレコボタンを押す	4	一時停止ボタンを押す
	●「つめ」の折れたテープにはアフレコできません。「穴」をセロハンテープで貼ってください。		●静止画再生になります。		●表示窓に「A-DUB」が現われ、アフレコスタンバイ状態になります。		●アフレコが始まります。●止めるときは停止ボタンを押す。

2台の当社製ビデオを使用する時

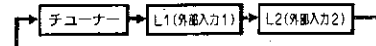
- 本機のリモコンで2台とも操作することができます。 [53]

本機を再生側に使うとき

- 映像切替スイッチを「エディット」にする。 [54]

入力切替について

- 入力切替ボタンを押すと、ボタンを押すたびに次の順序で入力が切替わります。



アフレコするとき

- アフレコの音はノーマルサウンドで記録されます。Hi-Fiサウンドは消されず、そのまま残ります。
- テープレコーダーとマイクを同時に接続すると、マイクからの音がアフレコされテープレコーダーからの音はアフレコされませんのでご注意ください。
- マイクからの音をアフレコするとき、テレビでモニターするとハウリング(ピーという音)をおこすことがあります。このときはテレビの音量を下けてください。
- リアタイムカウンター表示「0:00:00」で自動的に停止します。

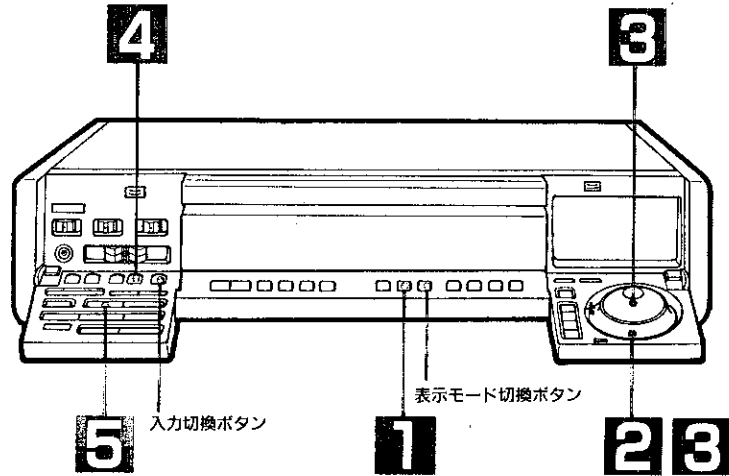
Hi-Fi MIXスイッチ

- アフレコのようにノーマルサウンド(アフレコ後の音)とHi-Fiサウンド(アフレコ前の音)で、全く違った音が記録されているとき、両方の音を同時に聞くことができます。このスイッチを「入」にした後、音声モニターボタンで「モノラル」以外を選ぶ([23]をご覧ください)とノーマルサウンドとHi-Fiサウンドの両方がミックスして聞こえます。
- 通常このスイッチは「切」にして、音声モニターボタンでHi-Fiサウンドとノーマルサウンドのいずれかを選びます。

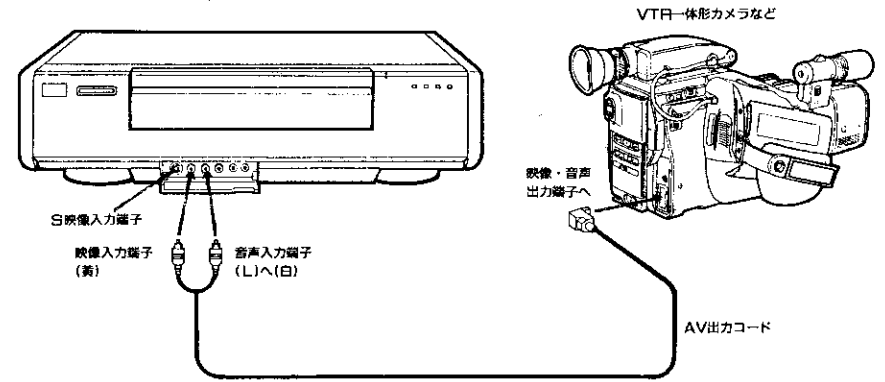
テープの編集(つづき)

インサート編集 (リモコンと本体の両方で操作します。)

録画済みテープのノーマルサウンドはそのまま、映像およびHi-Fiサウンドを入れかえます。



接続



- 本機の映像/音声入力端子と外部機器の映像/音声出力端子を図のように接続します。
- 外部機器にS映像出力端子が付いているときは、付属のSコードでS映像入力端子と外部機器のS映像出力端子を接続します。このとき本機の音声入力端子と外部機器の音声出力端子も忘れずに接続してください。

準備

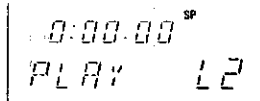
- インサートしたい映像ソースを接続する。
- 入力切替ボタンを押して、「L2」(外部入力2)を選ぶ。
- 録画済みテープを再生し、インサートしたいおよその位置をさがす。
- 表示窓がカウンター表示になっていることを確認する。カウンター表示になっていないときは、表示モード切替ボタンを押して、カウンター表示にする。
- リモコンの音声モニターボタンを押して「ステレオ」を選ぶ。

23

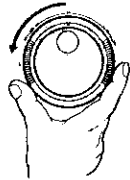
1 テープを再び再生しインサート終了位置でリセットボタンを押す



- 表示窓に「0:00.00」が表示されます。
- テープはそのまま再生を続けます。

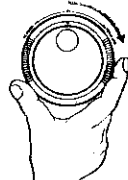


2 シャトルリングを回しテープを巻き戻す



- インサート開始位置より少し余計にテープを巻戻した後、シャトルリングを中央に戻します。
- 静止画再生になります。

3 ジョグ/シャトルを回し、インサート開始位置を正確に探す



- インサート開始位置を探した後、シャトルリングを中央に戻します。
- 静止画再生になります。

4 インサートボタンを押す



- インサート録画一時停止になり、録画はまだ始まりません。
- 表示窓に「V-DUB」の表示が現われます。

5 一時停止ボタンをもう一度押す



- インサート編集する画像の準備ができたら、ボタンを押す。
- インサート録画が始まります。
- カウンターが「0:00.00」の位置で自動的に止まります。

入力端子について

- 前面と後面に入力端子があります。
- 前面入力端子を使うときは「L2」(外部入力2)、後面入力端子を使うときは「L1」(外部入力1)を選びます。
- 前面と後面の音声入力端子はどちらも(L/モノ)です。プラグを片側に接続しないときは、(L)に接続してください。
- S映像入力端子は映像入力端子より優先します。そのため、映像入力端子から録画するときは、S映像入力端子には何も接続しないでください。

インサート編集をするとき

- Hi-Fiサウンドは新しくインサートされますが、ノーマルサウンドはそのまま残ります。
- 古いテープや他のビデオで録画したテープは、トラッキング調節ボタンでノイズが出ないようにしてください。
- 音声モニターボタンで「モノラル」を選ぶとテープに記録されているノーマルサウンドを聞くことができます。
- 記録されていない部分に、インサート編集をすると画面にノイズが出たり、乱れたりします。インサート編集する部分は記録されていることを確認してください。

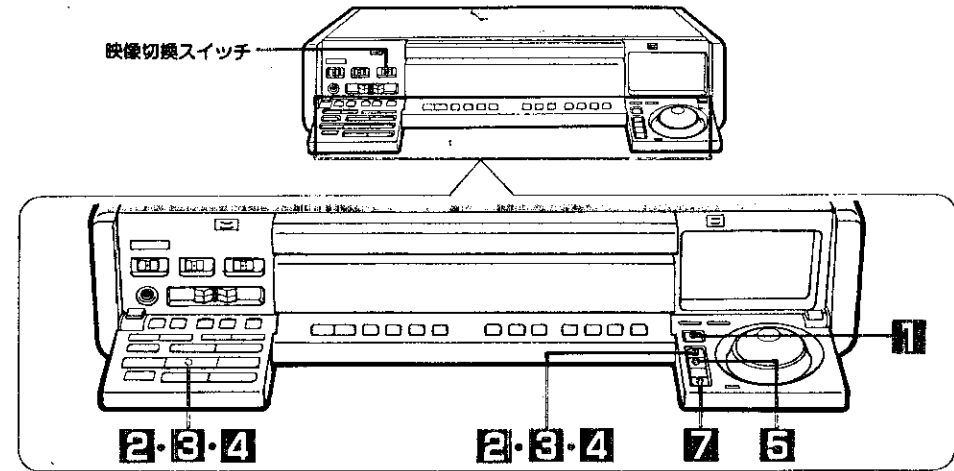
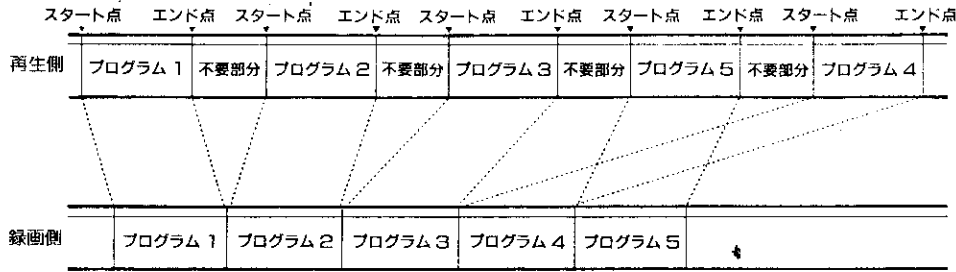
S映像出力端子付き機器と接続するときは

- この場合、本機のS映像入力端子と外部機器のS映像出力端子を付属のSコードで接続するとよりよい画質で録画できます。
- S映像入力端子が接続されていると、映像入力端子からは何も録画されません。使い終わったら、必ずSコードをはずしてください。

テープの編集(つづき)

オートアッセンブル編集

編集したい部分をプログラムしておくと、自動的に録画側ビデオを再生側ビデオがコントロールして編集をします。



再生側ビデオ(本機)の操作

録画側ビデオの操作

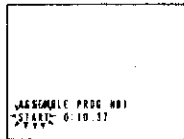
準備

- 再生用ビデオ(本機)と録画用ビデオおよびテレビを接続する [69]
- 再生用ビデオ(本機)は次の準備をする
 - 録画済みテープを入れる。
 - 映像切換スイッチを「エディット」にする。
 - テープを少し再生してトラッキングを調節する。 [25]
- 録画用ビデオは次の準備をする
 - 「つめ」の折れていないカセットを入れ、編集を始めたい位置の頭出しをした後、停止しておく。
 - 入力切換ボタンで「外部入力」(LINE)を選ぶ。
 - テープスピード、録音レベルなどを調節する。
 - テレビの電源を入れ、テレビの入力切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。

1 アッセンブルボタンを押す



- アッセンブル編集モードになります。このとき、録画側ビデオは自動的に一時停止状態になります。
- 表示窓に「ASSEM」が点灯します。
- テレビ画面に次の表示が出ます。

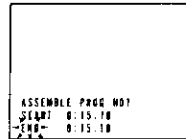


- 「START」が点滅し、プログラム1のスタート点の設定待ちの状態になります。

2 プログラム1のスタート点をさがす



- テープを再生し、プログラム1のスタート点をさがす。(ジョグ/シャトルを使うと正確なスタート点を探すことが簡単です。)
- スタート点の画面が現れたら、セットボタンを押す。

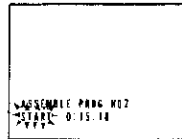


- これでスタート点を設定できました。「END」が点滅し、プログラム1のエンド点の設定待ちの状態になります。

3 プログラム1のエンド点をさがす



- 2と同じ操作をして、プログラム1の正確なエンド点をさがした後、セットボタンを押す。(停止ボタンを押した後、早送りや、巻戻しをすると、正確な編集ができません。)



- これでプログラム1のエンド点を設定できました。プログラム2の「START」が点滅し、プログラム2のスタート点の設定待ちとなります。

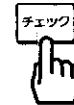
4 同様に、プログラム2~8のスタート点、エンド点を設定する



- 4、5と同じ操作をして、スタート点、エンド点をさがした後、セットボタンを押して設定する。

5 設定が全部終わったらチェックボタンを押して内容を確認する

- テープ走行は続いていますが、停止ボタンは押さないでください。停止すると、正確な編集ができません。



- 設定内容が表示されます。内容が正しいかどうかチェックします。

	START	END
1	0:19:10	0:27:42
2	0:30:00	0:31:27
3	0:52:00	1:16:20
4	1:33:52	2:35:40
5	1:02:10	1:52:54
6	4:02:54	4:53:10
7		
8		

- 内容の一部を修正したいときは [65] をご覧ください。
- 内容が正しければ、6の操作をします。
- プログラム8まで設定されると自動的にプログラム内容が表示されます。

6 録画側ビデオの編集を始めたい位置で録画ボタンを押す



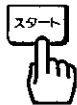
- 録画ボタンを押すと、自動的に録画一時停止になります。
- 録画側ビデオの録画準備が全部すんでいるか、もう一度確認します。

テープの編集(つづき)

オートアッセンブル編集時のご注意

- 編集を始めると、再生側ビデオは最初のプログラムのスタート点より少し前の位置から再生を始めます。この為、スタート点より前の約30秒間分には必ず何かを録画しておいてください。(何も番号を入れなくても録画ボタンを押すだけで録画したことになります。)
- 編集を始めると、テレビ画面に「PROG NO SET ERROR」が表示されることがあります。このときは表示されたプログラム以降は実行されません。アッセンブルボタンを押して編集モードを解除した後、もう一度プログラムを設定し直した後、編集してください。
- 各々のプログラムのスタート点およびスタート点前約30秒の間に無記録部分や、記録モードの切り換えがあると、編集が正常に動作しないことがあります。
- プログラムとプログラムの間隔が20分以上離れていたり、1つのプログラムが15秒以下のときは、正確な編集ができません。
- 録画側ビデオを録画一時停止状態で約5分以上続けると自動的に停止するモデルがあります。その為、録画一時停止が5分以上続かないようご注意ください。
- 録画済みテープを再び録画用として使うときは、録画を始める部分に約10秒間新しく録画するテープスピードで何かを録画した後、巻戻して頭出しをしてください。

7 スタートボタンを押す

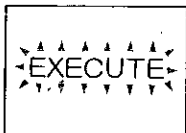


●編集が始まります。再生側(本機)と録画側ビデオはそれぞれ自動的に次の動作をします。

再生側ビデオ	録画側ビデオ
①プログラム1のスタート点より少し前の位置まで巻戻された後、スタート点の約15秒前から再生を始める。	①スタート点の約1.5~3秒前で、一時停止が解除され、録画を始める。
②エンド点になると次の編集スタート点までテープを送る。	②エンド点で録画一時停止する。
③スタート点約15秒前から再生を始める。	③スタート点の約1.5~3秒前で一時停止が解除され、録画を始める。

- 設定した編集部分の最後まで上の動作をくり返した後、録画側ビデオは録画一時停止します。(再生側ビデオは再生を続けます。)
- 録画側ビデオと再生側ビデオの停止ボタンを押した後、アッセンブルボタンを押して、編集モードを解除します。
- 電源を切ると設定した内容は消えます。

オートアッセンブル編集中の表示



- プログラム点の前約15秒から再生側ビデオは再生を始めます。このときスタート点前約2秒まで「EXECUTE」が点滅し、その後消えます。

プログラムを合わせている途中で間違えたとき

スタート点、エンド点を設定しているとき、間違えた場合は次の操作で修正します。

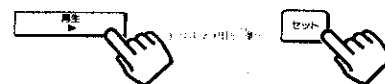
1. バックボタンを押す



- ボタンを押すたびに、1つずつ前の手順に戻ります。修正したい部分が点滅するまで戻します。

2. プログラムの内容を修正する

- 例えば、エンド点を修正する場合



- 62ページ目の操作でエンド点を設定し直します。
- 修正した内容以降についても、もう一度設定し直します。

プログラムの設定が終わった後、内容の一部を変更するには

63ページ目の操作で設定内容を確認した結果、その内容の一部を変更するときは次の操作をします。(例：プログラム№4のエンド点を修正するとき)

1. チェックボタンを押す



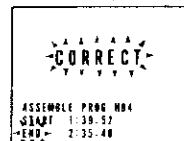
- ボタンを1回ずつ押して、変更したいプログラムNOを点滅させる。

	START	END
1	0:15:10	0:32:42
2	0:38:00	0:51:27
3	0:52:00	1:16:28
4	1:38:52	2:35:40
5	3:02:18	3:52:54
6	4:02:54	4:53:19

2. バックボタンを押す



- ボタンを1回ずつ押して、変更したい部分を点滅させる。



3. プログラムを修正する

- 上記の2と同じ要領で修正します。

	START	END
1	0:15:10	0:32:42
2	0:38:00	0:51:27
3	0:52:00	1:16:28
4	1:38:52	2:35:40
5	3:02:18	3:52:54
6	4:02:54	4:53:19

- 修正が終わったら63ページ目の操作をします。

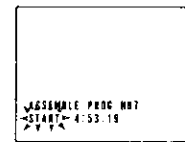
プログラム内容をチェックした後、プログラムを追加するには

プログラムの設定内容をチェックした後、続けてプログラムを設定するには次の操作をします。

1. セットボタンを押す



- プログラム設定モードになります。(自動的に未設定プログラムを選択します。)



2. プログラムを設定する

- 63ページ目~64ページの操作をします。

プログラムの設定が終わった後、内容の一部を取り消すには

プログラムの設定内容をチェックした後、その内容の一部を取り消すときは次の操作をします。

1. チェックボタンを押す



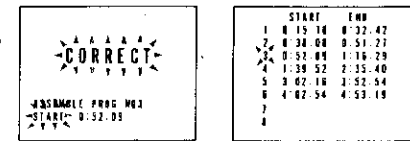
- ボタンを1回ずつ押して、取り消したいプログラムNO(例えば3)を点滅させる。

	START	END
1	0:15:10	0:32:42
2	0:38:00	0:51:27
3	0:52:00	1:16:28
4	1:38:52	2:35:40
5	3:02:18	3:52:54
6	4:02:54	4:53:19

2. バックボタンを押す



- 「START」の文字が点滅するまで、ボタンを1回ずつ押した後、ボタンをもう一度押す。

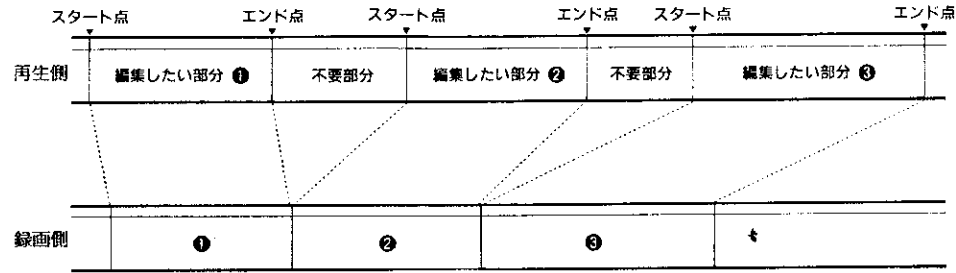


これでプログラムNO3は取り消されました。63ページ目、64ページの操作をします。

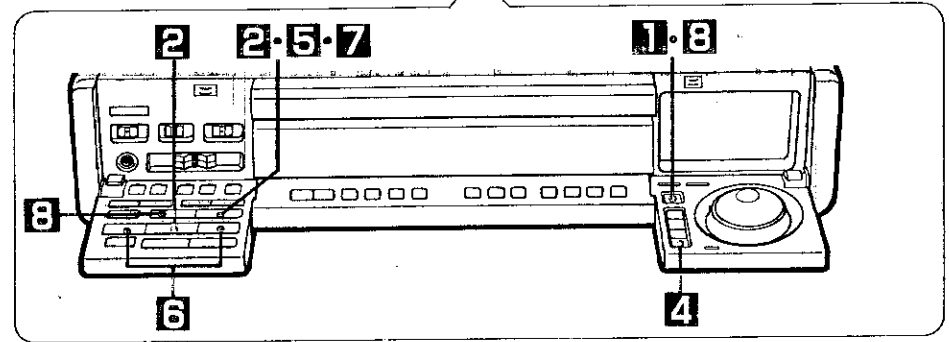
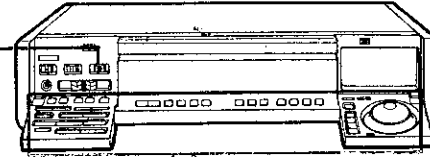
テープの編集(つづき)

シンクロ編集

再生側(本機)の操作で、録画側ビデオの録画スタート/ストップをコントロールできます。簡単な操作で必要部分の編集ができます。



映像切換スイッチ



再生側ビデオ(本機)の操作

録画側ビデオの操作

再生側ビデオ(本機)の操作

準備

- 再生用ビデオ(本機)と録画用ビデオおよびテレビを接続する。[69]
- 再生用ビデオ(本機)は次の準備をする。
 - 録画済みテープを入れる。
 - 映像切換スイッチを「エディット」にする。[54]
 - テープを少し再生してトラッキングを調節する。[25]
- 録画用ビデオは次の準備をする。
 - 「つめ」の折れていないカセットを入れ、編集を始めた位置の頭出しをした後、停止しておく。
 - 入力切換ボタンで「外部入力」、「LINE」を選ぶ。
 - テープスピード、録音レベルなどを調節する。
 - テレビの電源を入れ、テレビの入力切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。

1

アッセンブルボタンを2回押す

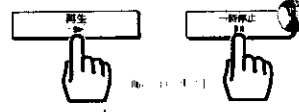


- シンクロエディットモードになります。このとき、録画側ビデオは自動的に一時停止状態になります。
- ビデオの表示窓に「SYNC」が現われます。



2

再生側ビデオの編集を始めた位置の頭出しをした後、静止画再生にする



- ジョグ/シャトルを使うと頭出しが簡単にできます。

3

録画側ビデオの編集を始めた位置で録画ボタンを押す



- 録画ボタンを押すと、自動的に録画一時停止になります。
- 録画側ビデオの録画準備が全部すすんでいるかももう一度確認します。

4

スタートボタンを押す



- テープは次の動作をします。
- 再生側ビデオはテープを少し巻戻した後、再生を始めます。
 - 録画側ビデオは少し遅れて自動的に一時停止を解除して録画を始めます。

5

編集の終了点で再生側ビデオを一時停止する



- 再生側ビデオが一時停止(静止画再生)になると同時に録画側ビデオも自動的に録画一時停止します。

テープの編集(つづき)

便利な使いかた

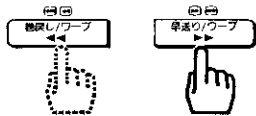
シンクロ編集(つづき)

シンクロ編集時のご注意

- 編集を始めるとき、再生側ビデオはテープを少し巻き戻してから再生を始めます。この為、巻き戻す分として約30秒間分には必ず何かを録画しておいてください。
(何も番号を入らなくても、録画ボタンを押すだけで録画したことになります。)
- 再生側テープの巻き始めの部分から編集をスタートさせると映像/音声がかかりますので、約30秒間分記録した位置からスタートさせてください。
- 録画側ビデオを録画一時停止状態で約5分以上続けると自動的に停止するモデルがあります。その為、録画一時停止が5分以上続かないようご注意ください。
- 録画済みテープを再び録画用として使うときは、録画を始める部分に約10秒間新しく録画するテープスピードで何かを録画した後、巻戻して頭出しをしてください。

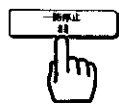
再生側ビデオ(本機)の操作

6 次の編集開始点まで再生側ビデオのテープを早送りまたは高速サーチで送る



- 早送りまたは巻戻しで送るときは、停止ボタンを押した後、テープを早送り(巻戻し)します。
- 高速サーチで送るときは、早送りまたは巻戻しボタンを押します。
- ジョグ/シャトルを使うと編集開始点をさがすのに便利です。

7 編集を再び始めたい位置の頭出しができる。静止画再生にする。



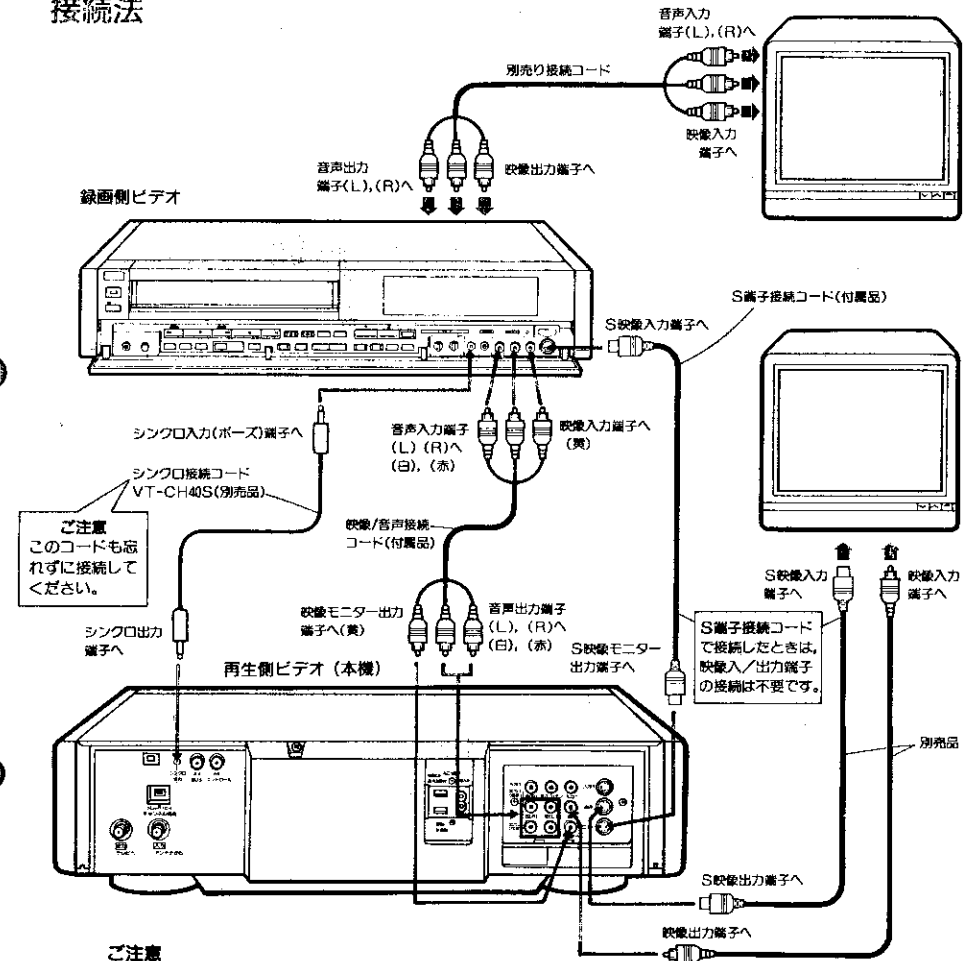
- [5]~[7]の操作をくり返すことにより、必要部分の編集ができます。

8 編集が終わったら、再生側、録画側ビデオの停止ボタンを押した後、アッセンブルボタンを押す



- 編集モードが解除されます。
- 録画側ビデオも忘れずに停止ボタンを押してください。

接続法



ご注意
このコードも忘れずに接続してください。

ご注意

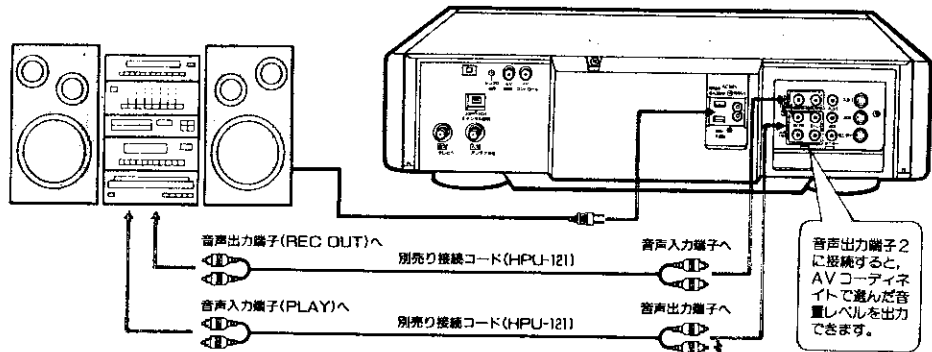
- 接続するときは、各機器の電源を切ってから行います。
- テレビが1台のときは、録画側ビデオに接続します。
- S映像モニター出力端子と映像モニター出力端子からは編集時にモード表示が記録されるのを防ぐためにビデオの操作をしてもモード表示やAVコネクト表示などの画面表示が出ないようにしております。
- モード表示を記録したくないが、これを見ながら編集したいときは、図のように再生側ビデオにも図のようにテレビを接続します。
- 録画側に当社製ビデオを使用した場合、次のように本機のリモコンコードを切換えることより精度のよい編集ができます。リモコンコードの切換えは [53] をご覧ください。

録画側ビデオの形式	本機のリモコンコード
VT-F410/F412/F413/F420/F425/F429/F510/S625 S820/FX1/F430/S730/S630/F540/F440/F400/S640	●リモコンコードを「VTR1」に設定。
上記以外の当社製シンクロ入力(ポーズ)端子付きビデオ	●リモコンコードを「VTR2」に設定。

シンクロ編集(つづき)

テレビ以外の機器との接続使用

オーディオ録音するには



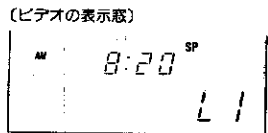
準備

- オーディオ機器と本機を図のように接続する。
- 前面の入力端子に接続するときは「L2」(外部入力2)を選ぶ。
- オーディオ機器の音出しをする。

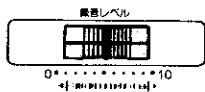
ご注意

本機の補助電源コンセントは最大200Wです。200W以上の機器は接続しないでください。

1 入力切替ボタンを押して「L1」(外部入力1)を選ぶ



2 録音レベルを調節する



- 手ごたえのある中央(目盛「5」)にしておけば、ほぼ適正レベルで録音することができます。
- ご自分で録音レベルを調節するときは、下欄をご覧ください。

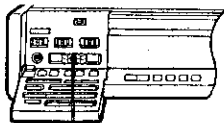
3 録画ボタンを押す



- 録音が始まります。Hi-Fiサウンドとノーマルサウンドの両方で録音されます。
- 再生するときは、音声モニターボタンでHi-Fiサウンドとノーマルサウンドを選ぶことができます。

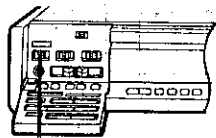
録音レベルの調節

- 録音レベルつまみで、レベルメーターの0dBのランプが時々つくように調節します。



録音レベルつまみ

ACアウト切替スイッチ



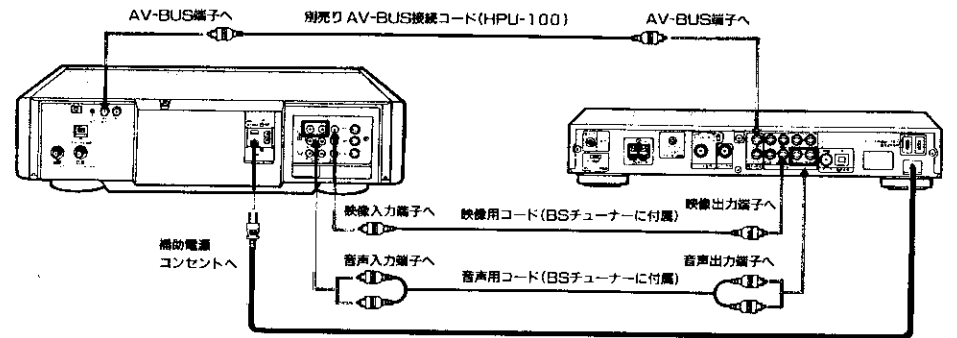
ACアウト切替スイッチ

- 補助電源コンセントを接続したとき、このスイッチを「連動」にすると本機の電源の「入/切」に合わせて外部機器の電源も自動的に「入/切」できます。

衛星放送を録画するには

当社製AV-BUS端子付BSチューナー(BS-T6200など)を接続すると、BSチューナーの主な操作を本機でできますのでBS放送の録画するのに便利です。BS放送のタイマー録画もできます。

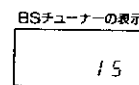
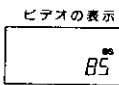
- 図のように本機の後面端子に接続してください。また本機の電源コードはコンセントから抜いてから接続してください。
- BSチューナーの電源コードを本機の補助電源コンセントに接続するときは、本機のACアウト切替スイッチを「非連動」にしてください。



例：衛星放送15チャンネルを録画するとき

1 ビデオのリモコンの(0)~(9)のボタンを押して、BS放送を選ぶ

- この例の場合、(8)、(5)と押す。



- ビデオのチャンネル表示とBSチャンネル表示は次のようになっております。

ビデオのチャンネル表示	BSチャンネル	ビデオのチャンネル表示	BSチャンネル
71	BS1	79	BS9
73	BS3	81	BS11
75	BS5	83	BS13
77	BS7	85	BS15

- ビデオのチャンネル選局ボタンでもBS放送を選ぶことができます。

2 録画ボタンを押す



- 録音が始まります。
- 録音中はBSチューナーのボタン操作はできません。
- 二音声を放送のときは、主音声を左チャンネルに副音声を右チャンネルに録音します。

AV-BUS端子の付いているBSチューナーと接続してBS放送を録画するとき

- ビデオの電源を入れ、BS放送を選ぶとBSチューナーの電源も入ります。
- ビデオの電源を切ると、BSチューナーの電源も切れます。
- ビデオのチャンネルを切替えて、BS放送以外を選ぶとBSチューナーの電源が切れます。
- ビデオのリモコンの音声モニターボタンを押すと、BS放送の音声を切替えることができます。

AV-BUS端子の付いていないBSチューナーと接続してBS放送を録画するとき

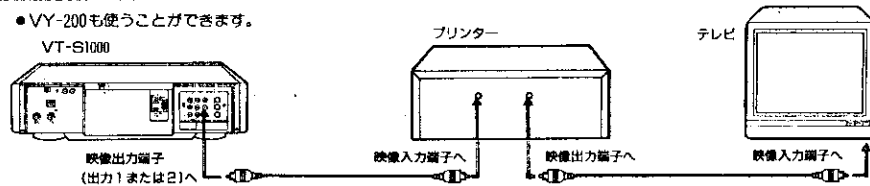
- この場合、ビデオの操作でBSチューナーの操作をすることはできません。BSチューナー側でBS放送を選んだ後、ビデオの入力切替ボタンで「L1」(外部入力1)を選び、録音してください。
- BSチューナーの電源コードを本機の補助電源コンセントに接続するときは、本機のACアウト切替スイッチを「連動」にしてください。

ビデオプリンターを使うには

別売りのビデオプリンターと接続すると、お好みの画面をプリントできます。接続するときは、各機器の電源を切ってください。詳しくはご使用になるビデオプリンターの取扱説明書をご覧ください。

AV-BUS端子付きのビデオプリンター(VY-PIなど)と組合わせて使うとき

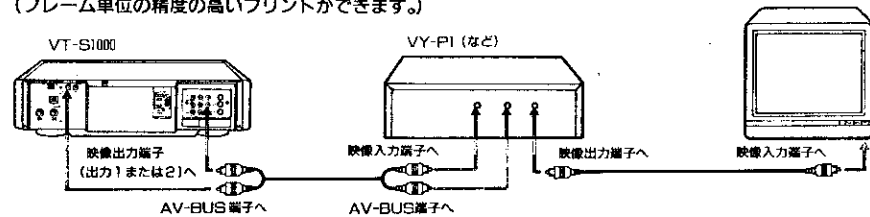
- VY-200も使うことができます。



- 1 ビデオ、プリンター、テレビを図のように接続する。
- 2 テープを再生し、プリントしたい画面が現われたらプリンターのメモリーボタンを押す。
- 3 プリンターのプリントボタンを押す。
● これで希望の画面がプリントできます。

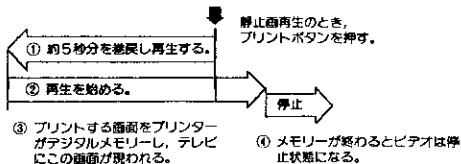
AV-BUS端子付きのビデオプリンター(VY-PIなど)と組合わせて使うとき

(フレーム単位の精度の高いプリントができます。)



- 1 ビデオ、プリンター、テレビを図のように接続する。
- 2 ビデオとテレビの電源を入れ、テレビの入力切換で「ビデオ」を選ぶ。
● プリンターの電源は、入れても、入れなくてもどちらでもかまいません。
- 3 テープを再生した後、ビデオのジョグ/シャトルを使い、プリントしたい画面をテレビで確認し、静止画再生にする。
- 4 ビデオのリモコンのプリントボタンを押す。
● プリンターの電源が「切」のときは、自動的にプリンターの電源が入った後、プリンターとビデオは次の動作をします。
● ビデオの表示窓に「PRINT」が現われた後、点滅に変わります。
● デジタルメモリーされた画面が、希望の画面でないときは、もう一度 ④ の操作をします。
- 5 もう一度、リモコンのプリントボタンを押す。
● これで希望の画面がプリントできます。
● 2枚以上プリントするときは、前のプリントが終わった後、プリントボタンを押す。
- 6 続けて、別の画面をプリントするときは、上の ③～④ の操作をする。
- 7 終わったら、それぞれ電源を切る。

- プリントできるのは、ビデオの再生画面(静止画面)です。ビデオのチャンネルボタンで選んだテレビ番組の画面をプリントすることはできません。
- プリント中にビデオを再生や早送りなどできますが、テレビ画面はプリント中の画面のままです。
- AV-BUS(プリンター)端子の接続が不完全なときは、表示窓に「PRINT」と「ERROR」が交互に点滅します。
- 手順 ④ でプリントボタンを押すと、テープは約5秒分巻戻し再生した後、再生を始めます。この際、巻戻される分として少し多め(約20秒間分)には必ず何か録画しておいてください。



自分でビデオを設置するには

この章は、ご自分でビデオを設置されるときにお読みください。初めてビデオをお使いになるかたには、少し難しく感じられることがありますのでそのときは、販売店にご相談ください。

アンテナ線の接続 74

(テレビ番組を録画するために必要です。)

映像・音声コード、Sコード、電源コードの接続 77

ビデオ専用チャンネルの設定 78

● AVコントロール端子とAV-BUS端子について 79

(当社の対応テレビと組み合わせるときご覧ください。)

受信チャンネルの合わせかた

● 受信チャンネルを合わせるには 80

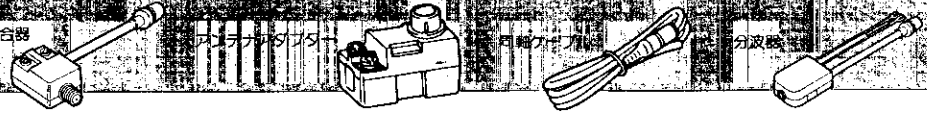
(放送されているチャンネルだけを自動的に設定します。)

こんなときは

- 放送のないチャンネルを飛びこすには 81
- 微調節のしかた 82
- チャンネル表示の数字をテレビ番組の数字に合わせるには 82
- CATV(ケーブルテレビ)をご使用のとき 84

アンテナ線の接続

ここで使用する
付属品



自分でビデオを設置するには

1 テレビからアンテナ線を取りはずす

2 取りはずしたアンテナ線をビデオに接続する

3 付属の同軸ケーブルでビデオとテレビを接続する

アンテナ線の種類について

お手持ちのテレビやお住いの地域によってアンテナ線の種類やテレビとの接続方法は次のように違います。どのような場合もまずアンテナ線はすべてテレビから取りはずします。

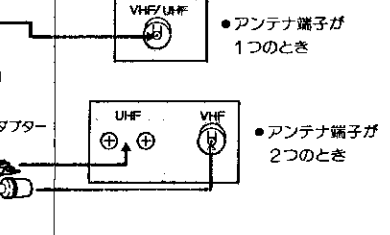
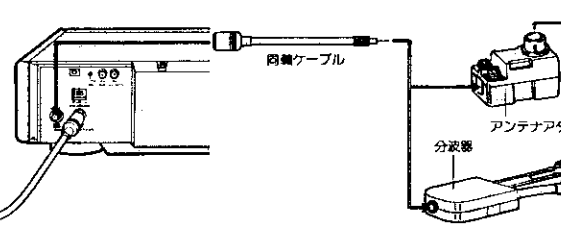
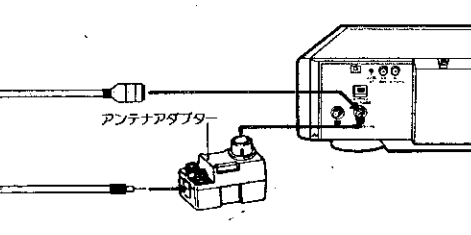
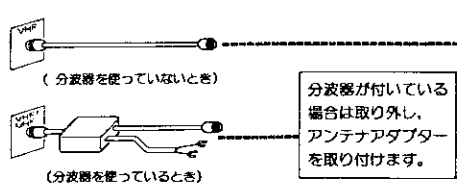
■アンテナ線の種類により、付属のアンテナアダプターや混合器が必要です。

■テレビのアンテナ端子の種類により付属のアンテナアダプターや分波器が必要です。

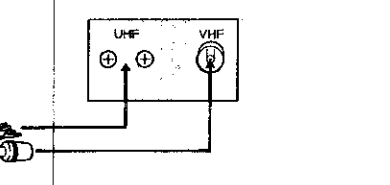
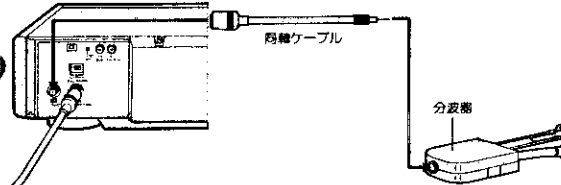
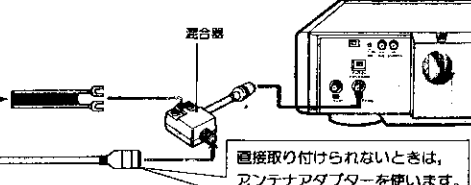
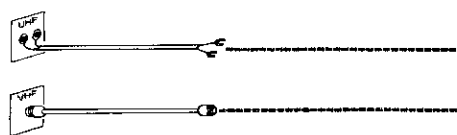
●同軸ケーブルをアンテナアダプターまたは、分波器に取り付けるには加工が必要です。詳しくは [76]

■テレビのVHFアンテナ端子の種類により、分波器の先端の加工が必要です。(詳しくは [76])

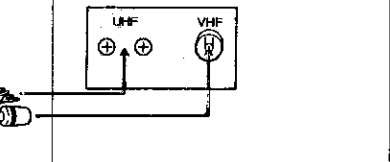
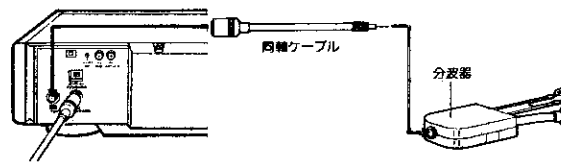
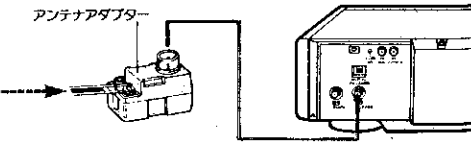
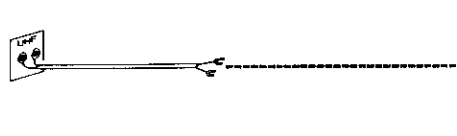
●UHFとVHFアンテナ線が混合されている場合



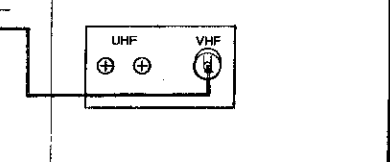
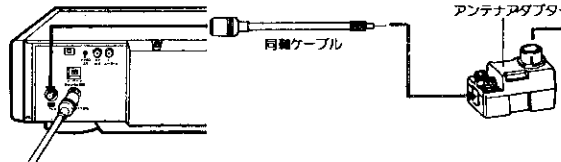
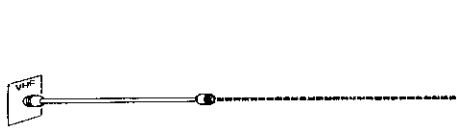
●UHFとVHFアンテナ線の両方が接続されている場合



●UHFアンテナ線だけの場合



●VHFアンテナ線だけの場合



アンテナ線の接続(つづき)

アンテナアダプターにフィーダー線を取り付けるには

- 1 先端を加工する
約10mm
金具がついている場合は加工する必要はありません。
- 2 ねじをゆるめ、リード線をねじに巻きつけしっかりしめる。

アンテナアダプターに同軸ケーブルを取り付けるには

- 1 先端を加工する
約10mm 4 8
金属の網線(折り返す) 白いビニール 芯線
- 2 指でつめを押しながら「ふた」をはずす
- 3 内部の赤い線を切断し、取り除く
ここを切断する
- 4 同軸ケーブルを差し込みしっかり取り付ける
ペンチでしめる 芯線をはさみこみ、他に接触しないように巻きつける
- 5 「ふた」をする

電波の弱い地域では

ブースター(別売品)を使用するとノイズが少なくなります。[90]

分波器に同軸ケーブルを取り付けるには

- 1 指でつめを押し上げながら「ふた」をはずす
- 2 同軸ケーブルを差し込みしっかりと取り付ける
●芯線をはさみ込んだ後、網線の部分をペンチでしめます。
- 3 ふたをする。

テレビのVHFアンテナ端子に分波器が直接取り付けられないとき

●VHFアンテナ端子が下図のときは、分波器の先端を加工します。

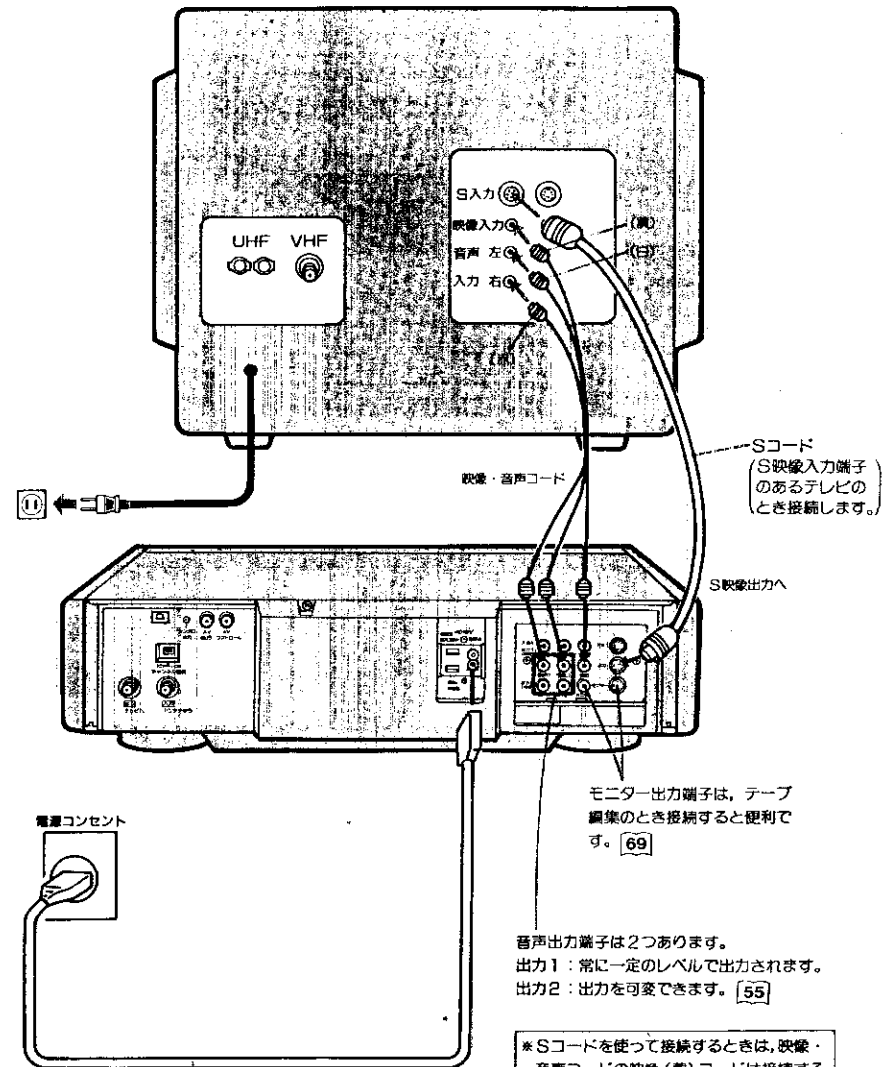
分波器の先端を加工します。

- ① 先端のプラグを切断する。
- ② 黒いビニール線にすじを入れ、切り取る。
- ③ 金属の網線を折り返す。
- ④ 白いビニール線に切り込みを入れ、切り取る。

映像・音声コード、Sコード、電源コードの接続

ここで使用する付属品
映像・音声コード Sコード 電源コード

前ページのアンテナ線を接続した後、下記接続をすると、よりよい画質・音質でお楽しみいただけます。
●接続するときは、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。



電源コードはビデオに接続したあと、コンセントに接続します。

*Sコードを使って接続するときは、映像・音声コードの映像(黄)コードは接続する必要はありません。

音声出力端子は2つあります。
出力1：常に一定のレベルで出力されます。
出力2：出力を可変できます。[55]

モニター出力端子は、テープ編集のとき接続すると便利です。[69]

「自分でビデオを設置するには」

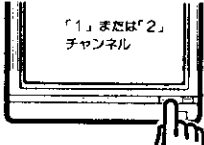
アンテナ線の接続(つづき) 電源コードの接続

ビデオ専用チャンネルの設定

テレビに映像・音声入力端子が付いていないと、前ページの接続はできません。
この場合は、ビデオ専用チャンネルの設定を行い、ビデオを見るときは、テレビをこのビデオ専用チャンネルに合わせます。

正しく設定できたか確認するには

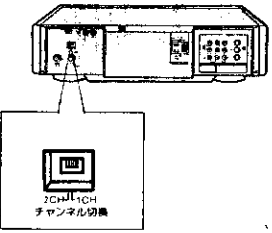
1 テレビの電源を入れ、放送のないチャンネル(1または2)を選ぶ



「1」または「2」チャンネル

- ビデオで選んだ番組を見たり、ビデオテープを再生するときは、テレビのチャンネルをいつも、このチャンネルに合わせます。(ビデオ専用チャンネル)

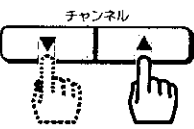
2 ビデオのチャンネル切替スイッチをテレビで選んだチャンネルに合わせる



2CHANNELチャンネル切替

- これでビデオで選んだ番組がテレビに出ます。

3 ビデオのチャンネルボタンでチャンネルを切替える



チャンネル

- 選んだ番組がテレビに映ります。
- 画像がきれいに映らないときは、[74] [75]の接続をもう一度確認してください。それでもきれいに映らないときは、下欄をご覧ください。

- 接続が正しいのにきれいに映らないとき……
テレビの1または2チャンネルの調整がずれています。ビデオのチャンネルボタンで選んだ番組がきれいに映るようにテレビを調節します。(録画してあるテープがある場合は、テープを再生しながらテレビがきれいに映るように調節します。)
- テレビの調節方法は、テレビの取扱説明書をご覧ください。

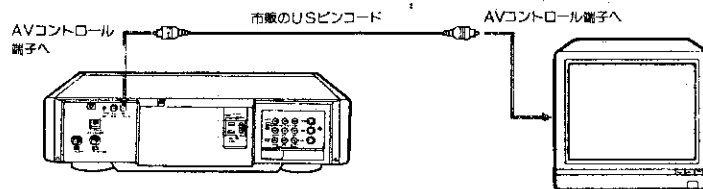
音声多重放送をお楽しみになるには

- 映像・音声コードでテレビと接続できないときは音声多重対応テレビまたはステレオアンプと接続してください。
- ビデオで選んだ放送や、テープ再生時にアンテナ出力端子から出力される音声はモノラル(音声モニターボタンで選んだ音声になります。)

AVコントロール端子とAV-BUS端子について

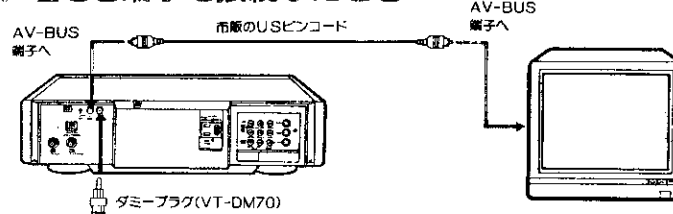
接続するテレビが当社製で、AVコントロール端子または、AV-BUS端子がついているときは、次の接続をすると、ビデオの操作でテレビをコントロールできます。

AVコントロール端子と接続したとき



- ビデオの操作で、テレビの入力切替を次のように操作できます。
 - ビデオの電源を入れると(お好みセレクトでPOWER ON (VTR)を選んでるとき[41])
 - 再生を始めると
 - ビデオ/テレビ切替ボタンで「ビデオ」を選ぶと
- テレビの入力切替は自動的に「ビデオ」になります。
- ビデオの電源を切ると
 - ビデオ/テレビ切替ボタンで「テレビ」を選ぶと
- テレビの入力切替は自動的に「テレビ」になります。

AV-BUS端子を接続したとき



- ビデオの操作で、テレビの電源の「入/切」および入力切替を次のように操作できます。
 - ビデオの電源を入れると(お好みセレクトでPOWER ON (VTR)を選んでるとき[41])
 - 再生を始めると
 - ビデオ/テレビ切替ボタンで「ビデオ」を選ぶと
- テレビの電源が自動的に入り、入力切替が「ビデオ」になります。
- ビデオの電源を切ると
 - ビデオ/テレビ切替ボタンで「テレビ」を選ぶと
 - ビデオのオフタイマーを合わせると
- テレビの入力切替は自動的に「テレビ」になります。ただし、電源は切れません。
- テレビも合わせた時刻になると自動的に電源が切れます。

ご注意 /

- 本機のAV-BUS端子を接続して使うときは、テレビの電源を「入」または「スタンバイ」でご使用ください。
- テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- AVコントロールまたはAV-BUS端子を接続したときは、テレビをビデオ専用チャンネル(1または2)にしてビデオの再生などを見ることはできません。テレビの入力切替を「ビデオ」にしてください。
- 録画するときは、テレビに映っている画像がビデオで選んだ番組かどうか、確認してから録画してください。
- 本機のAV-BUS端子を接続したときは、テレビの映りが悪くなる場合があります。このときは、別売りダミープラグ(VT-DM70)をAVコントロール端子に差込んでください。

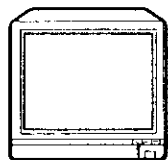
受信チャンネルの合わせかた

受信チャンネルを合わせるには

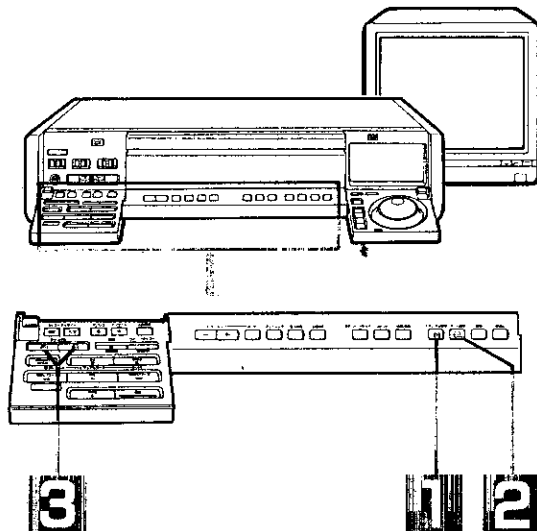
お住いの地域により、受信できるチャンネルは違います。(例えば東京と大阪、あるいは北海道と九州では受信できるチャンネルが違います。)そのため、お住いの地域に合わせた受信チャンネルの合わせが必要です。最初に76~78ページの要領でアンテナ線とテレビをビデオに接続した後、次の操作をします。

準備

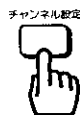
1. ビデオの電源を入れる。
2. テレビの電源を入れ、テレビの入力切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。
●映像・音声コードを接続していないときは、ビデオ専用チャンネル(1または2チャンネル)にする。



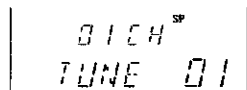
入力切換ボタン



1 チャンネル設定ボタンを押す



(ビデオの表示窓)

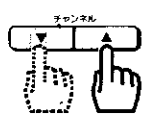


2 オート設定ボタンを押す



- 受信しているチャンネルを自動的に記憶していきます。(設定には約1分かかります)
- 記憶が終わると、一番数字の小さいチャンネルがビデオの表示窓に現れます。

3 チャンネルボタンを押して確認する

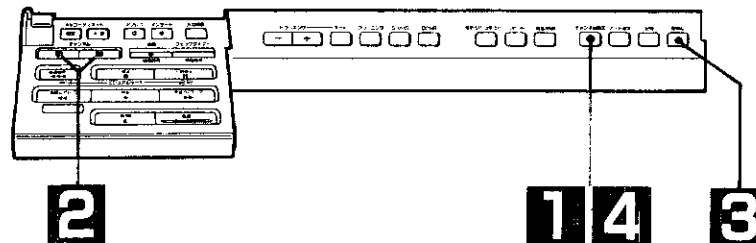
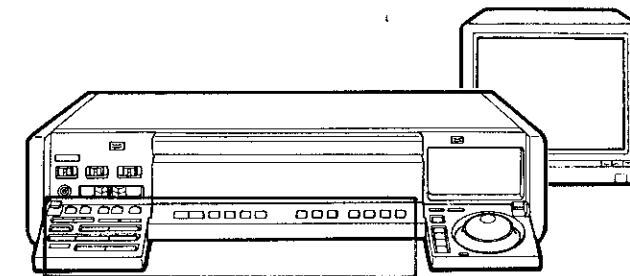


- 選んだチャンネルの画面がテレビに映ります。
- 画像がきれいに映らないときは、[76]~[78]の接続をもう一度確認してください。

- 電波状態によっては放送のないチャンネルも設定されることがあります。このときはチャンネルを飛びこしてください。[81]
- チャンネルの数字がテレビ番組表の数字と合わないときは、[82]をご覧ください。
- 工場出荷時はVHF放送の1~12チャンネルが受信できるように調整してあります。

放送のないチャンネルを飛びこすには

チャンネル設定をすると、電波状態によっては放送のないチャンネルも設定されることがあります。これらのチャンネルを飛びこしたいときは、次の操作をします。



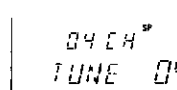
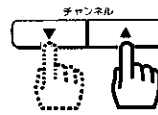
1 チャンネル設定ボタンを押す



(ビデオの表示窓)



2 飛びこしたいチャンネルを選ぶ



3 取消しボタンを押す



音声が消え、選んだチャンネルの飛びこしができました。

ほかのチャンネルも飛びこしたいときは

4 チャンネル設定ボタンを押す

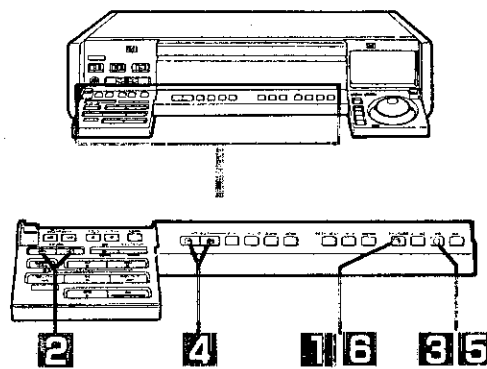


- 飛びこしたチャンネルを元に戻すときは、手順③のとき記憶ボタンを押してください。
- 飛びこしたチャンネルはチャンネルボタン(▼または▲)では選べませんが、リモコンの⑩~⑨のボタンで選ぶことができます。

受信チャンネルの合わせかた (つづき)

微調節のしかた

受信した放送は自動的に最適な受信ができるようになって
います。しかし、電波が弱かったり、妨害が入るチャンネル
では微調節をしたほうが映りがよくなる場合があります。



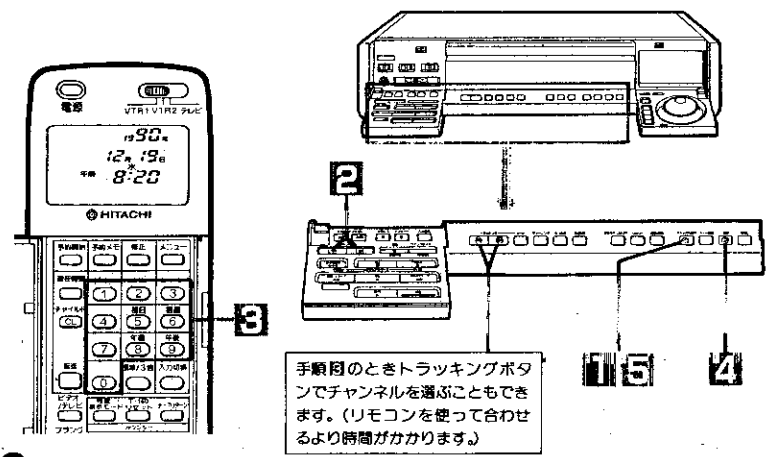
1	2	3	4	5	6
チャンネル設定 ボタンを押す	映りの悪い チャンネルを選ぶ	記憶ボタンを 押す	トラッキングボ タンで調節する	記憶ボタンを 押す	チャンネル設定 ボタンを押す
チャンネル設定 ボタンを押す	チャンネル ボタンを押す	記憶 ボタンを押す	トラッキング ボタンを押す	記憶 ボタンを押す	チャンネル設定 ボタンを押す
(ビデオの表示窓) 01 CH TUNE 01	08 CH TUNE 08	08 CH TUNE 08	08 CH TUNE 08	08 CH TUNE 08	08 CH TUNE 08
		●「CH」が点滅します。	●画像が最もよくうつるように 調節します。	●「CH」の点滅が止まり、微調 節ができました。	
				ほかのチャンネルも微調節 したいときは	

終わったら

チャンネル表示の数字をテレビ番組の数字に合わせるには

お住いの地域により、チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。
この場合、次のようにして数字を合わせておくとう便利です。
(設定する前に、どのチャンネルをどの数字に設定するかを決めてメモしておくとう便利です。)

例：チャンネル表示「CH60」を「CH04」に変えたいとき



1	2	3	4	5
チャンネル設定 ボタンを押す	チャンネルボタンで 数字を合わせる	リモコンの④~⑥の ボタンでチャンネルを選ぶ	記憶ボタンを 押す	チャンネル設定 ボタンを押す
チャンネル設定 ボタンを押す	チャンネル ボタンを押す	リモコンの④~⑥の ボタンを押す	記憶 ボタンを押す	チャンネル設定 ボタンを押す
(ビデオの表示窓) 01 CH TUNE 01	04 CH TUNE 04	60 CH TUNE 04	60 CH TUNE 04	60 CH TUNE 04
	●ビデオの表示窓に「04」が 表示されるようになります。	●ビデオの表示窓に「60」が表示 されます。	●「CH」が点滅します。	
			ほかのチャンネルも記憶し たいときは	

終わったら

受信チャンネルの合わせかた(つづき)

CATV(ケーブルテレビ)をご使用のとき
本機は通常のVHF(1~12)、UHF(13~62)放送の
ほかにCATV(13~35)を受信可能です。CATVを
使うときは、41ページの「お好みセレクト」で
“CATV入力(YES)”を選びます。
13ch~35chがCATVチャンネルとしてご利用いた
だけます。






ご注意

ケーブルテレビは、サービスの行われている地域でのみ受
信できます。受信するには、CATV会社との加入手続きが
必要です。またスクランブル方式など有料のCATの場合
は、受信契約に加え、アダプターの使用が必要になります。
詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。

■お好みセレクトで“CATV(YES)”を選んだとき

この場合、チャンネルボタン(▼または▲)ではVHF/UHF/CATV放送のすべてのチャンネルを選局できま
す。しかし、リモコンの⑩~⑭のボタンではVHFとCATV放送しか選局できません。UHF放送を⑩~⑭
のボタンで選局するときや、タイマー録画するとき、下記の操作でUHF放送のチャンネルをVHFかCATV
放送の空いているチャンネルに入れてください。

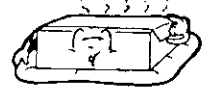
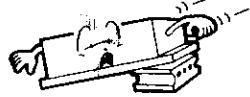

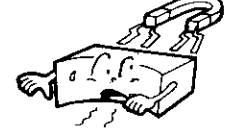

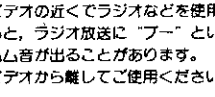
例：UHF放送18チャンネルをCATV放送の空いているチャンネル20に入れるとき。

1 チャンネル 設定ボタンを 押す	2 空いているチャ ネル/CATV 20chを選ぶ	3 トラッキング ボタンを押す	4 希望のチャン ネルが出たら記憶 ボタンを押す	5 チャンネル 設定ボタンを 押す
				
	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオの表示窓に「C20CH」が表示されます。 ●チャンネルは01~12とC13~C35の中で空いているチャンネルを選びます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●トラッキングボタンを押すとVHF(1~12)→UHF(13~62)→CATV(13~35)の順に選局し、放送のあるところで選局は自動的に止まります。 ●合わせたいチャンネルが違うときは、もう一度トラッキングボタンを押します。希望のチャンネルが出るまで、この操作をくり返します。 ●トラッキングボタンを押すと、上と逆の順序で選局します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「CH」表示が点滅し、CATVチャンネル20の位置にUHF放送18チャンネルを入れることができました。 ●入れ換えたチャンネルは、忘れないようにメモしておいてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●これでUHF放送のチャンネルをVHF放送かCATV放送の空いているチャンネルに入れることができました。 ●リモコンの⑩~⑭のボタンでUHF放送を選ぶことができます。
			ほかのUHFチャンネルも、空いているチャンネルに入れてください	

安全にお使いになるために

異常なときは 煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。	雷が鳴り出したら すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。このとき、危険ですのでアンテナ線には絶対に触れないでください。
カセットトレイにご注意 お子様がカセットトレイに手や指など挟み込まれないようご注意ください。	異物は入れないで カセットトレイや通風孔などに金属や燃えやすいものが入ると危険です。感電や火災の原因になりますのでご注意ください。
水は禁物です ビデオの上に水の入った容器を置かないでください。万一、水などが中に入ったときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。	カバーはあけないで ビデオの内部には電圧の高い危険部分もあります。感電や故障の原因になりますので、絶対にあけないでください。
電源コードは大切に 電源コードに傷をつけないようご注意ください。コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。	長期間ご使用にならないときは 安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。

ビデオの置き場所にもご注意ください

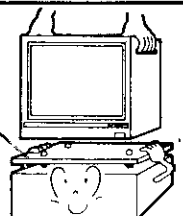
風通しの悪い所 (通風孔をふさがないでください)	不安定な所	油煙や湯気が当たる所やホコリの多いところ
		
磁気を発生する機器の近く	直射日光が当たる所や熱器具の近く	ラジオの近く ビデオの近くでラジオなどを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というノイズ音が出る場合があります。ビデオから離してご使用ください。
		

ご自分でビデオを設置するには

安全にお使いになるために
受信チャンネルの合わせかた(つづき)

このようにしてお使いください

ビデオの上にテレビを載せるときは



ビデオスパーサー VR-VS18 (別売品)

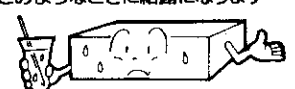
- ビデオには19形(約20kg)以上のテレビは載せないでください。
- ビデオの上に直接テレビを載せたときや、テレビの上に直接ビデオを載せると画面が乱れることがあります。このときは、ビデオスパーサーVR-VS18(別売品)をご使用ください。

使用上のご注意

お手入れについて	●ビデオをベンジン、シンナーなどでふいたりしますと、変質したり塗料がはげることがありますので、避けてください。 ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
ビデオを使わないとき	●ビデオカセットをビデオから取出しておいてください。
衝撃を与えないでください	●持ち運ぶときは、家具にぶつけないようにご注意ください。
接続機器について	●ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書もよくご覧ください。
外国では使えません	●このビデオは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This video tape recorder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

結露について(ビデオの内部に水滴がつくことを結露といいます)

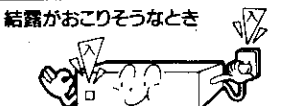
このようなときに結露になります



- 寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。
- 暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなど直接冷風にあたる場所。
- 夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移したとき。

結露したまま使用するとテープやビデオヘッドを傷めます。


結露がおこりそうとき



- 電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にしておくと、結露が生じにくくなります。
- 結露が生じてから電源コードを差し込んでも、水滴を急激に蒸発させることはできません。約2時間お待ちください。


アンテナについて

アンテナを立てるとき



- 妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でぶらぶらしないようしっかりと固定してください。
- 金属の多い場所に配線することも避けてください。
- VHFアンテナに同軸ケーブルを使用すると、雑音の少ない良好な画像が得られます。

アンテナの点検



- アンテナを定期的に点検、交換をすることが、いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされる場所では寿命が短くなりますので早目に点検してください。

テレビのうつりが悪いときは

- ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビのうつりが悪くなる場合があります。このときは、ブースター(別売品)をご使用ください。

故障かな...というときは

○下記のことをお調べのうえ、それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては91ページをご覧ください。

	症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない	ビデオの電源が入らない。	●電源コードがコンセントに接続されていない。	●電源コードの差し込みプラグをコンセントに接続してください。	—
	リモコンで操作できない。	●乾電池が古くなっている。(約1年が目安です。 ●リモコン切換スイッチを正しく選んでいない。	●乾電池を交換してください。 ●リモコン切換スイッチを正しく合わせてください。	14 14
	電源は入るがビデオの操作ができない。	●各種安全装置が働いている。	●電源コードを一度コンセントから抜き、再度コンセントに入れた後、電源を入れてください。	—
テープが止まる	巻戻し、早送りができない。	●テープが最初または最後まで巻取られている。	●カセットを確認してください。	12
	テレビ番組の録画ができない。	●アンテナ線の接続が正しくない。 ●受信チャンネルの調整がずれている。	●アンテナ線を正しく接続します。 ●受信チャンネルを正しく調整します。	74 80
録画ができない	タイマー録画ができない。	●タイマーが正しくセットされていない。 ●時計が「—:—」になっている。	●タイマーを正しくセットしてください。 ●停電があったため、予約が消えました。再度、現在時刻を合わせたあとタイマーを合わせてください。	32 35
	クイックタイマー録画ができない。	●「つめ」の折れたカセットが入っている。	●「穴」をゼロハンテープでふさぎます。	34
	映像は記録されるが、音が正常に記録されない。	●「つめ」の折れたカセットが入っている。 ●時計が「—:—」になっている。	●「穴」をゼロハンテープでふさぎます。 ●時計を合わせます。	29
後面端子に接続した機器から録画できない。	映像は記録されるが、音が正常に記録されない。	●録音レベルつまみが手ごたえのある中央になっていない。	●つまみを手ごたえのある中央に合わせます。	70
	後面端子に接続した機器から録画できない。	●「L2」(外部入力2)を選んでいる。	●入力切換ボタンで「L1」(外部入力1)を選びます。	58
	前面端子に接続した機器から録画できない。	●「L1」(外部入力1)を選んでいる。	●入力切換ボタンで「L2」(外部入力2)を選びます。	58
BSチューナーから録画できない。	●接続が正しくない。	●接続を確認し、正しく接続します。	71	

故障がない！というときは(つづき)

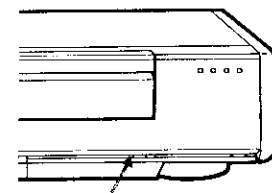
症状	原因	処置	参照ページ
再生の画面に帯状のノイズが出たり、画面がモヤモヤする。	●古いテープや他のビデオで録画したテープを再生するときにおこることがあります。(トラッキング調整がずれています)	●オートトラッキングまたは手動トラッキング調整で最良に映るよう調整してください。	25
再生の画面がきれいにならない。	●テレビのチューニングが正しくない。 ●ビデオヘッドが汚れている。	●テレビのチューニングをしなおしてください。 ●ヘッドの清掃が必要です。ヘッドクリーニングボタンでヘッドを清掃してください。それでも映りが悪いときは、別売りのヘッドクリーニングテープ T-CL01 をご使用になりヘッドの清掃をしてください。それでもまだ映りが悪いときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	— 3 89
音が途切れる。	●音声ヘッドが汚れています。	●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープ T-CL01 をご使用になりヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	89
Hi-Fiサウンドとノーマルサウンドが混って聞こえる。	●Hi-Fiミックススイッチが「入」になっている。	●スイッチを「切」にします。	59
日本語と外国語が同時に聞こえる。	●音声モニターボタンで「ステレオ」を選んでいる。	●音声モニターボタンを押して、聞きたい音を選びます。	23
Hi-Fiサウンドの音が出ない。	●音声モニターボタンで「ノーマル」サウンドを選んでいる。	●音声モニターボタンを押して、Hi-Fiサウンドを選びます。	23
画面の輪郭がはっきりしない。	●映像切換スイッチが「ソフト」になっている。	●「ノーマル」または「エディット」にします。	54
ダビング編集ができない。	●正しく接続されていない。 ●録画側ビデオが「外部入力」を選んでいない。	●接続を確強し、正しく接続してください。 ●録画側ビデオは「外部入力」を選びます。	58
アフレコ編集ができない。	●正しく接続されていない。 ●「つめ」の折れているテープを使っている。	●接続を確認し、正しく接続してください。 ●「穴」をゼロハンテープでふさぎます。	59
アフレコした音がおかしい。	●Hi-Fiミックススイッチが「入」になっている。(Hi-Fi音声とアフレコした音声と一緒に聞こえる)	●Hi-Fiミックススイッチを「切」にします。	59
インサート編集できない。	●正しく接続されていない。 ●「つめ」の折れているテープを使っている。	●接続を確認し、正しく接続してください。 ●「穴」をゼロハンテープでふさぎます。	60
オートアッセンブル編集ができない。	●シンク口接続コードをつないでいない。 ●録画側ビデオが録画一時停止を長く続けた為、録画一時停止が解除されている。 ●録画側ビデオを録画一時停止していない。 ●プログラムが正しくない。(エント点を設定しないプログラムは編集できません。) ●最初のプログラムスタート点の前に録画部分がない。 ●再生側ビデオの巻き始めの部分から編集スタートするようなプログラムになっている。	●コードを接続します。 ●もう一度録画一時停止にします。 ●録画一時停止します。 ●プログラムを正しく合わせる。 ●プログラムスタート点の前約30秒間分の録画が必要です。 ●巻き始めから約30秒間分すぎた部分から編集を始めるようにプログラムします。	69 64 63 62 64 64

再生するとおかしい

編集ができない/編集するおかし

症状	原因	処置	参照ページ
シンク口編集ができない。	●シンク口接続コードをつないでいない。 ●録画側ビデオが録画一時停止を長く続けた為、録画一時停止が解除されている。 ●録画側ビデオを録画一時停止していない。 ●プログラムのスタート点の前に録画部分がない。 ●再生側ビデオの巻き始めの部分から編集を始めた。	●コードを接続します。 ●もう一度録画一時停止にします。 ●録画一時停止します。 ●プログラムスタート点の前約30秒間分の録画が必要です。 ●巻き始めから約30秒間すぎた部分から編集を始めます。	69 68 67 68 68
集中表示窓の表示が誤表示したり、操作ボタンを受け付けない。	●内蔵のマイコンの誤動作のせいです。	●リセットスイッチをつまようじなどで押す。表示面がリセットされます。その後セットしなおしてください。	—

その他



ビデオを使っていると……

- ヘッドの清掃 (テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面になるときは)



ビデオを使っているとこんな症状が出る場合があります。これはビデオヘッドが汚れたためです。ビデオヘッドの清掃が必要です。3ページの要領でヘッドクリーニングを行ってください。それでも汚れがとれないときは、別売ヘッドクリーニングテープ T-CL01 をご使用ください。ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

★ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは、お使いになるクリーニングテープの説明書を良くお読みいただき、正しくご使用ください。

- ヘッドの摩耗

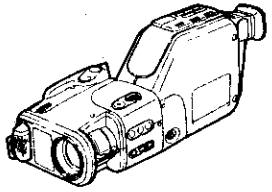
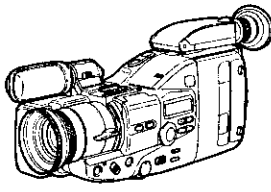
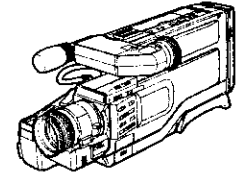
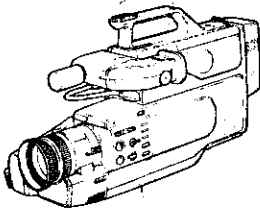


ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し、画像が鮮明に映りません。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い求めの販売店にご相談ください。

長年ご使用のビデオの点検をぜひ!

このようなことはありませんが	お願い
<ul style="list-style-type: none"> ●電源コード、プラグが異常に熱い ●映像が乱れたり、色がきれいに出ない。 ●その他の異常や故障がある。 	<p>故障や、事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。</p>

別売品の紹介

VHS-Cビデオカメラ VM-C1	S-VHS-Cビデオカメラ VM-S83	S-VHSビデオカメラ VM-S8100
		
ヘッドクリーニングテープ	ブースター	ビデオカセットテープ
<ul style="list-style-type: none"> ●乾式ビデオヘッドクリーナー T-CL01 ●湿式ビデオヘッドクリーナー AV-210 	<ul style="list-style-type: none"> ●HD-WB2A (VHF・UHF・FM兼用) ●HVTR-W26A (VHF・UHF兼用) ●HVTR-U26A (UHF専用) 	S-VHS テープ <ul style="list-style-type: none"> ●ST-120 SR-G ●ST-60 SR-G ●ST-30 SR-G VHS テープ <ul style="list-style-type: none"> ●T-120 HF ●T-160 HG ●T-60 HF ●T-120 HG
シンク口接続コード	ビデオスパーサー	VHSビデオカメラ VM-5200
VT-CH40S	VR-VS18	
ダミープラグ	接続コード	
VT-DM70	HPU-131AV (映像用) HPU-141AV (音声用)	

アフターサービスと保証

保証書と保証期間について



- このビデオデッキには保証書がついています。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店にご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは



- ビデオデッキが正常に動作しないときは、「故障かな」というときは(87ページ)をご覧ください。それでも不具合なときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- アフターサービスを申し付けたいときは、次のことをお知らせください。
- 形名 _____ VT-S1000
- 症状 _____ できるだけ詳しくご説明ください。
- 住所・電話番号 _____ 付近の目印もつけ加えてください。

転居されるときは



- 転居で、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店をご紹介します。なお本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切換えが自動的に行われますので、切換えてどちらの地域でも使用できます。

美しい画面を見るための点検



- ビデオデッキは、カラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、使用環境(温度・湿度・ホコリ)などに左右されますが、およそ1,000時間を目安に点検(清掃・注油・一部部品交換)されることをおすすめいたします。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

部品の保有期間 当社は、このビデオデッキの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。

- ビデオカメラ、ビデオ及びビデオカセットを使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。
- 大切な録画(結婚式など)の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機の「EP」モードで録画したテープは「SP」モード専用のVHSビデオで再生できません。
- S-VHS方式で録画したテープはS-VHS方式のビデオにしか使えません。
- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音声モニター 23

二カ国語放送などを再生するときに便利な機能です。音声モニターボタンを押すたびに、日本語だけ、外国語だけ、日本語と外国語といった具合に音声切り換わります。録画中に切り換えても、録音内容は変わりません。(日本語・外国語の両方が録音されます)

シャトルリング 27

リングを回す角度、方向により再生速度がスロー再生から早送り再生まで可変できます。

シヨグダイヤル 26

1クリック回すごとに1コマずつ画像が送られます。編集時に希望のフレームを見つけるのに便利です。

トラッキング調節 25

テープを再生すると画面に白い帯状のノイズが出る場合があります。これは、録画された部分をヘッドが正確になぞっていないため起こります。これを正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。デジタルオートトラッキングは、この調節を自動化したものです。

入力切換 58

他の機器から録画・録音するときに必要な切換です。ビデオは通常、テレビ番組を録画できるようになっています。入力切換ボタンで「L1」または「L2」を選ぶと、映像入力端子、音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。

Hi-Fiサウンド 78

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。ふつうのビデオは音声を録音/再生するのに固定のヘッドで録音/再生します。一方、Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声を録音/再生します。そのため、テープとの相対速度が非常に早くなり、よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド、回転ヘッドで録音した音がHi-Fiサウンドです。

ビデオ専用チャンネル 78

1または2いずれかのチャンネルです。映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは、テレビを1または2チャンネルのうち放送のないチャンネルに合わせてビデオを楽しみます。これが、ビデオ専用チャンネルです。ビデオ後面にあるチャンネル切換スイッチも切り換えます。

ダビング 58

2台のビデオを接続して、テープを複製することをダビングといいます。ダビングしたテープは多少画質が低下します。

ビデオ/テレビ切換 20

ビデオのVHFアンテナ出力の切換です。「ビデオ」にしておくと、映像と音声1または2チャンネルの放送(ビデオ専用チャンネル)としてテレビに供給されます。ビデオの電源を切ったときは「テレビ」になっており、テレビは普通に使用できます。ビデオ/テレビ切換ボタンで切り換えます。

VISS 44

ビデオインデックスサーチシステム。VHS Index Search Systemの略で、テープに記録された頭出し用の番号(VISS番号)を使って頭出しをする方式です。VISS番号は、録画時に自動記録されます。

フライングイレースヘッド 76

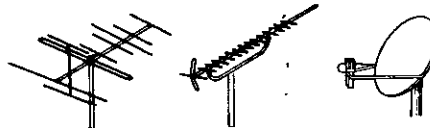
録画すみの部分に続けて録画するとき、つなぎ目部分をきれいにするため、通常の消去ヘッド以外に回転消去ヘッドを取付けてあります。回転しながら動作することから、フライングイレースヘッドと呼ばれております。

ブースター(電波増幅器) 76

名前の通り電波を増幅します。電波の弱い地域の場合、ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより、今までと同じ程度にテレビを見ることが出来ます。増幅度の大きいブースターほど、映りがよくなります。

VHFとUHF放送 74

テレビ放送にはVHFとUHF放送があります。(最近BS(衛星)放送もあります) VHF放送は1~12チャンネル、UHF放送は13~62チャンネル、BS放送はBS1~BS15チャンネルでご覧になります。それぞれの放送に応じたアンテナが必要です。アンテナの形を見ると、どの放送を受けているか、よく分ります。



*一部の地域(関東地域など)ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

録画モード(EP/SP) 18

ビデオには、「標準」と「3倍」の録画モードがあり、録画時に切り換えられます。

SP(標準)：テープスピードが標準の速さです。画質を重視するときには「SP」で録画することをおすすめします。

EP(3倍)：テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「SP」に比べて3倍長く録画できます。再生のときは、録画時のスピードに自動的に切り換わります。

S-VHSについて

本機は、従来のVHS方式に比べ、高解像度(水平解像度400本以上)高画質のS-VHS方式を採用しました。より美しい、精彩な画像をお楽しみになれます。

使用するテープは

- **SVHS** テープと **VHS** テープの両方をご使用になれます。
- **SVHS** テープはS-VHS方式またはVHS方式のどちらでも記録できます。
- **VHS** テープは自動的にVHS方式で記録されます。

VHS方式との互換性は

S-VHS方式で記録したテープは、S-VHS方式のビデオにしか使えません。

- **SVHS** テープにVHS方式で記録したテープはVHS方式のビデオでも使うことができます。

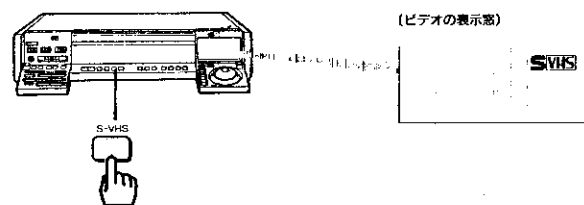
接続するテレビは

S映像入力端子または映像/音声入力端子の付いたテレビを使うことを、おすすめします。

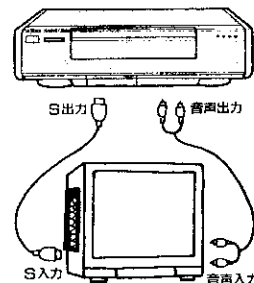
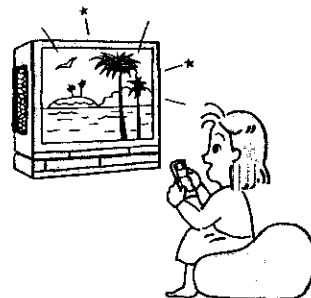
- S映像入力端子または映像/音声入力端子の付いていないテレビも使えますが、S-VHS方式の高解像度・高画質を十分にお楽しみになれません。
- S映像端子とは映像信号の輝度(Y)信号とカラー(C)信号を分離して入(出)力する端子です。従来の映像端子の信号に比べてより鮮明な画像をお楽しみいただけます。
* S映像端子の「S」はセパレート(SEPARATE)Y/Cの「S」です。

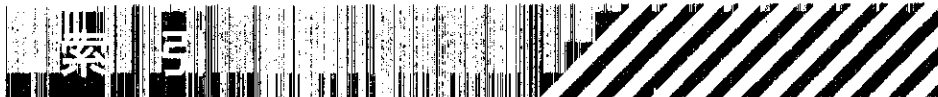
S-VHS方式で記録するには

SVHS テープを使用し、ビデオの表示窓に「**SVHS**」表示が付きを確認します。



- 「**SVHS**」表示が付きついていないときは、S-VHSボタンを押すと表示が付きます。
- **SVHS** テープにVHS方式で記録するときは、「**SVHS**」表示を消してください。
- S-VHSボタンを押すたびに「**SVHS**」表示が付きたり、消えたりします。
- 再生するときは、自動的に記録方式を判別し再生します。





あ・い・う・え・お

アフレコ編集	59
アンテナアダプター	76
インサート編集	60
表番組録画	20
衛星放送	71
映像切換	54
オーディオ録音	70
オートスキッププレイ	44
オートアードメモ	41
オートプレイ	41
オートBLUE	41
オートリワインド	19
オートリワインドシャットオフ	22
オフタイマー	47
お好みセレクト	41
音声多重放送	23
音声モニター	23

か・き・く・け・こ

外部入力	58
カウンターGO-TO機能	43
カセットトレイ	12
逆再生	27
クイックエディット	57
クイックタイマー録画	29
結露	86
高速サーチ	28
高速巻戻し	21
コマ送り再生	26
混合器	74

さ・し・す・せ・そ

シアターボタン	54
主音声	23
受信チャンネル	80
ジョグ/シャトル	26
スキップ再生	26
ステレオ放送	24
スロー再生	27
静止画再生	26
操作音	55

た・ち・つ・て・と

タイトル録画	50
タイマー録画	32
チャイルドロック	53
チャンネル設定	80
デジタルオートトラッキング	25
テープの残量表示	40
テープの編集	56
テープリターン	42
テレビ画面表示	40
テレビの操作	52
テレビモニター	25
同軸ケーブル	75
同時録画	18
飛びこし設定	81
トラッキング調節	25

な・に・ぬ・ね・の

二重音声放送	24
入力切換	58
ノーマルサウンド	59

は・ひ・ふ・へ・ほ

早送り再生	28
ビジュアルサーチ	28
ビデオ専用チャンネル	78
ビデオ/テレビ切換	20
副音声	23
フィーダー線	76
ブースター	76
ブランクサーチ	55
ブルーバック機能	41
分波器	74
ヘッドホン	55
補助電源コンセント	70

ま・み・む・め・も

巻戻し再生	28
メニュー	36
モード表示	40
モノラル	23

や・ゆ・よ

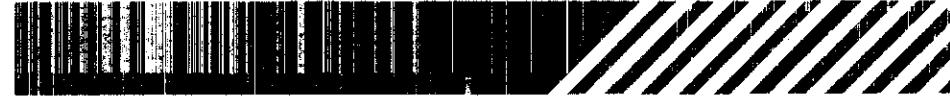
予約	32
予約の確認	36
予約の取消し	36
予約メモ	38

ら・り・る・れ・ろ・わ

リニアタイムカウンター	42
リピート再生	55
リモコン切換スイッチ	53
レベルメーター	23
録画時間	12
録画モード	18
ワープサーチ	28

A・B・C

ACアフト切換	70
AVコーティネイト	48
AVコントロール端子	79
AV BUS端子	79
BSチューナー	71
DCNR	54
DRPS	45
EP「3倍」	18
ERROR表示	35
FULL表示	35
Hi-Fiサウンド	59
SP「標準」	18
VISS	44
CATV	84



こんなときは……

録画したい

テレビ番組の録画	二重音声放送を録画したい……………24
	録画中に別の番組に切り換えて録画したい……………24
	録画中に不要な場面(コマーシャルなど)を飛ばして録画したい……………24
	テープにあと何分録画できるか知りたい……………40
	テープの無録画部分をさがしたい(ブランクサーチ)……………55
クイックタイマー録画	クイックタイマー録画を途中でやめたい……………31
	クイックタイマー録画の予約内容を取り消したい……………31
	クイックタイマー録画が始まってから、録画時間を変えたい……………31
タイマー録画	予約途中で間違えたとき……………33
	毎日同じ時間の番組を予約したい……………33
	毎週同じ時間の番組を予約したい……………33
	テープ残量に合わせて録画モードを自動的に切換えたい……………35
	タイマー録画中に録画をやめたい……………35
	タイマー録画予約したあと、ビデオをふつうに使いたい……………35

再生したい

テープの再生	テープ再生中にテレビ番組を見たい(テレビモニター)……………25
	見たい部分をくり返し再生したい(リピート再生)……………55
いろいろな再生	画面を止めて見たい(静止画再生)……………26
	コマーシャルを飛ばしてみたい(スキップ再生)……………26
	1コマずつ見たい(コマ送り再生)……………26
	テープスピードをいろいろ変えて見たい……………27
見たい画面のさがしかた	画面を見ながらさがしたい(ビジュアルサーチ・高速サーチ)……………28
	巻戻し、早送り中にちょっと画面を見てさがしたい(ワープサーチ)……………28
	テープの走行時間でさがしたい(リニアタイムカウンター)……………42
	いまから何分後(前)と、分単位でさがしたい(カウンターGO-TO)……………43
	頭出し信号を使ってさがしたい(VISS)……………44

その他に

リモコンの時計を合わせたい……………16
ビデオの時計を合わせたい……………17
画面表示を消したい(モード表示OFF)……………40
子供のイタズラを防止したい(チャイルドロック)……………53
一定時間後に電源を切りたい(オフタイマー)……………47
操作音を消したい……………55

困ったとき

ビデオで操作できない(チャイルドロックが働いています)……………53
日本語と外国語が同時に聞こえる(音声多重放送を録画したテープの再生)……………23
ビデオの表示窓に(ERROR)が出る……………35
ビデオの表示窓に(FULL)が出る……………35
リモコンでテレビの操作できない……………52